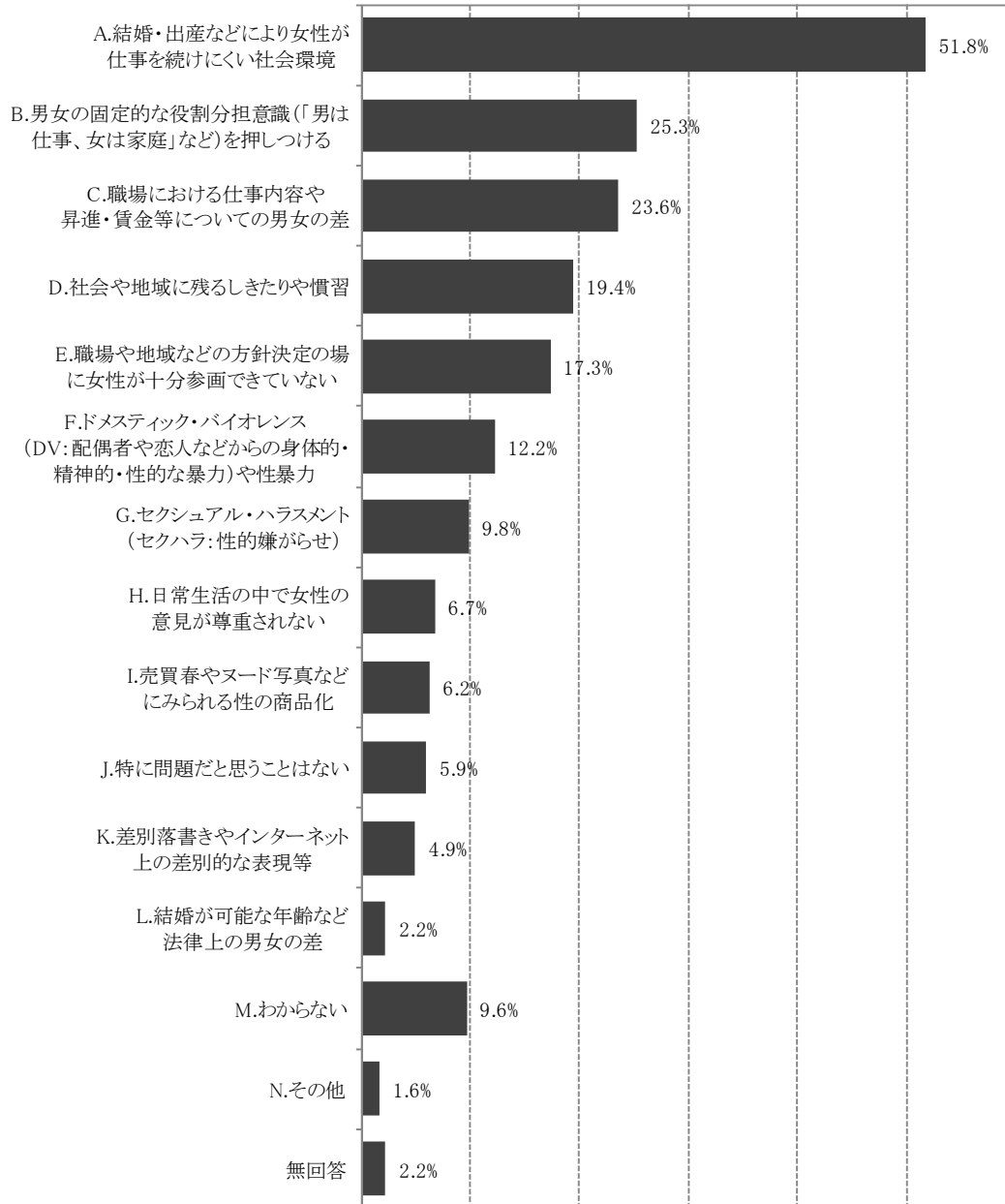


問 16 (男女共同参画に関する問題)

男女共同参画に関することで、あなたが特に問題があると思うのはどのようなことですか。

(○は3つ以内)

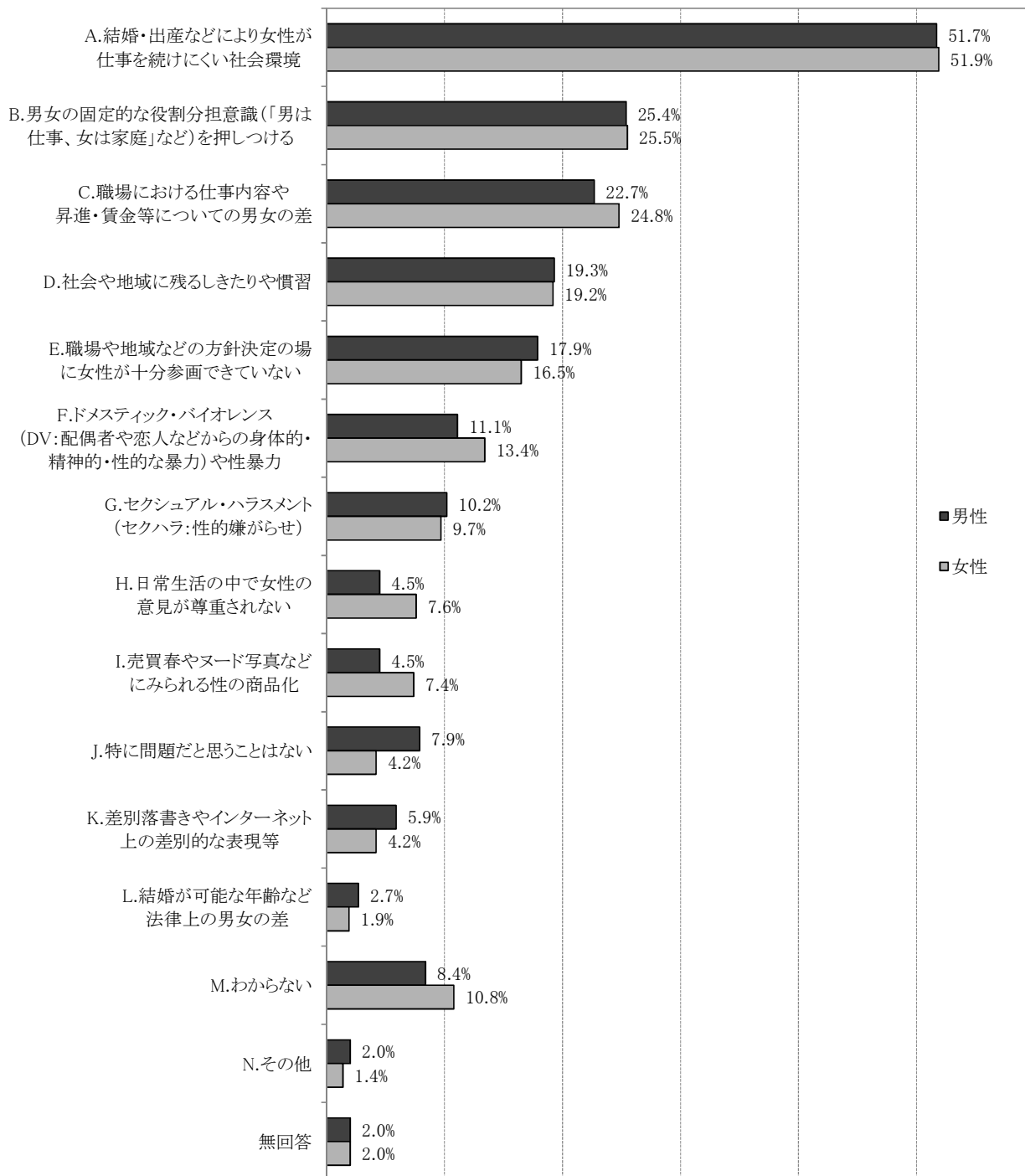


■男女共同参画に関することで問題があると思うことは、「A. 結婚・出産などにより女性が仕事を続けにくい社会環境」(51.8%)が最も高く、次いで、「B. 男女の固定的な役割分担意識(男は仕事、女は家庭)など)を押しつける」(25.3%)、「C. 職場における仕事内容や昇進・賃金等についての男女の差」(23.6%)となっている。

※前回調査なし

【性別・年齢との関係】

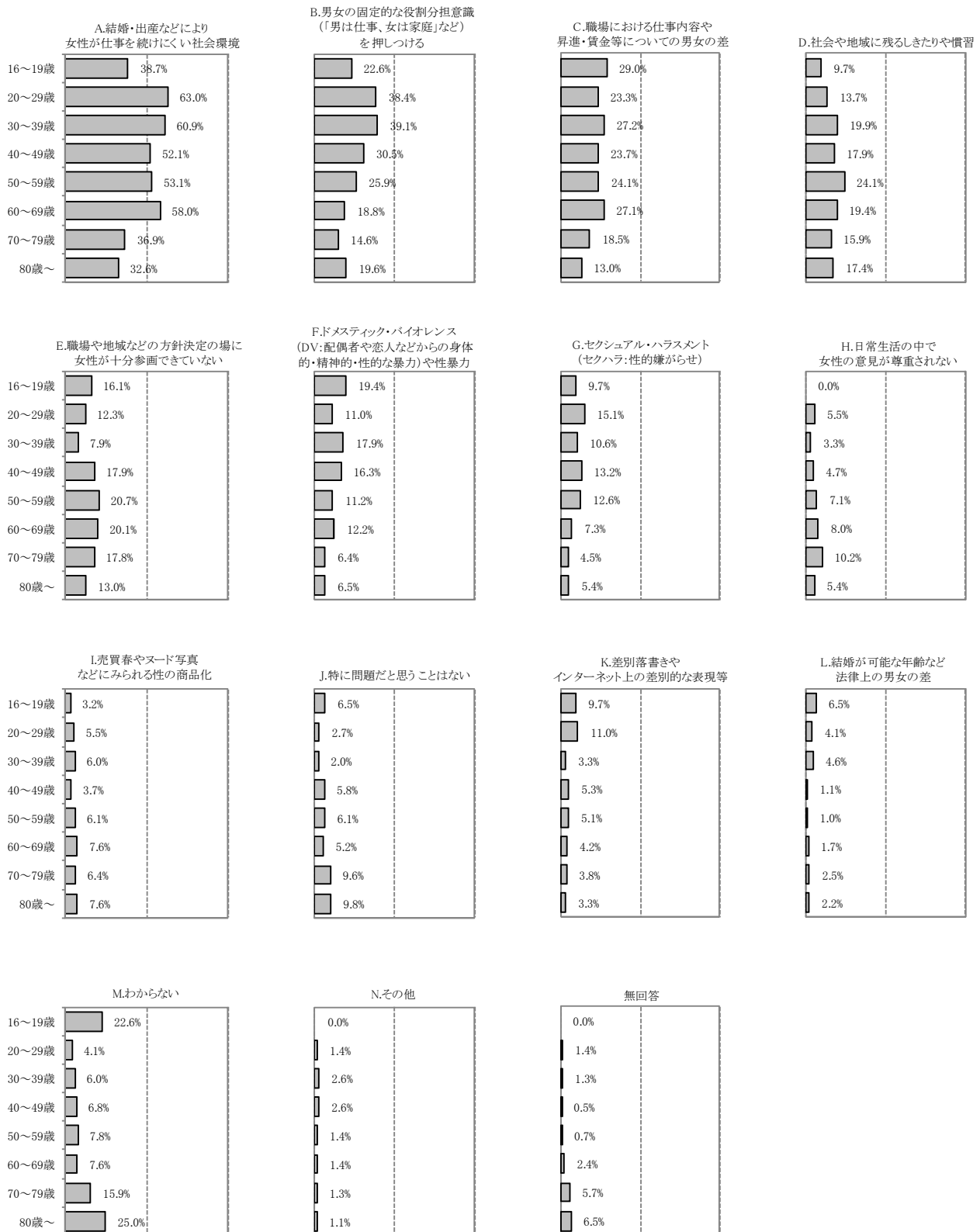
〔図 16-1〕 問 16 男女共同参画に関する問題 と 性別 の関係



性別で見ると〔図 16-1〕、「J. 特に問題だと思うことはない」では、男性の方が大幅に高くなっている。

「H. 日常生活の中で女性の意見が尊重されない」、「I. 売買春やヌード写真などにみられる性の商品化」では、女性の方が大幅に高くなっている。

〔図 16-2〕 問 16 男女共同参画に関する問題 と 年齢 の関係

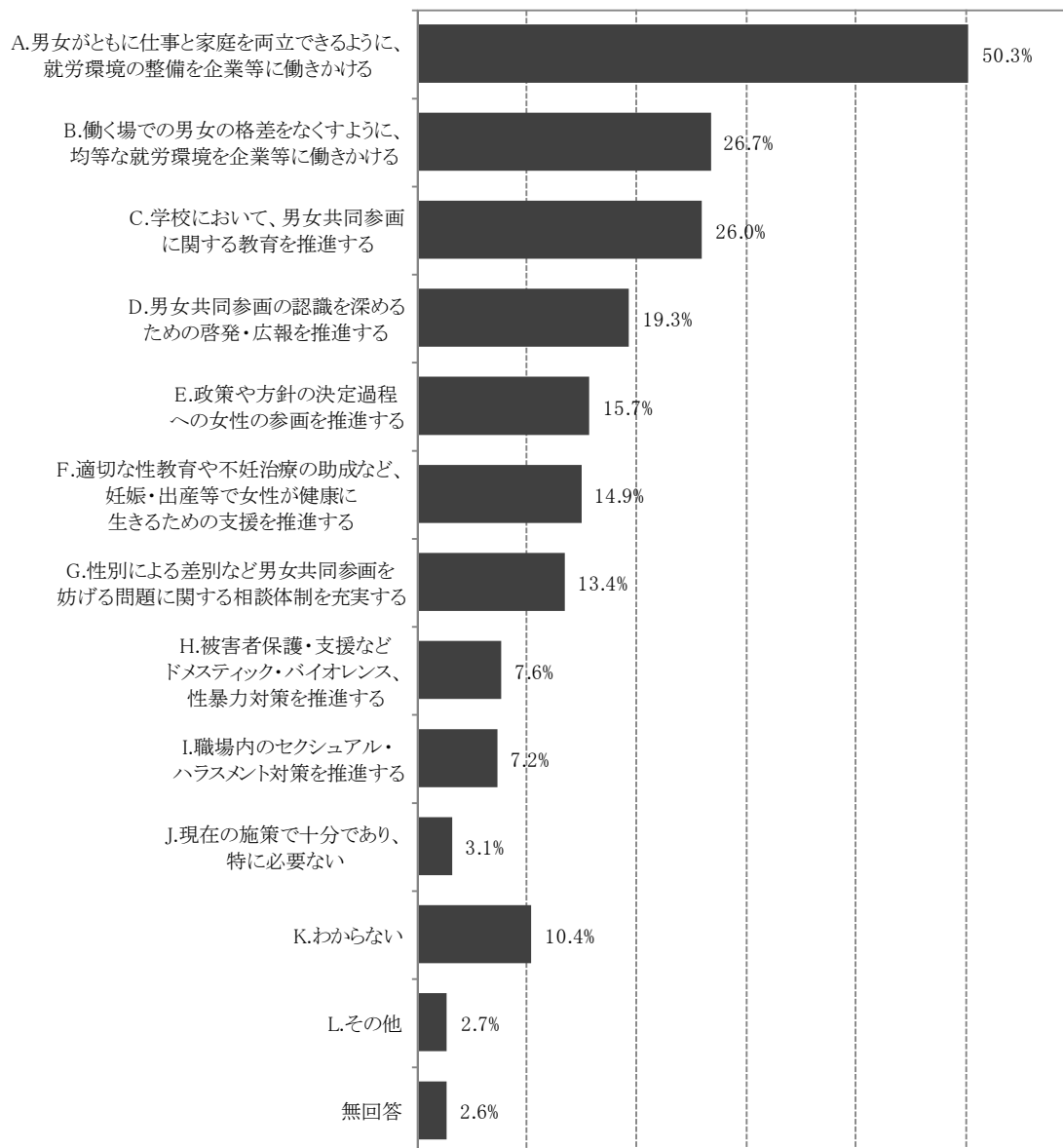


年齢別でみると〔図 16-2〕、20 歳代(63.0%)、30 歳代(60.9%)で「A.結婚・出産などにより女性が仕事を続けにくい社会環境」が 6 割を超えて高くなっている。「B.男女の固定的な役割分担意識(「男は仕事、女は家庭」など)を押しつける」についても同様に、20 歳代(38.4%)、30 歳代(39.1%)は他の年代よりも高くなっている。

問 17 (男女共同参画を推進するために必要な取組み)

あなたは、男女共同参画を推進するためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。

(○は3つ以内)

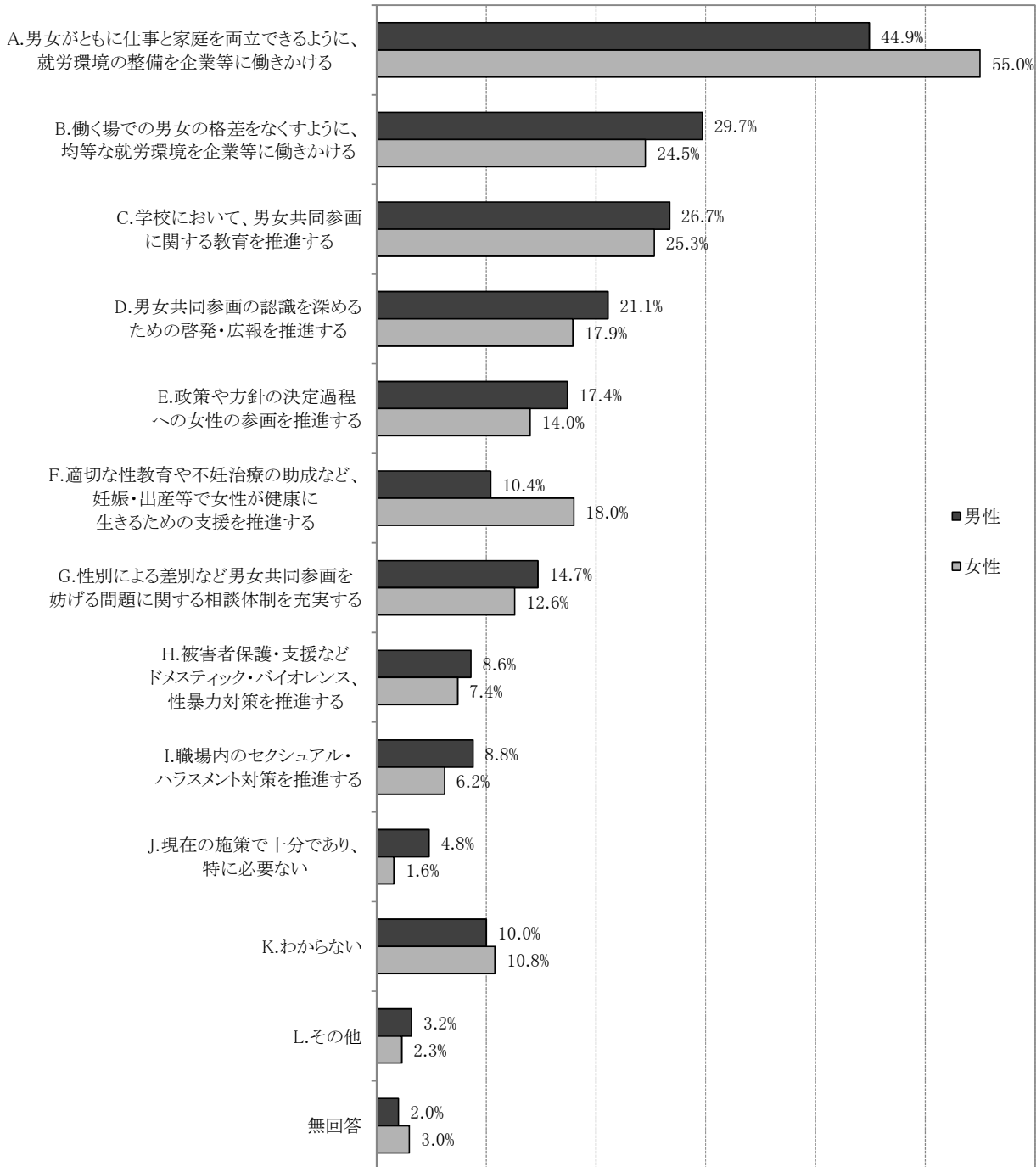


■男女共同参画の推進のために必要と思う取組は、「A.男女がともに仕事と家庭を両立できるように、就労環境の整備を企業等に働きかける」(50.3%)が最も高く、次いで、「B.働く場での男女の格差をなくすように、均等な就労環境を企業等に働きかける」(26.7%)、「C.学校において、男女共同参画に関する教育を推進する」(26.0%)となっている。

※前回調査なし

【性別・年齢との関係】

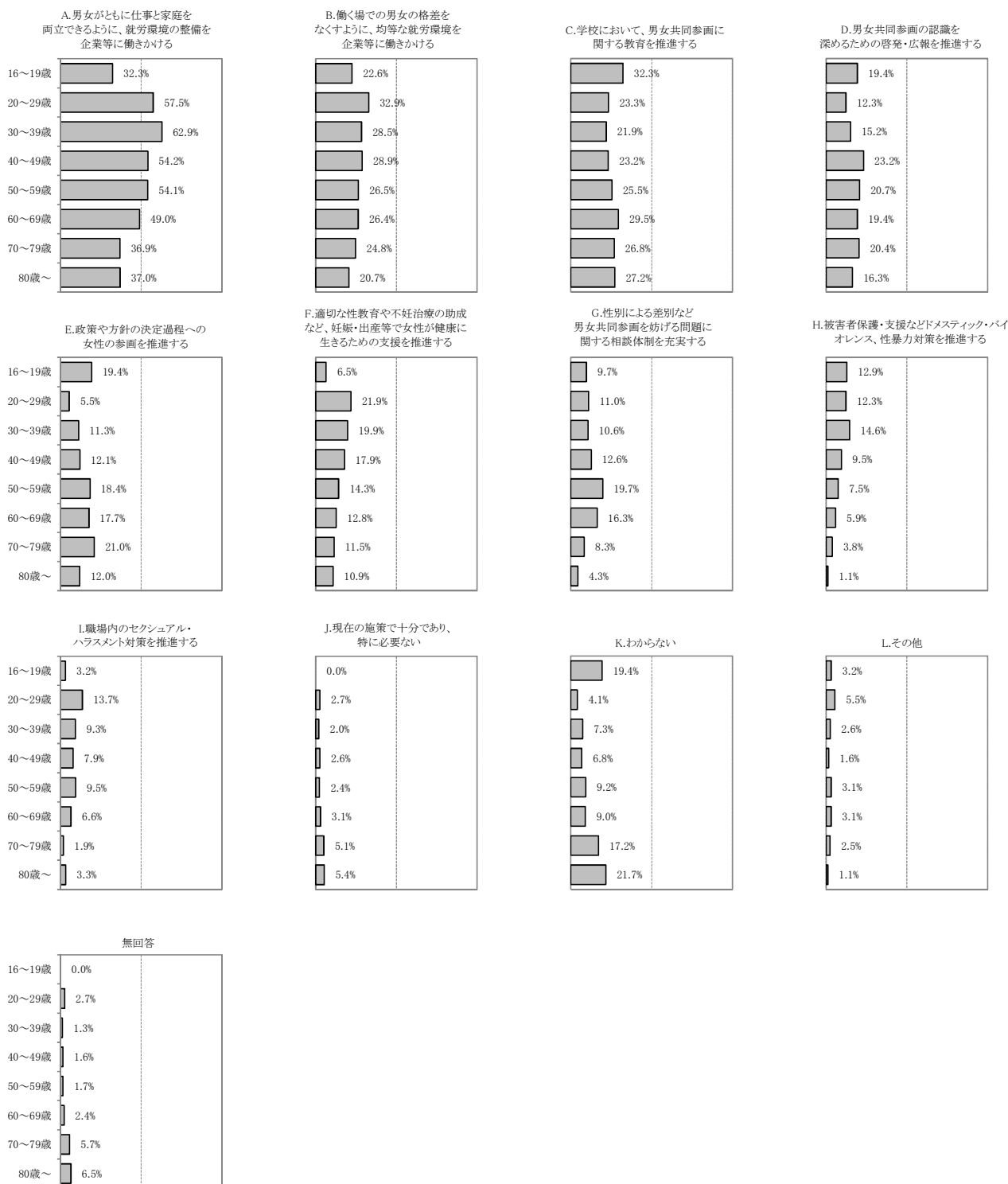
〔図 17-1〕 問 17 男女共同参画を推進するために必要な取組み と 性別 の関係



性別でみると〔図 17-1〕、「B. 働く場での男女の格差をなくすように、均等な就労環境を企業等に働きかける」、「E. 政策や方針の決定過程への女性の参画を推進する」では、男性の方が大幅に高くなっている。

「A. 男女がともに仕事と家庭を両立できるように、就労環境の整備を企業等に働きかける」、「F. 適切な性教育や不妊治療の助成など、妊娠・出産等で女性が健康に生きるための支援を推進する」では、女性の方が大幅に高くなっている。

〔図 17-2〕 問 17 男女共同参画を推進するために必要な取組み と 年齢 の関係



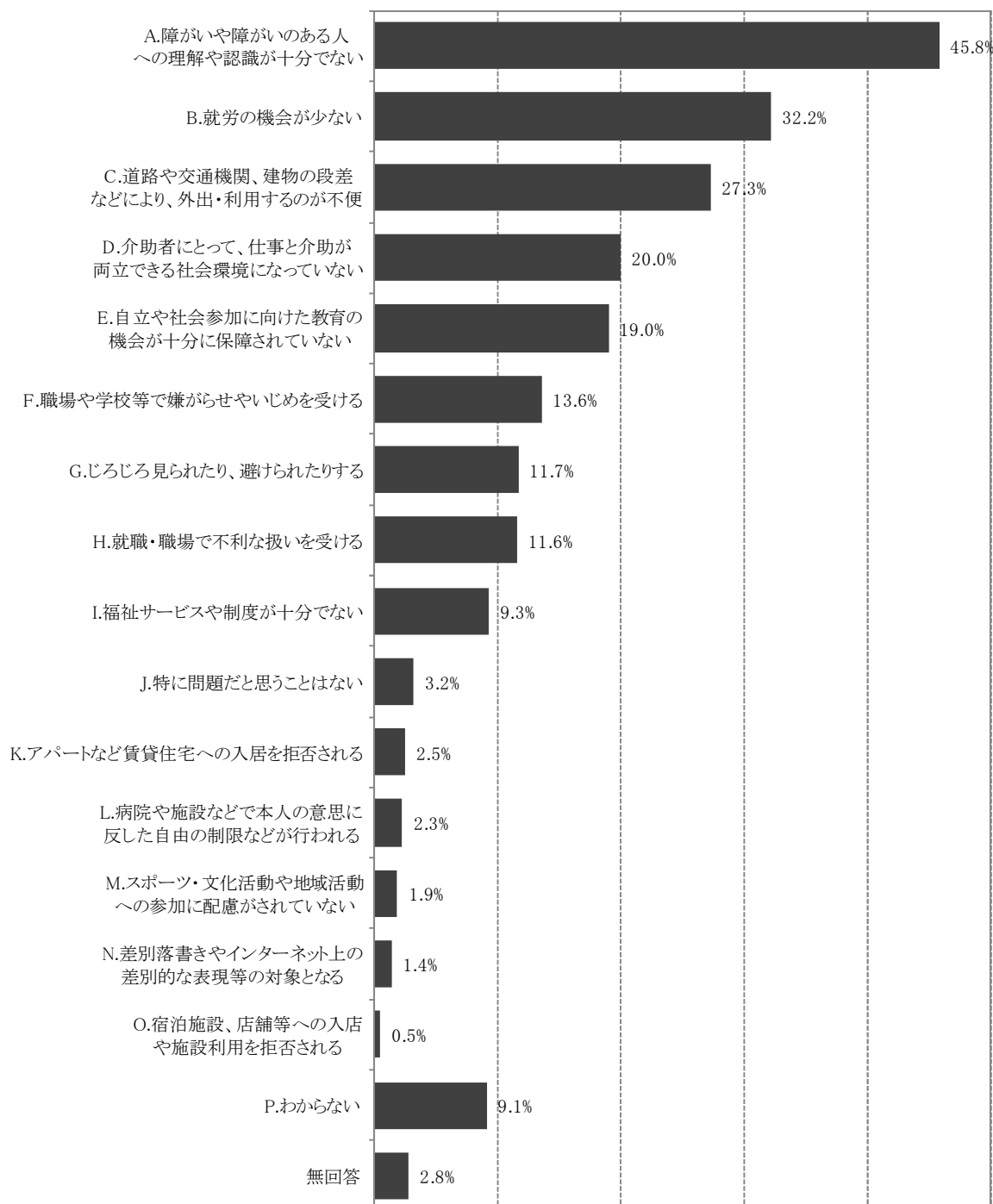
年齢別で見ると〔図 17-2〕、20 歳代から 50 歳代では約 6 割近くの人が、「A.男女がともに仕事と家庭を両立できるように、就労環境の整備を企業等に働きかける」と回答しており、「B.働く場での男女の格差をなくすように、均等な就労環境を企業等に働きかける」と回答した割合も同様に他の年代よりも高い。

16～19 歳、60 歳代以上では、「C.学校において、男女共同参画に関する教育を推進する」が他の年代よりも高くなっている。

問 18 (障がいのある人の人権に関する問題)

障がいのある人の人権に関することで、あなたが特に問題があると思うのはどのようなことですか。

(○は3つ以内)

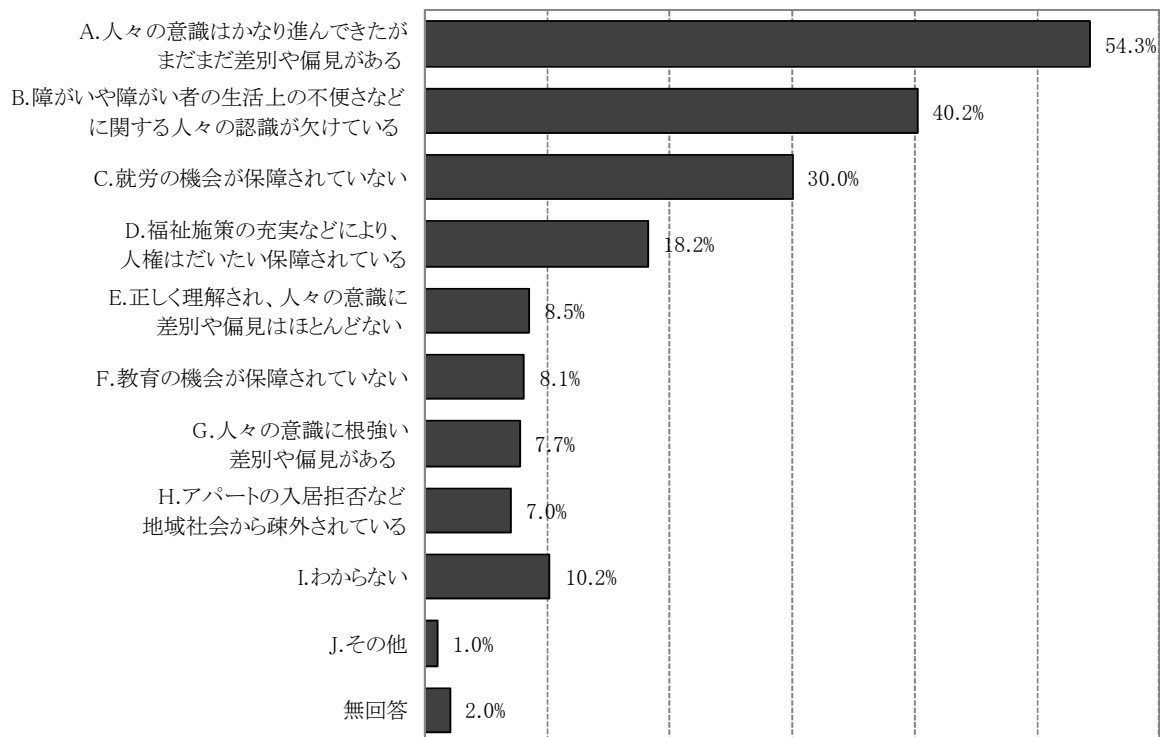


■障がいのある人の人権に関することで問題があると思うことは、「A.障がいや障がいのある人への理解や認識が十分でない」(45.8%)が最も高く、次いで、「B.就労の機会が少ない」(32.2%)、「C.道路や交通機関、建物の段差などにより、外出・利用するのが不便」(27.3%)となっている。

【参考】 ※設問文、選択肢の文言の一部が前回に比べて異なっているため、参考としてご参照ください。

前回調査(H23 鳥取県人権意識調査)

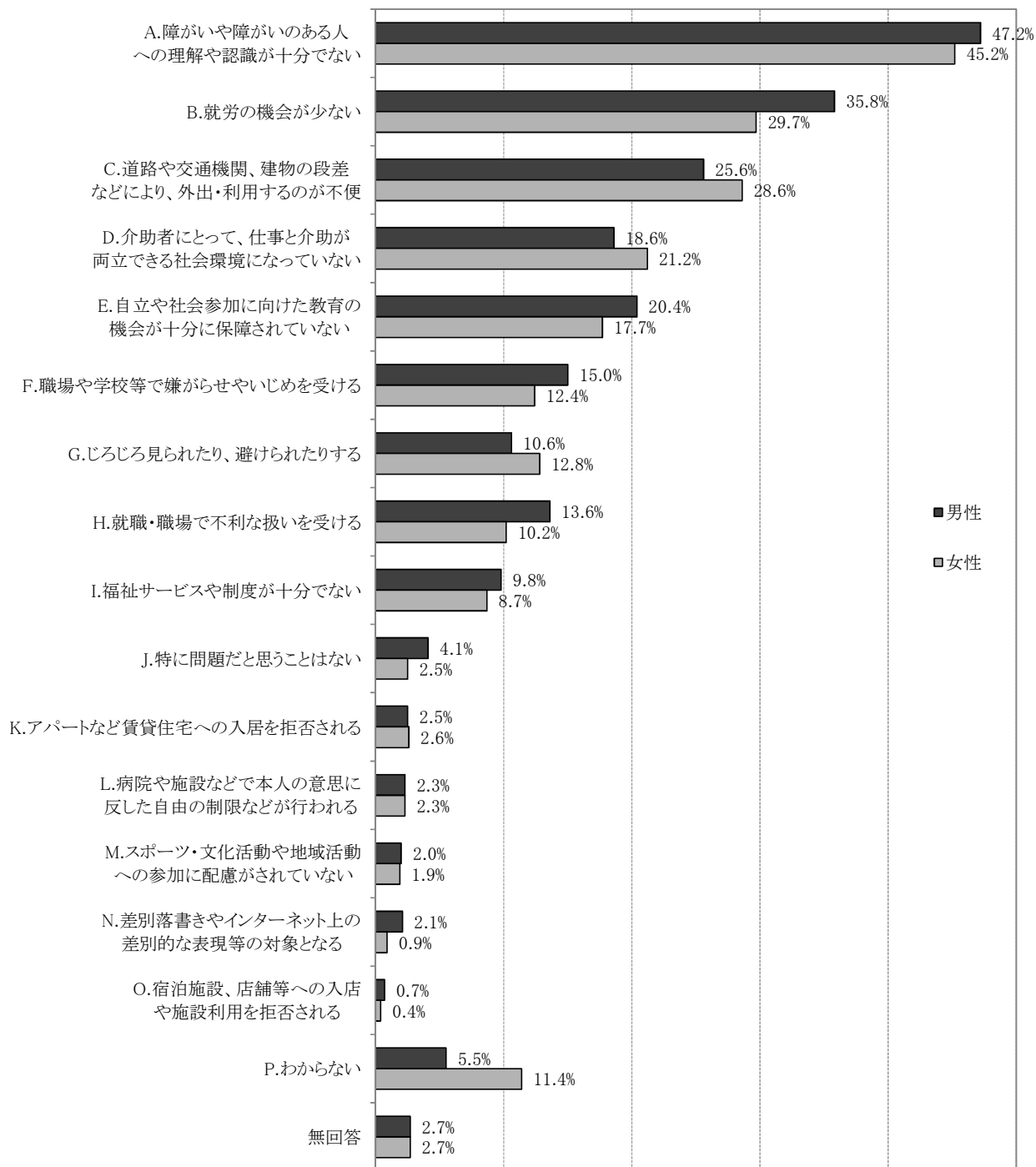
問 16 障がい者の人権について現在の状況をどのように考えていますか。(〇はいくつでも)



障がい者の人権に対する現状認識について、「A.人々の意識はかなり進んできたがまだまだ差別や偏見がある」という回答が54.3%と最も高く、また、「B.障がいや障がい者の生活上の不便さなどに関する人々の認識が欠けている」も40.2%に上る。

【性別・年齢との関係】

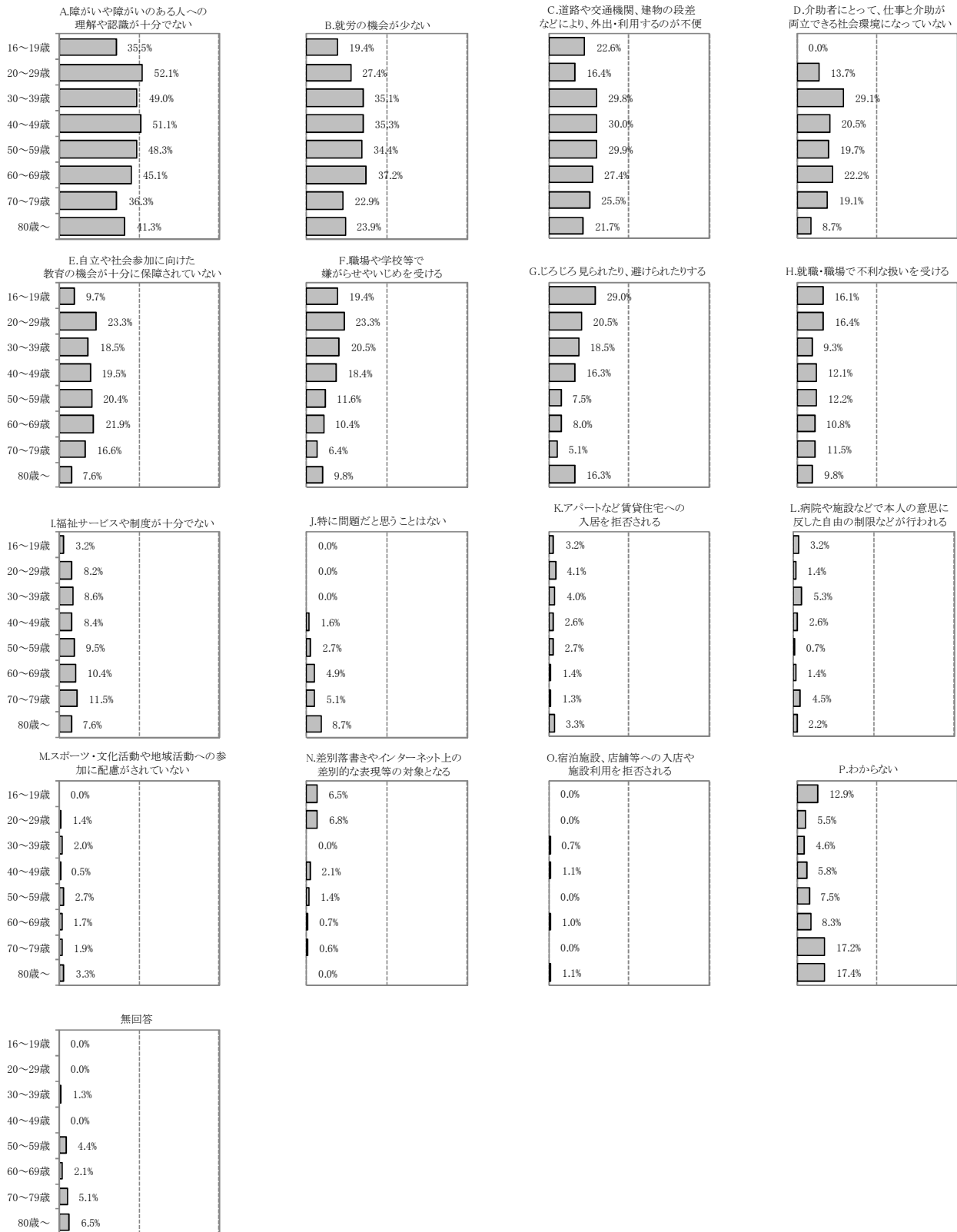
〔図 18-1〕 問 18 障がいのある人の人権に関する問題 と 性別 の関係



性別でみると〔図 18-1〕、「B. 就労の機会が少ない」、「H. 就職・職場で不利な扱いを受ける」では、男性の方が大幅に高くなっている。

「C. 道路や交通機関、建物の段差などにより、外出・利用するのが不便」では、女性の方が大幅に高くなっている。

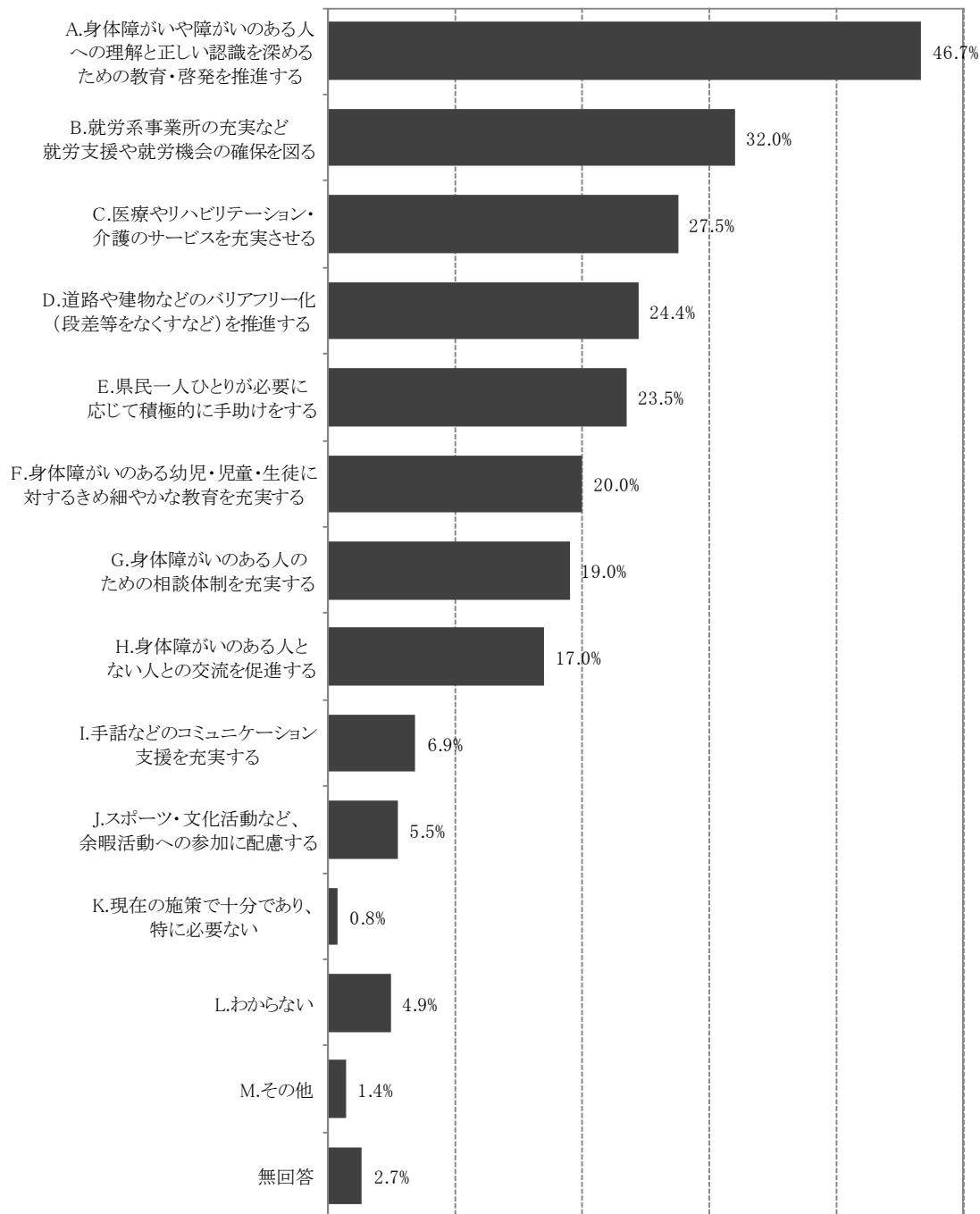
〔図 18-2〕 問 18 障がいのある人の人権に関する問題 と 年齢 の関係



年齢別で見ると〔図 18-2〕、「A.障がいや障がいのある人への理解や認識が十分でない」が、すべての年代で最も高くなっている。

問 19 (身体障がいのある人の人権が尊重されるために必要な取組み)

あなたは、身体障がい(※)のある人の人権が尊重されるためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つ以内)

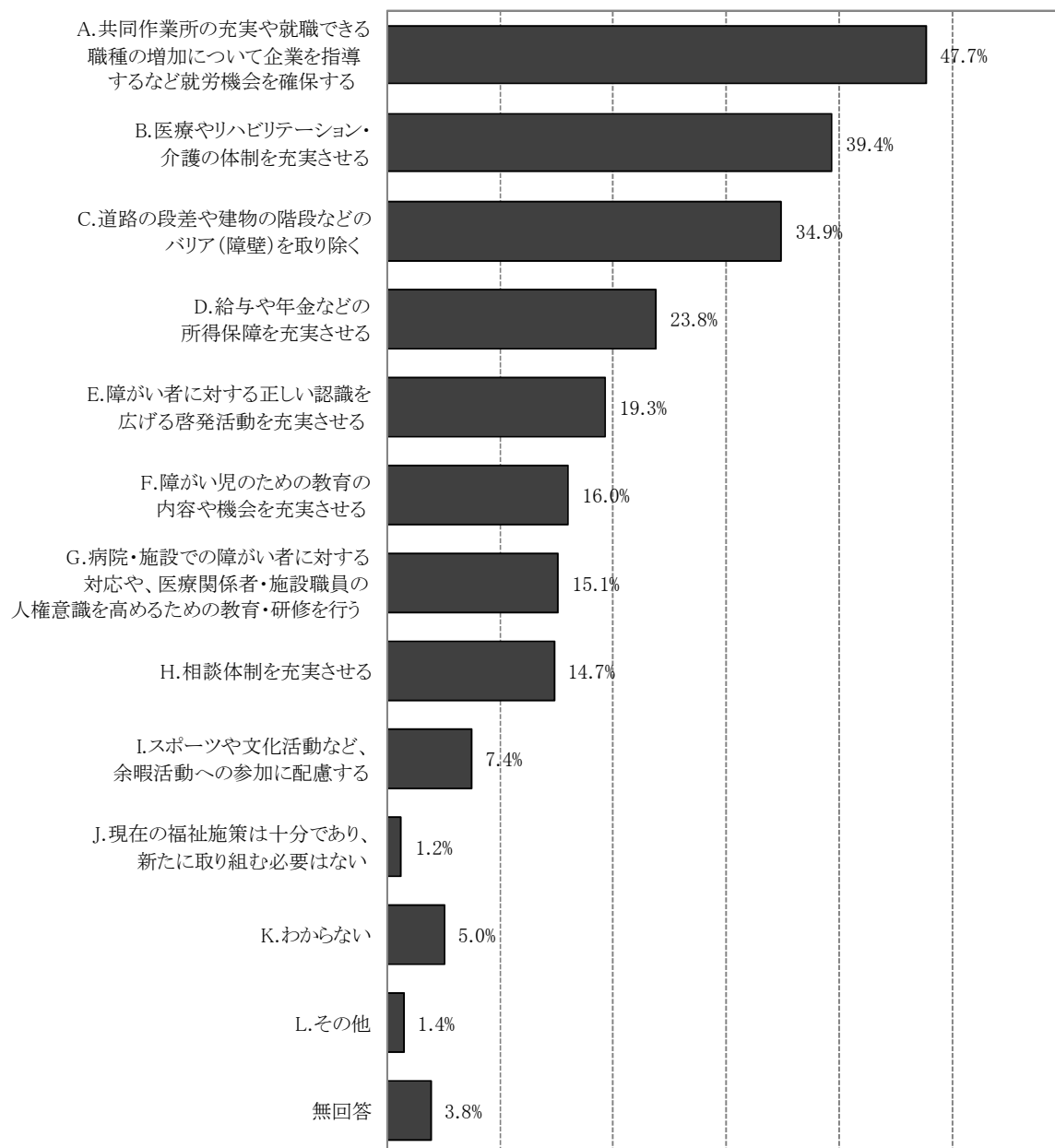


■身体障がい者の人権が尊重されるために必要と思う取組は、「A.身体障がいや障がいのある人への理解と正しい認識を深めるための教育・啓発を推進する」(46.7%)が最も高く、次いで、「B.就労系事業所の充実など就労支援や就労機会の確保を図る」(32.0%)、「医療やリハビリテーション・介護のサービスを充実させる」(27.5%)となっている。

【参考】 ※設問文、選択肢の文言の一部が前回に比べて異なっているため、参考としてご参照ください。

前回調査(H23 鳥取県人権意識調査)

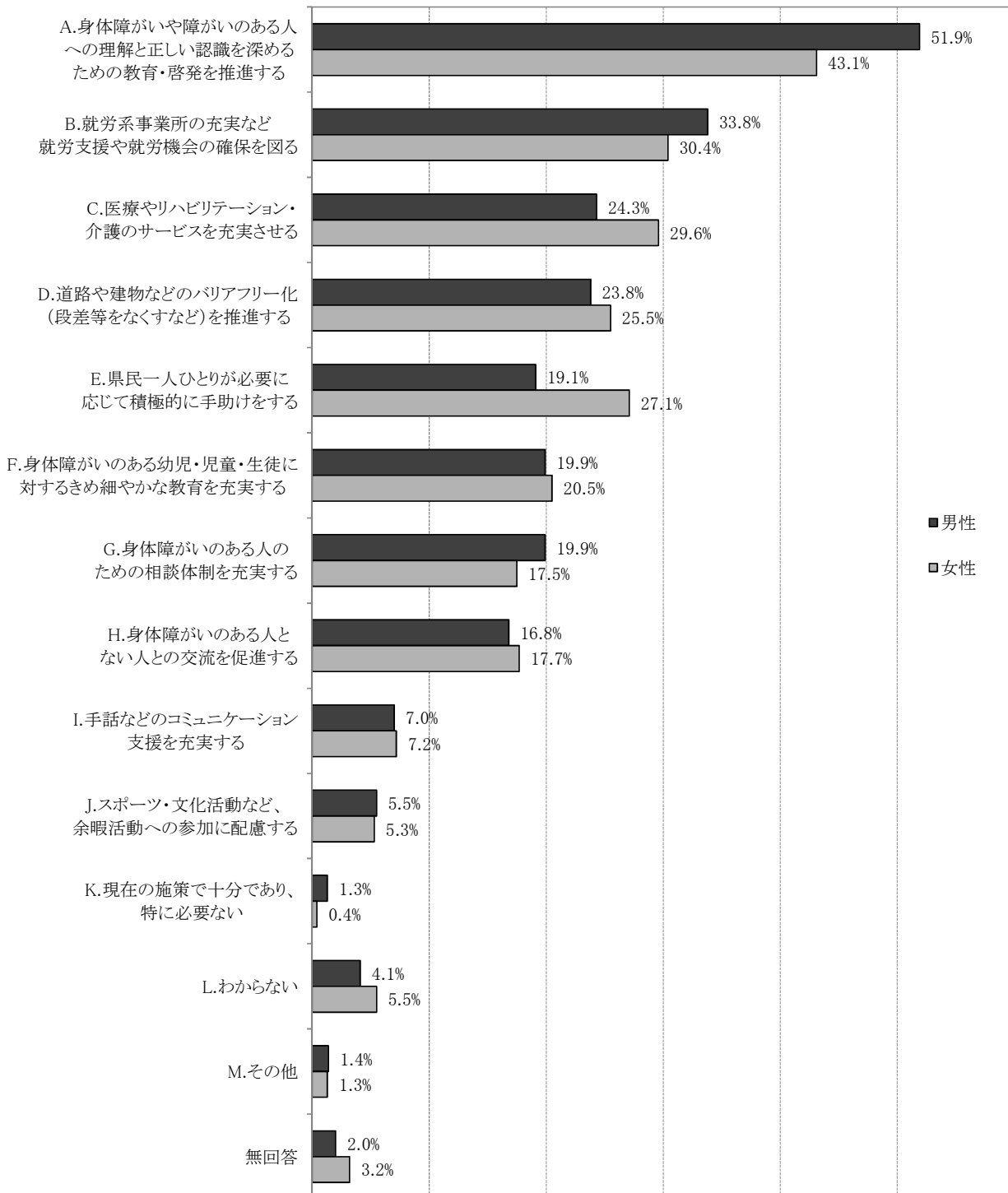
問 17 身体障がい者の人権を尊重するためには行政の施策としてどのようなことが重要だと思いますか。あなたの考えに近いものをお答えください。(〇は3つ以内)



身体障がい者の人権が尊重されるために行政の施策として重要と思うことは、「A.共同作業所の充実や就職できる職種の増加について企業を指導するなど就労機会を確保する」(47.7%)、「B.医療やリハビリテーション、介護の体制を充実させる」(39.4%)、「C.道路の段差や建物の階段などのバリア(障壁)を取り除く」(34.9%)の順に高くなっている。

【性別・年齢との関係】

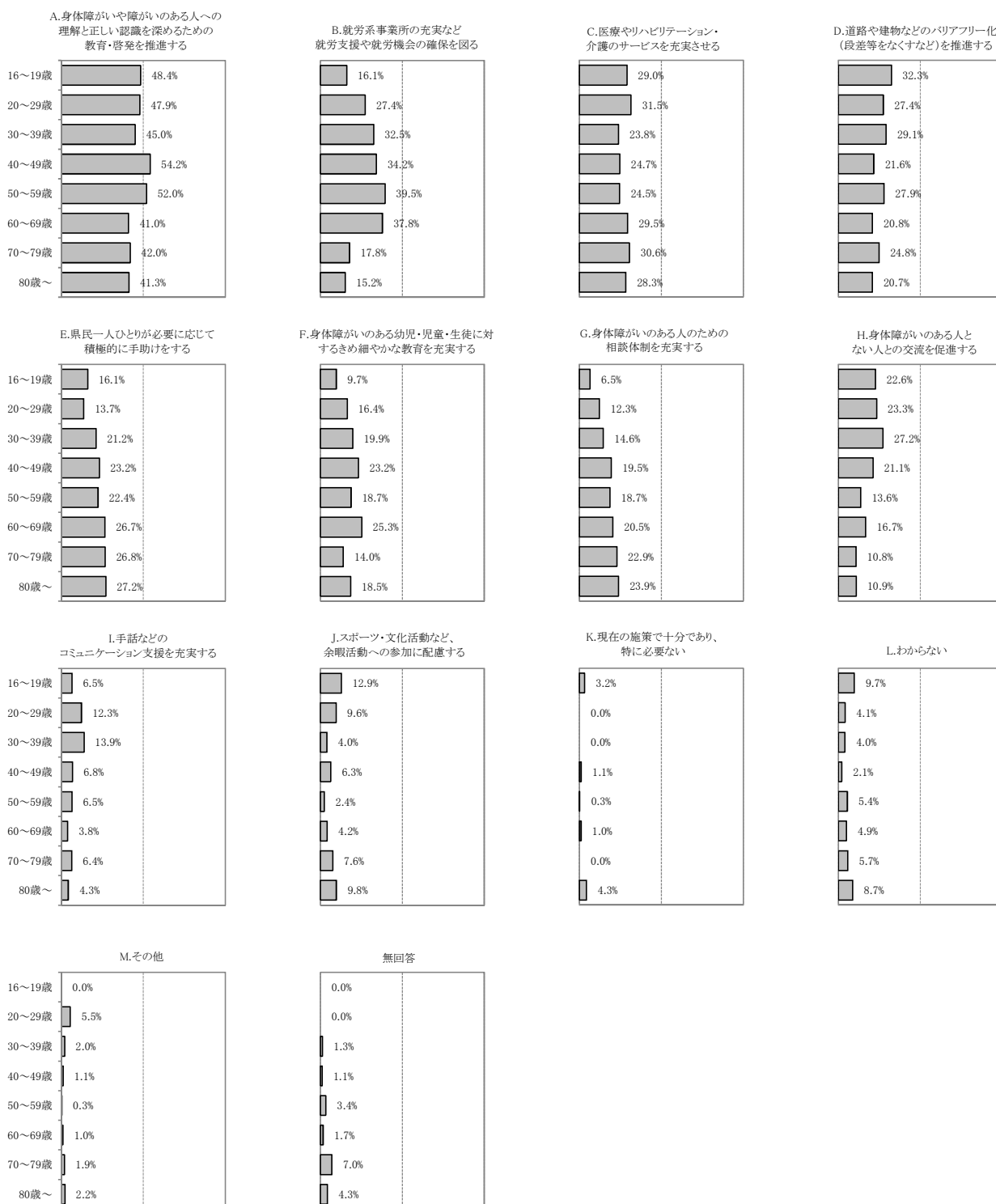
〔図 19-1〕 問 19 身体障がいのある人の人権が尊重されるために必要な取組み と 性別 の関係



性別でみると〔図 19-1〕、「A.身体障がいや障がいのある人への理解と正しい認識を深めるための教育・啓発を推進する」では、男性の方が大幅に高くなっている。

「C. 医療やリハビリテーション・介護のサービスを充実させる」、「E.県民一人ひとりが必要に応じて積極的に手助けをする」では、女性の方が大幅に高くなっている。

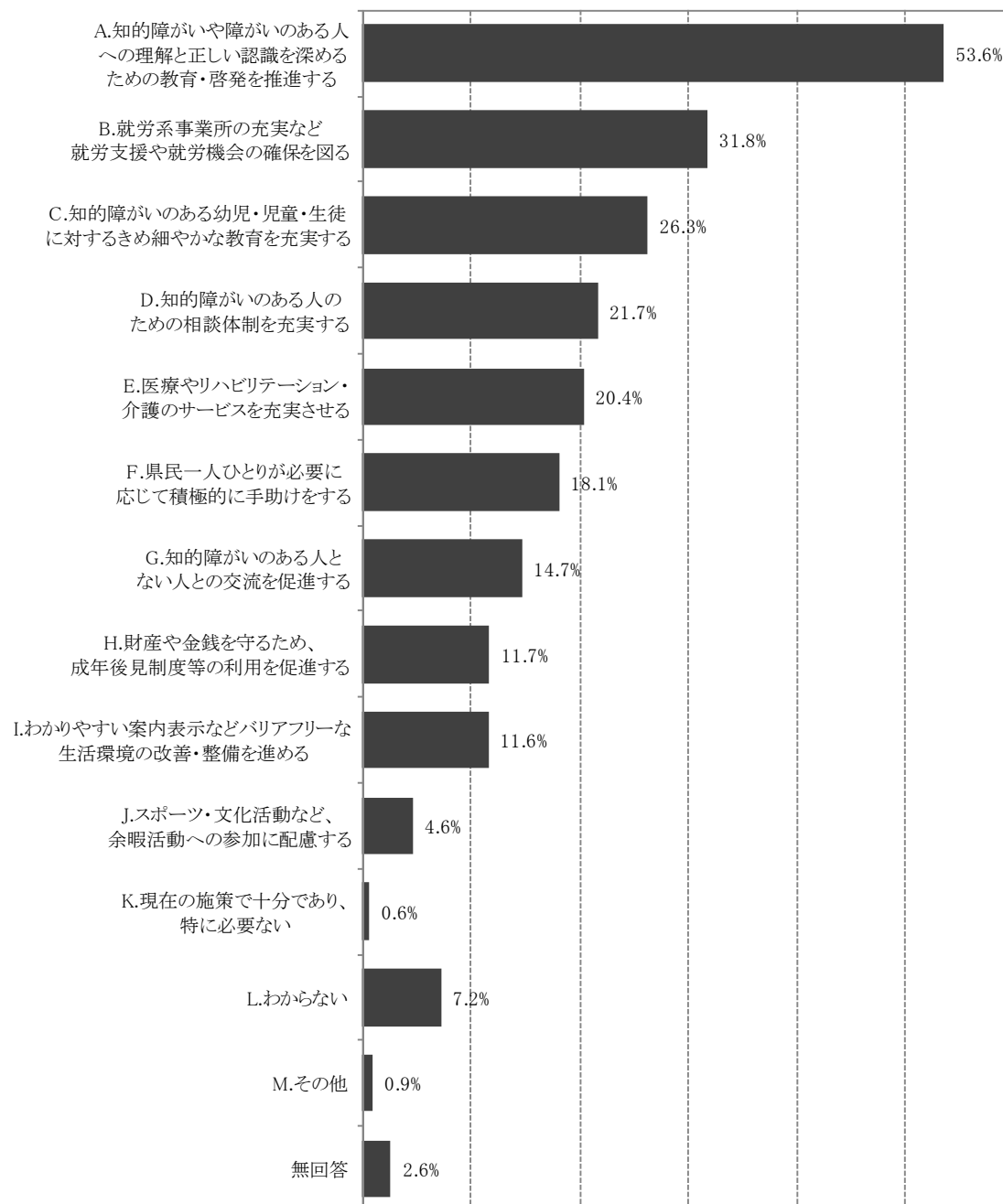
〔図 19-2〕 問 19 身体障がいのある人の人権が尊重されるために必要な取組み と 年齢 の関係



年齢別で見ると〔図 19-2〕、すべての年代において、「A. 身体障がいや障がいのある人への理解と正しい認識を深めるための教育・啓発を推進する」が最も高い。

問 20 (知的障がいのある人の人権が尊重されるために必要な取組み)

あなたは、知的障がい(※)のある人の人権が尊重されるためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つ以内)

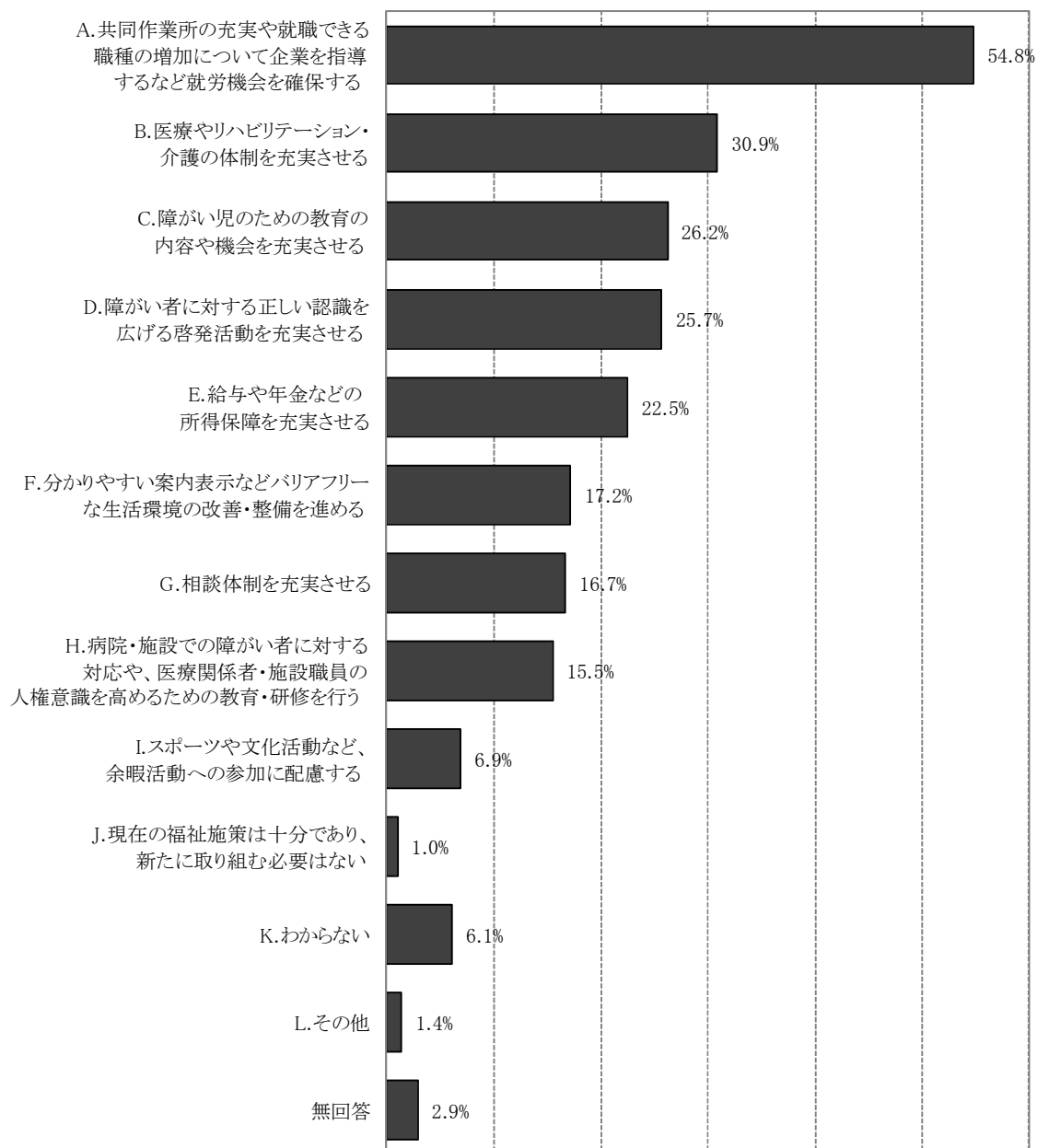


■知的障がい者の人権が尊重されるために必要と思う取組は、「A.知的障がいや障がいのある人への理解と正しい認識を深めるための教育・啓発を推進する」(53.6%)が最も高く、次いで、「B.就労系事業所の充実など就労支援や就労機会の確保を図る」(31.8%)、「C.知的障がいのある幼児・児童・生徒に対するきめ細やかな教育を充実する」(26.3%)となっている。

【参考】 ※設問文、選択肢の文言の一部が前回に比べて異なっているため、参考としてご参照ください。

前回調査(H23 鳥取県人権意識調査)

問 18 知的障がい者の人権を尊重するためには行政の施策としてどのようなことは重要だと思いますか。あなたの考えに近いものをお答えください。(〇は3つ以内)

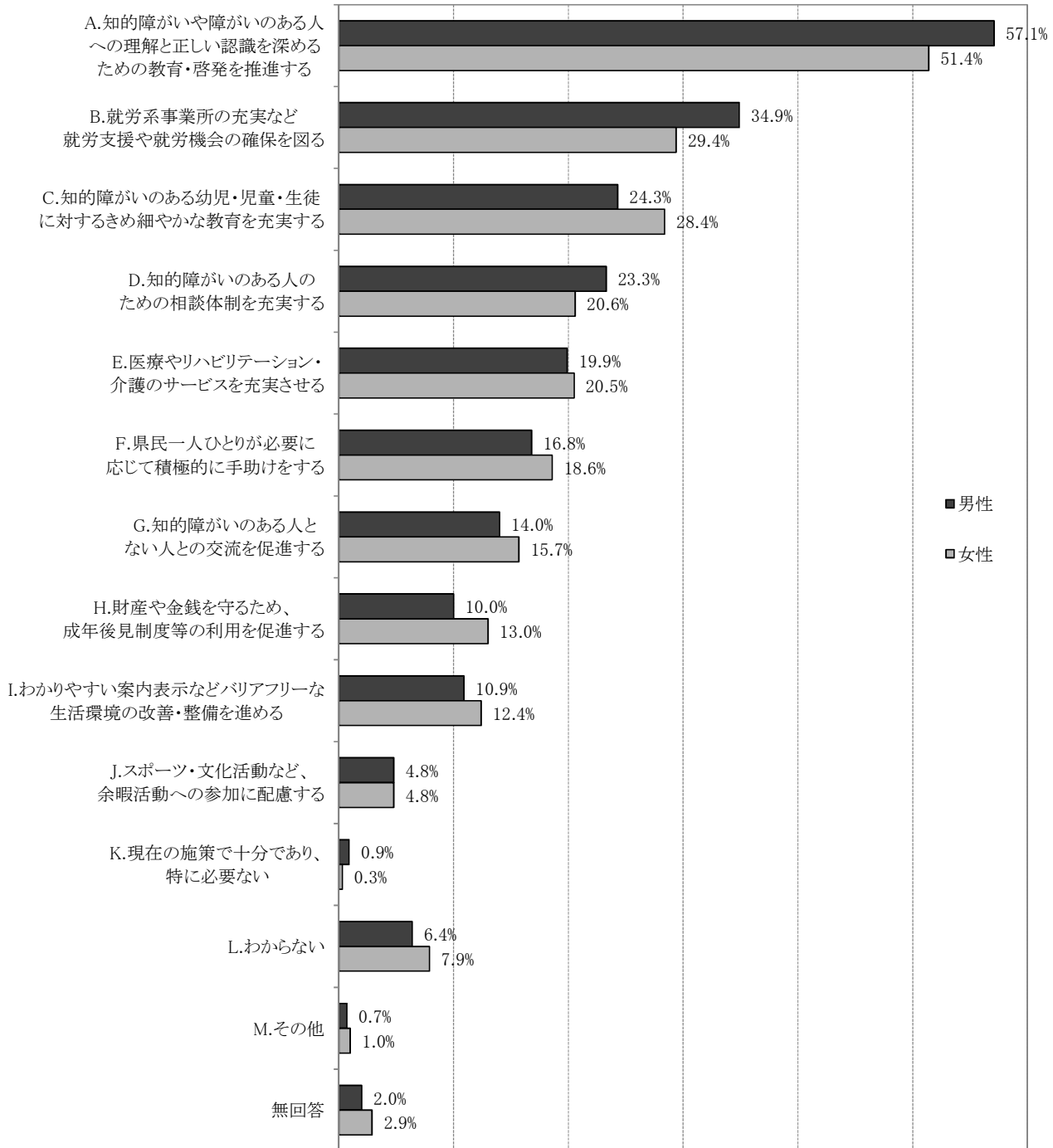


知的障がい者の人権が尊重されるために行政の施策として重要と思うことは、「A.共同作業所の充実や就職できる職種の増加について企業を指導するなど就労機会を確保する」(54.8%)が最も高い。

次いで、「B.医療やリハビリテーション・介護の体制を充実させる」(30.9%)、「C.障がい児のための教育の内容や機会を充実させる」(26.2%)、「D.障がい者に対する正しい認識を広げる啓発活動を充実させる」(25.7%)となっている。

【性別・年齢との関係】

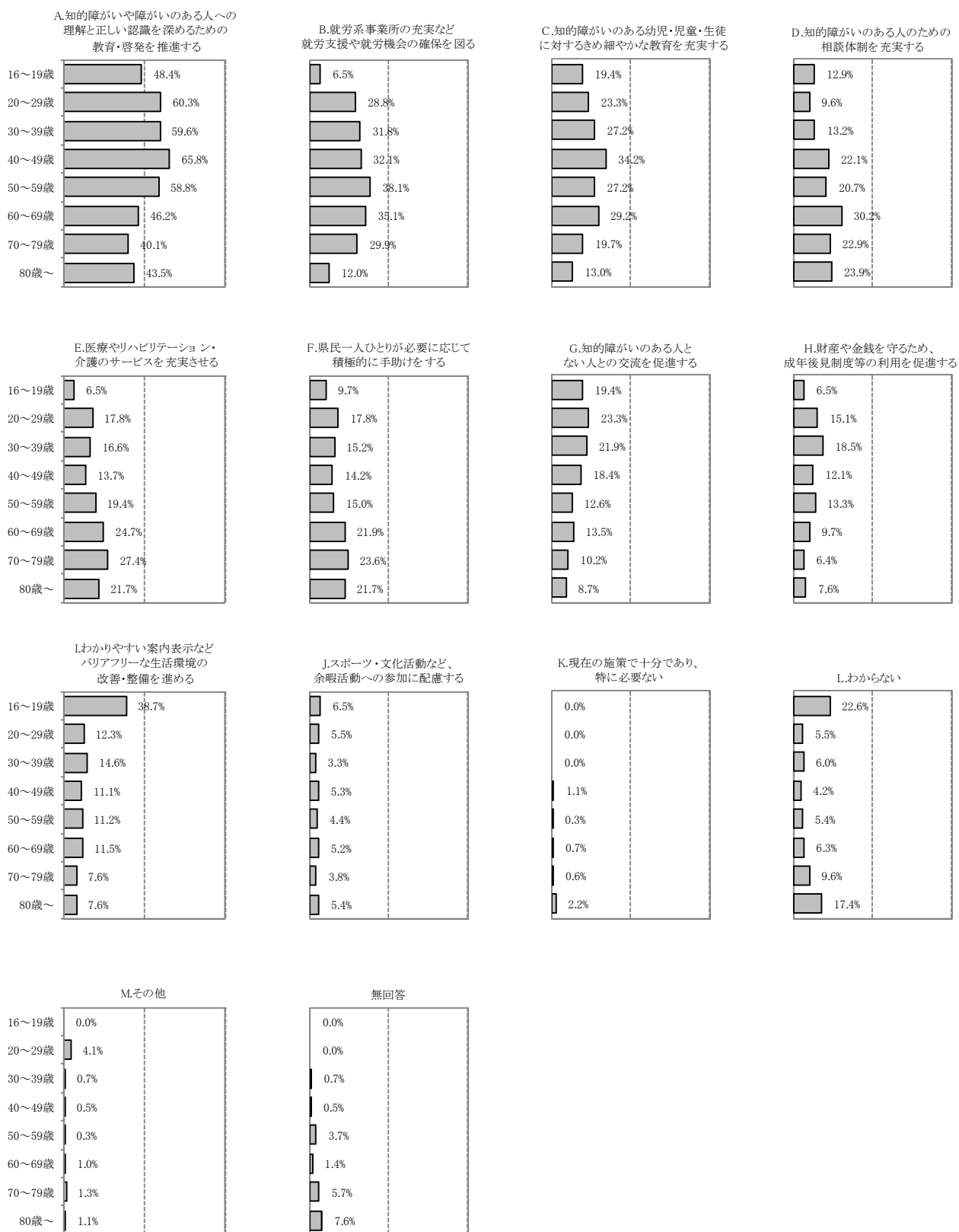
〔図 20-1〕 問 20 知的障がいのある人の人権が尊重されるために必要な取組み と 性別 の関係



性別でみると〔図 20-1〕、「A. 知的障がいや障がいのある人への理解と正しい認識を深めるための教育・啓発を推進する」、「B. 就労系事業所の充実など就労支援や就労機会の確保を図る」では、男性の方が大幅に高くなっている。

「C. 知的障がいのある幼児・児童・生徒に対するきめ細やかな教育を充実する」では、女性の方が大幅に高くなっている。

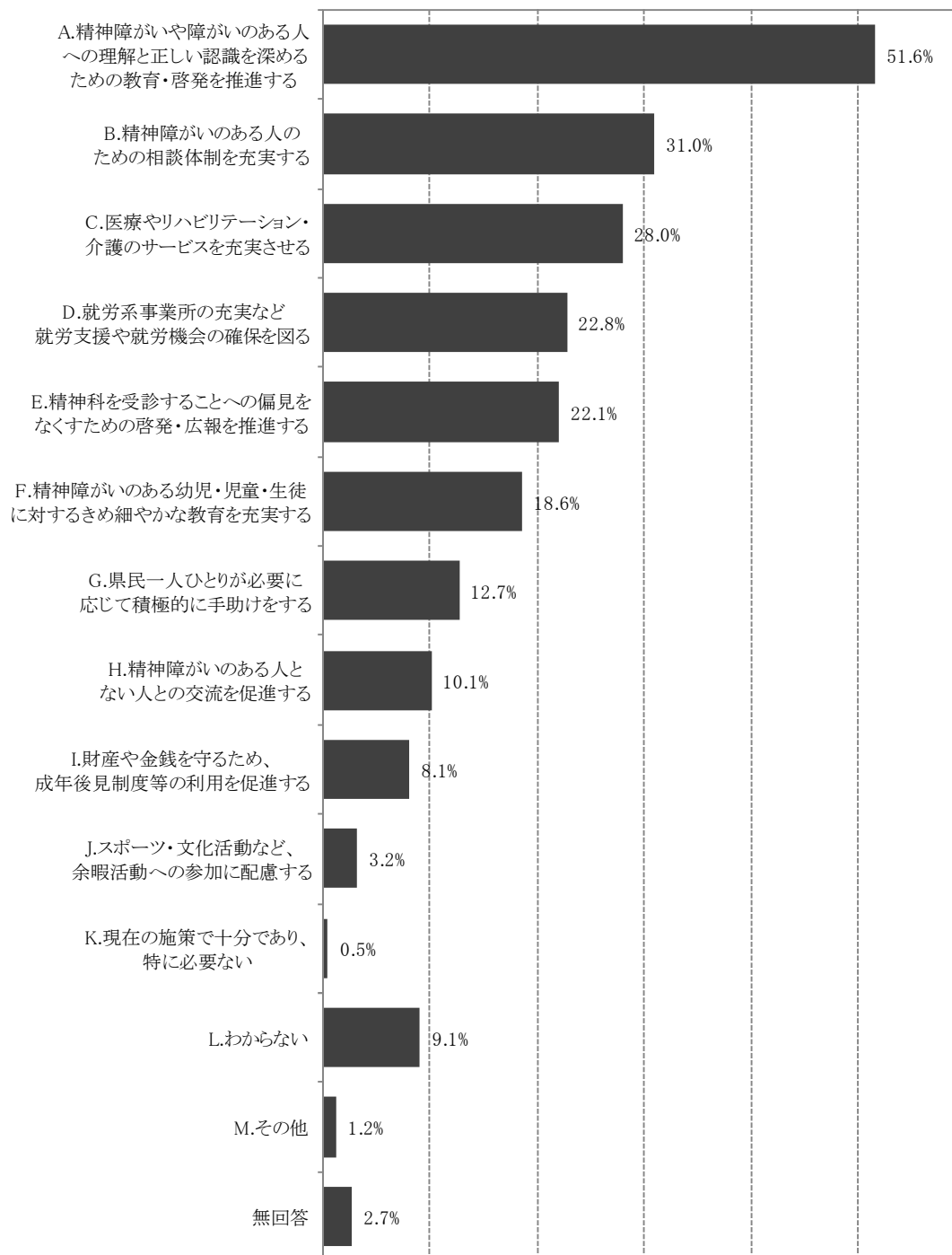
〔図 20-2〕 問 20 知的障がいのある人の人権が尊重されるために必要な取組み と 年齢 の関係



年齢別でみると〔図 20-2〕、すべての年代において、「A.知的障がいや障がいのある人への理解と正しい認識を深めるための教育・啓発を推進する」が最も高くなっている。

問 21 (精神障がいのある人の人権が尊重されるために必要な取組み)

あなたは、精神障がい(※)のある人の人権が尊重されるためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つ以内)

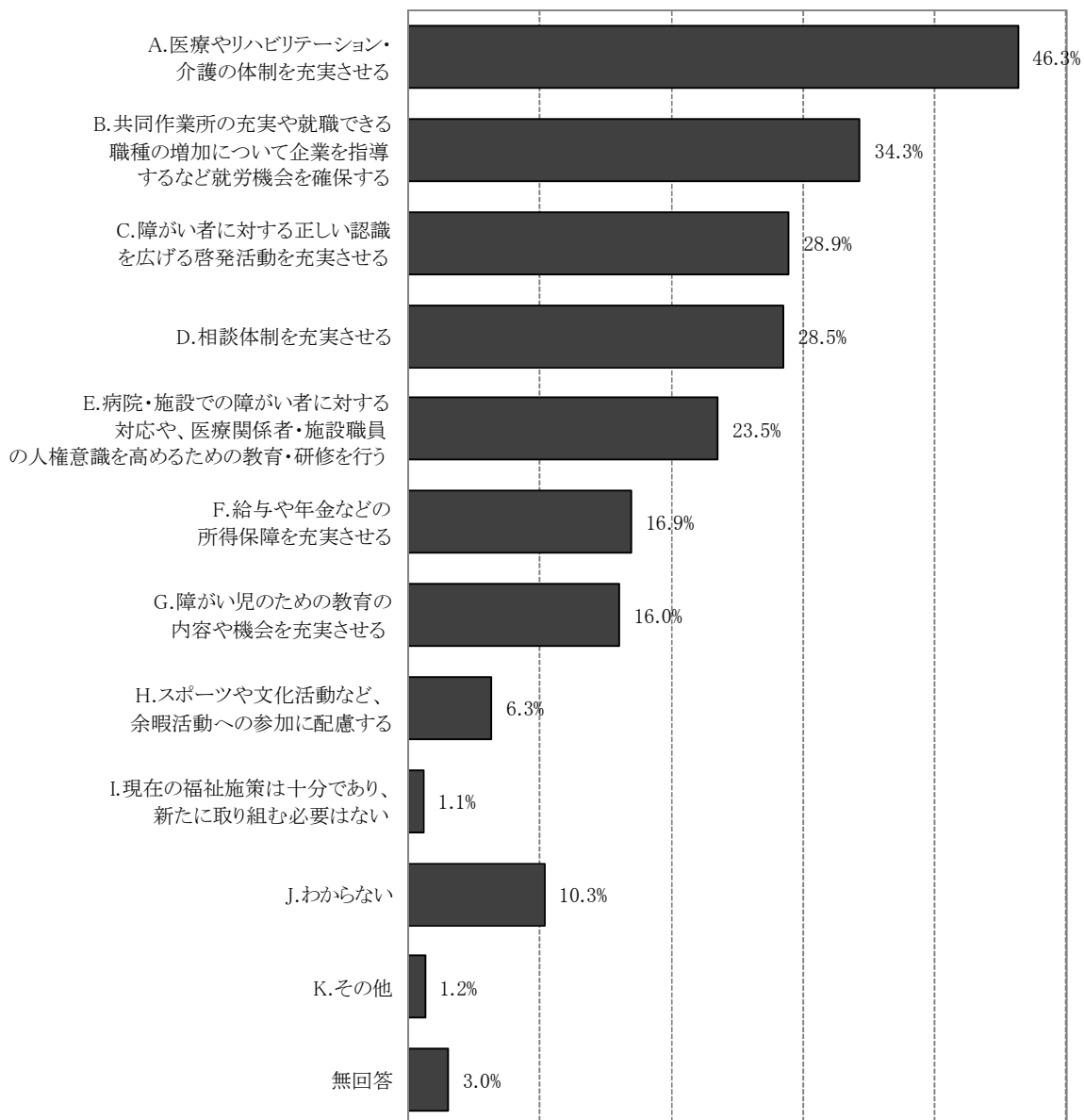


■精神障がい者の人権が尊重されるために必要と思う取組は、「A.精神障がいや障がいのある人への理解と正しい認識を深めるための教育・啓発を推進する」(51.6%)が最も高く、次いで、「B.精神障がいのある人のための相談体制を充実する」(31.0%)、「C.医療やリハビリテーション・介護のサービスを充実させる」(28.0%)となっている。

【参考】 ※設問文、選択肢の文言の一部が前回に比べて異なっているため、参考としてご参照ください。

前回調査(H23 鳥取県人権意識調査)

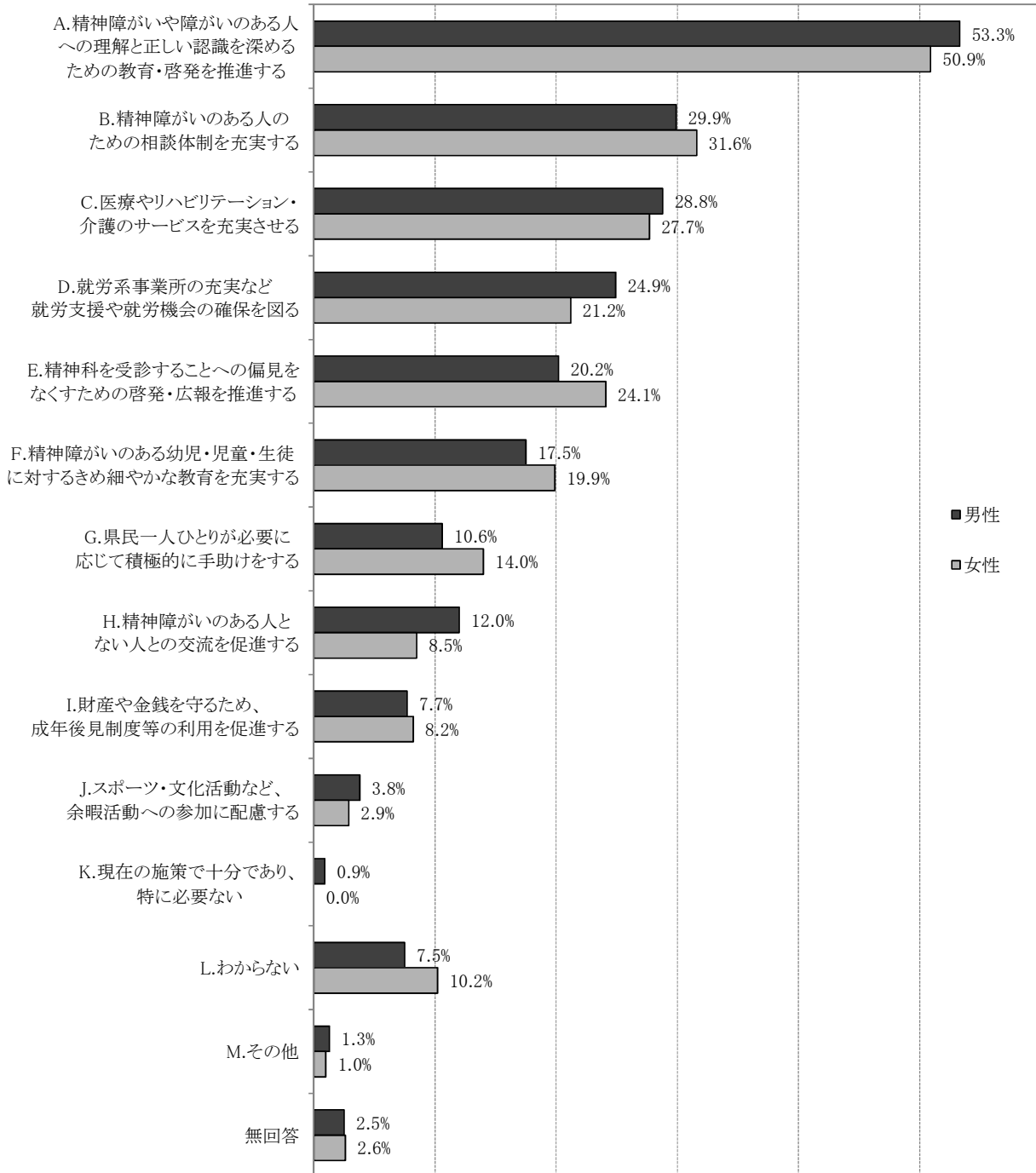
問 19 精神障がい者の人権を尊重するためには行政の施策としてどのようなことは重要だと思いますか。あなたの考えに近いものをお答えください。(〇は3つ以内)



精神障がい者の人権が尊重されるために行政の施策として重要と思うことは、「A.医療やリハビリテーション・介護の体制を充実させる」(46.3%)が最も高い。次いで「B.共同作業所の充実や就職できる職種の増加について企業を指導するなど就労機会を確保する」(34.3%)、「C.障がい者に対する正しい認識を広げる啓発活動を充実させる」(28.9%)、「D.相談体制を充実させる」(28.5%)となっている。

【性別・年齢との関係】

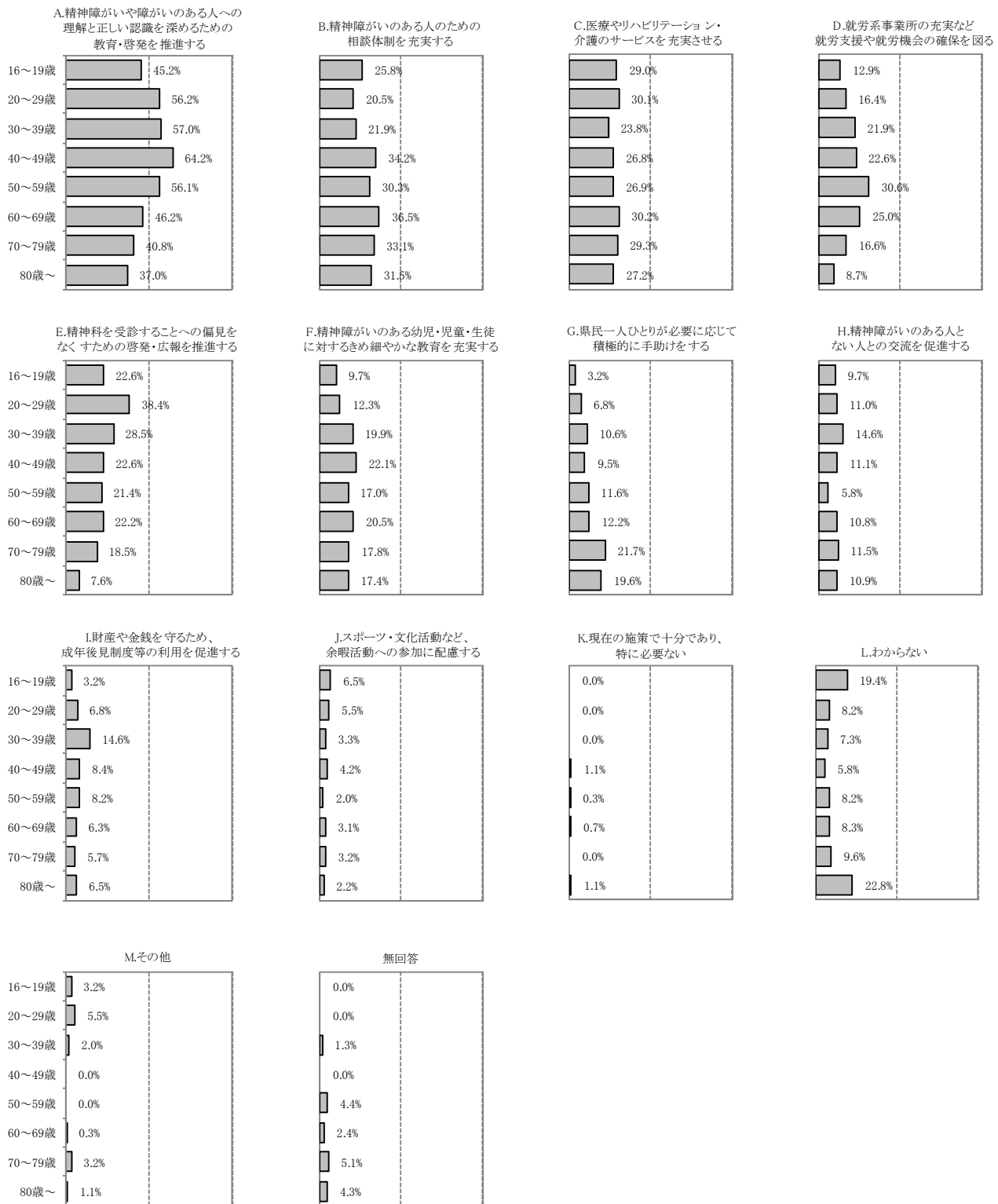
〔図 21-1〕 問 21 精神障がいのある人の人権が尊重されるために必要な取組み と 性別 の関係



性別でみると〔図 21-1〕、「D. 就労系事業所の充実など就労支援や就労機会の確保を図る」、「H. 精神障がいのある人とない人との交流を促進する」では、男性の方が大幅に高くなっている。

「E. 精神科を受診することへの偏見をなくすための啓発・広報を推進する」、「G. 県民一人ひとりが必要に応じて積極的に手助けをする」では、女性の方が大幅に高くなっている。

〔図 21-2〕 問 21 精神障がいのある人の人権が尊重されるために必要な取組み と 年齢 の関係

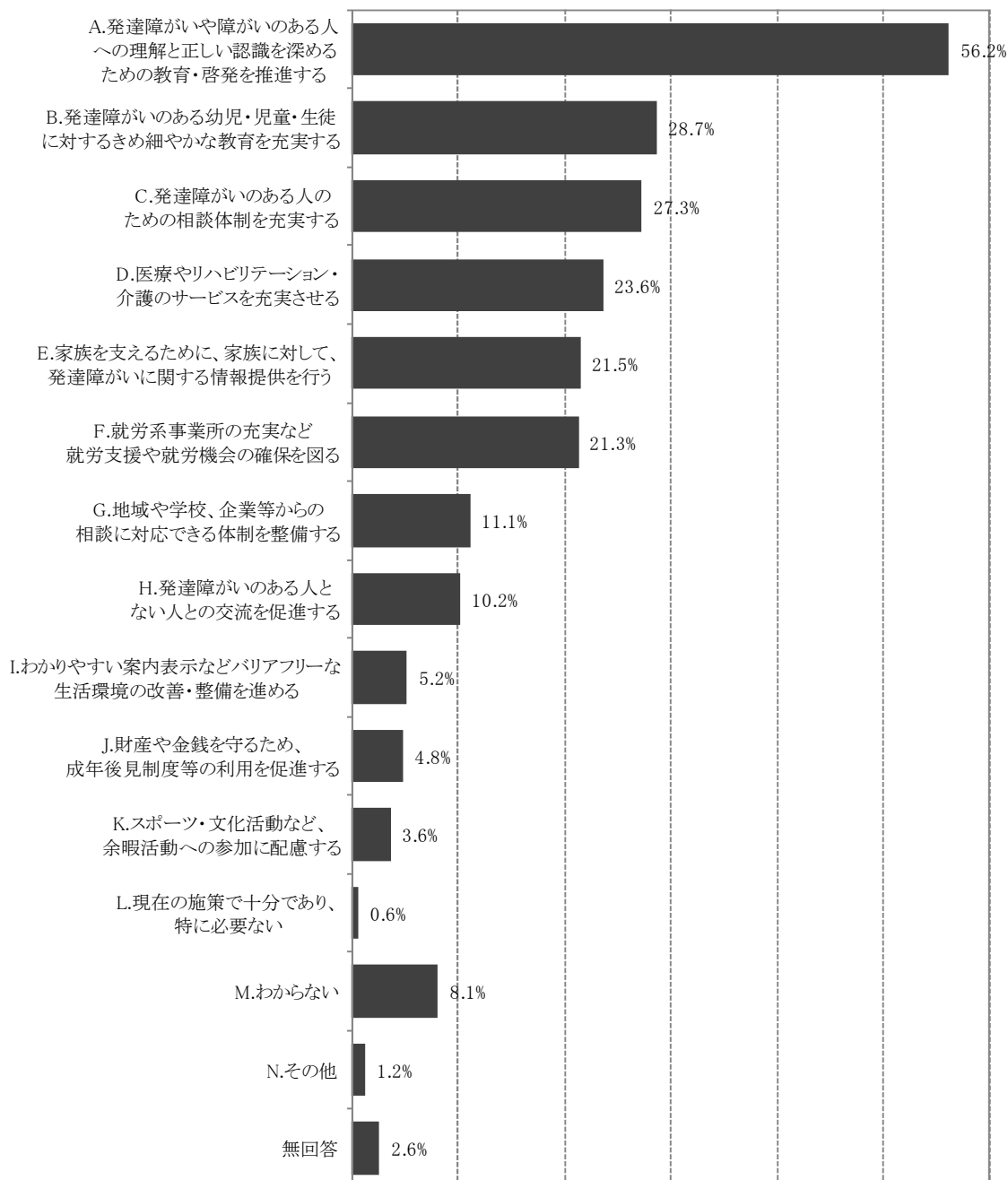


年齢別でみると〔図 21-2〕、「A.精神障がいや障がいのある人への理解と正しい認識を深めるための教育・啓発を推進する」がすべての年代で最も高い。

「D.就労系事業所の充実など就労支援や就労機会の確保を図る」は、30 歳代(30.6%)が高く、「E.精神科を受診することへの偏見をなくすための啓発・広報を推進する」では、20 歳代(38.4%)が高くなっている。

問 22（発達障がいのある人の人権が尊重されるために必要な取組み）

あなたは、発達障がい(※)のある人の人権が尊重されるためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つ以内)

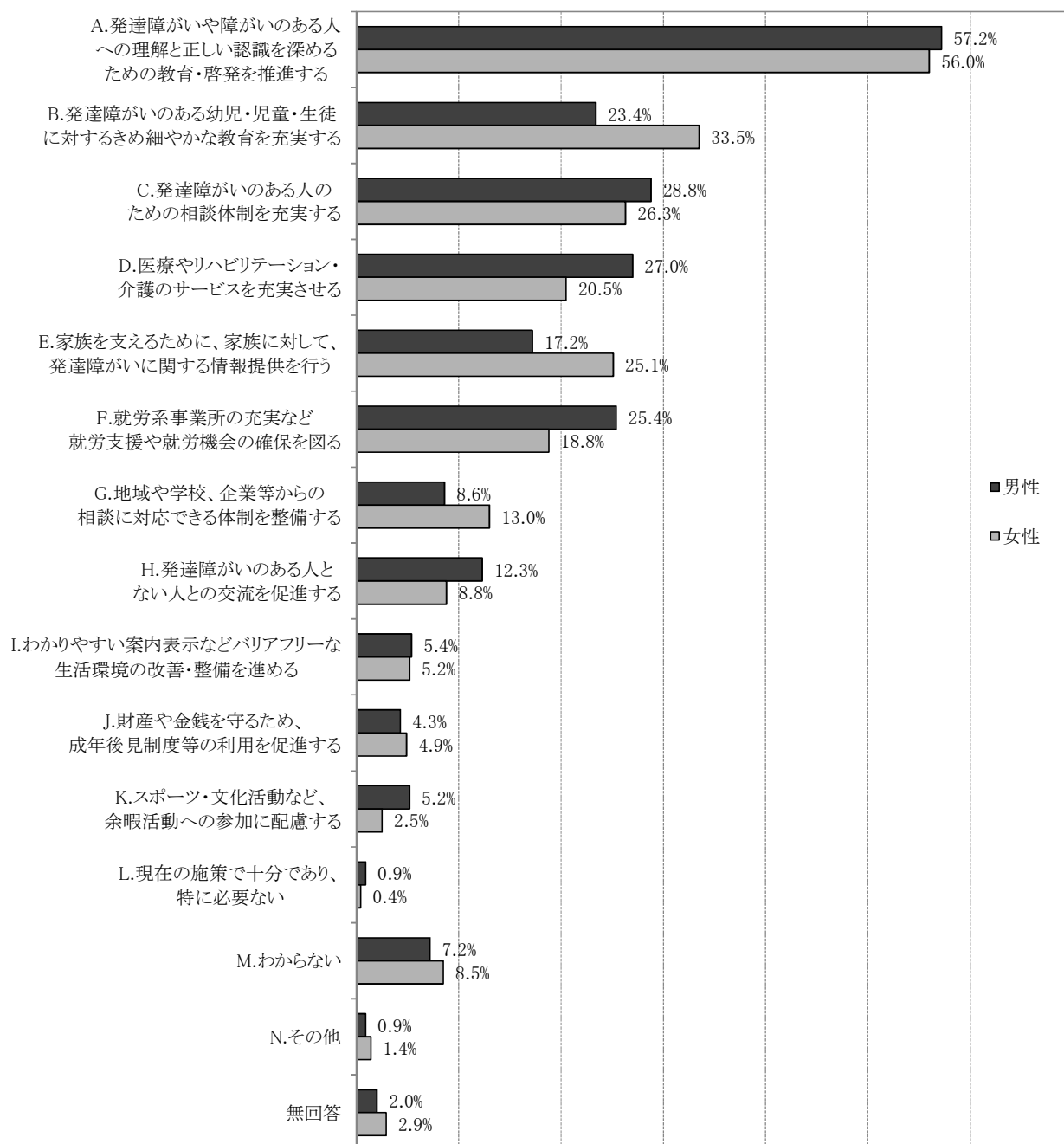


■発達障がい者の人権が尊重されるために必要と思う取組は、「A.発達障がいや障がいのある人への理解と正しい認識を深めるための教育・啓発を推進する」(56.2%)が最も高く、次いで、「B.発達障がいのある幼児・児童・生徒に対するきめ細やかな教育を充実する」(28.7%)、「C.発達障がいのある人のための相談体制を充実する」(27.3%)となっている。

※前回調査なし

【性別・年齢との関係】

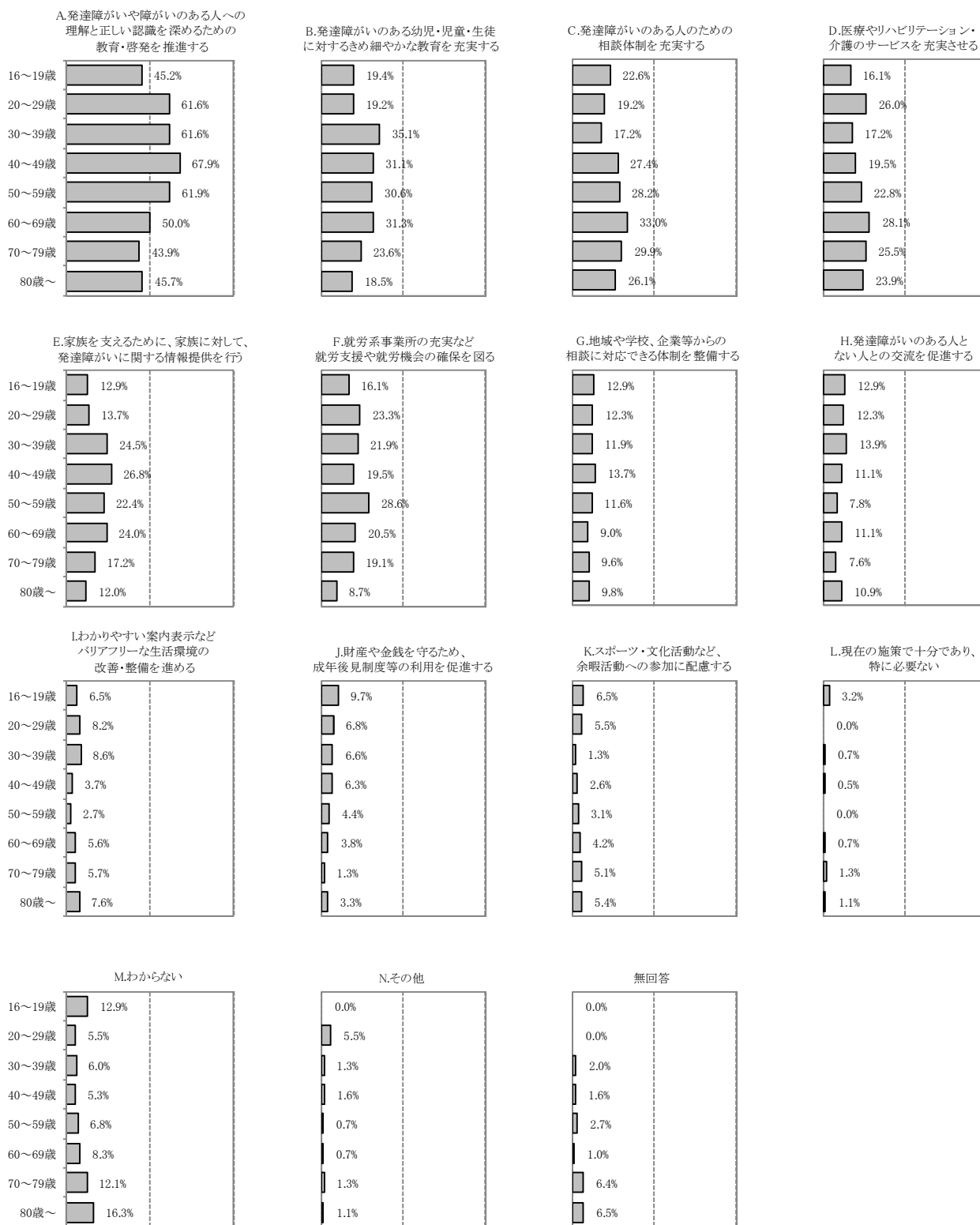
〔図 22-1〕 問 22 発達障がいのある人の人権が尊重されるために必要な取組み と 性別 の関係



性別で見ると〔図 22-1〕、「D. 医療やリハビリテーション・介護のサービスを充実させる」、「F. 就労系事業所の充実など就労支援や就労機会の確保を図る」では、男性の方が大幅に高くなっている。

「B. 発達障がいのある幼児・児童・生徒に対するきめ細やかな教育を充実する」、「E. 家族を支えるために、家族に対して、発達障がいに関する情報提供を行う」では、女性の方が大幅に高くなっている。

〔図 22-2〕 問 22 発達障がいのある人の人権が尊重されるために必要な取組み と 年齢 の関係

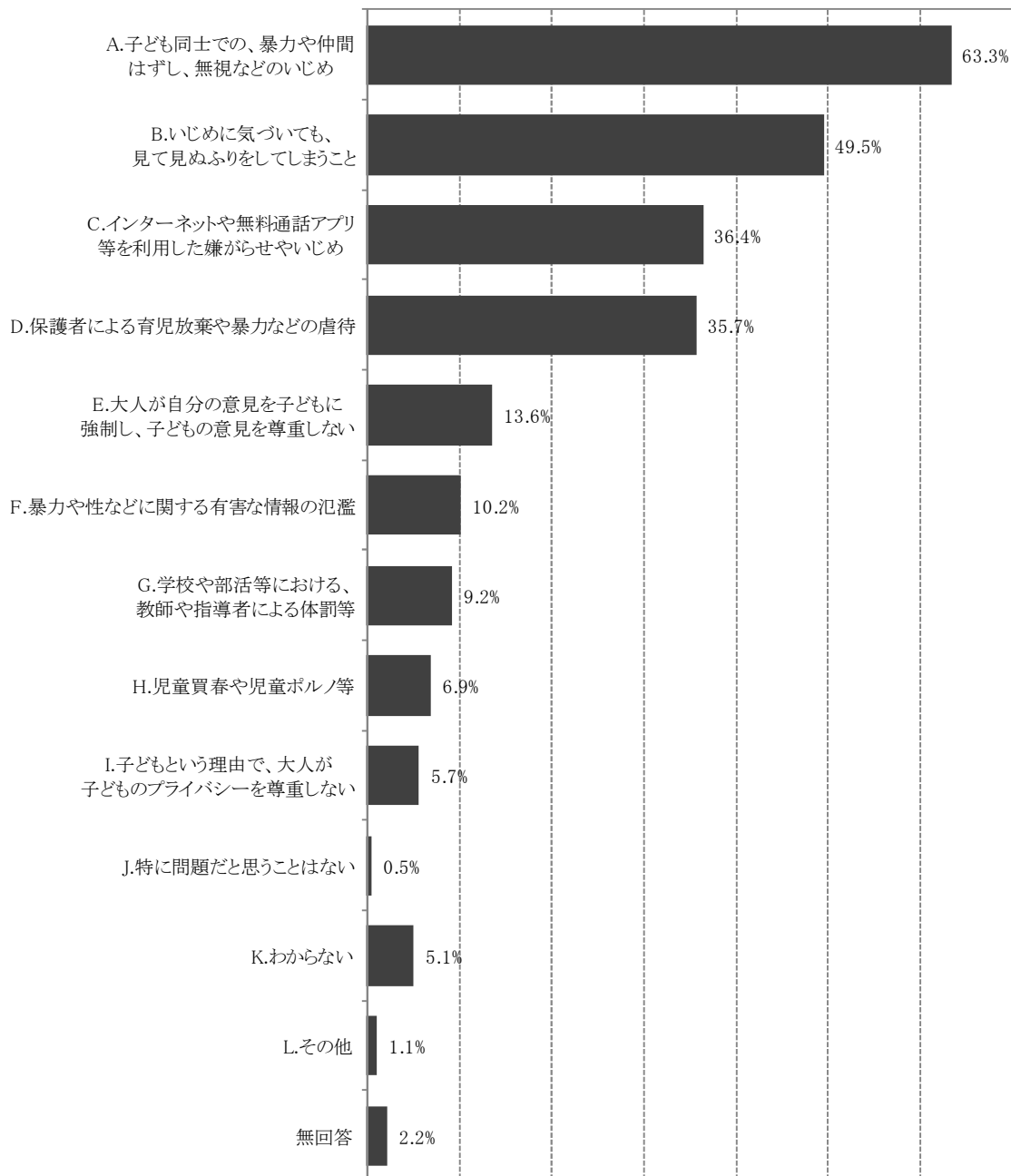


年齢別でみると〔図 22-2〕、すべての年代において、「A.発達障がいや障がいのある人への理解と正しい認識を深めるための教育・啓発を推進する」が最も高くなっている。

問 23 (子どもの人権に関する問題)

子どもの人権に関することで、あなたが特に問題があると思うのはどのようなことですか。

(○は3つ以内)

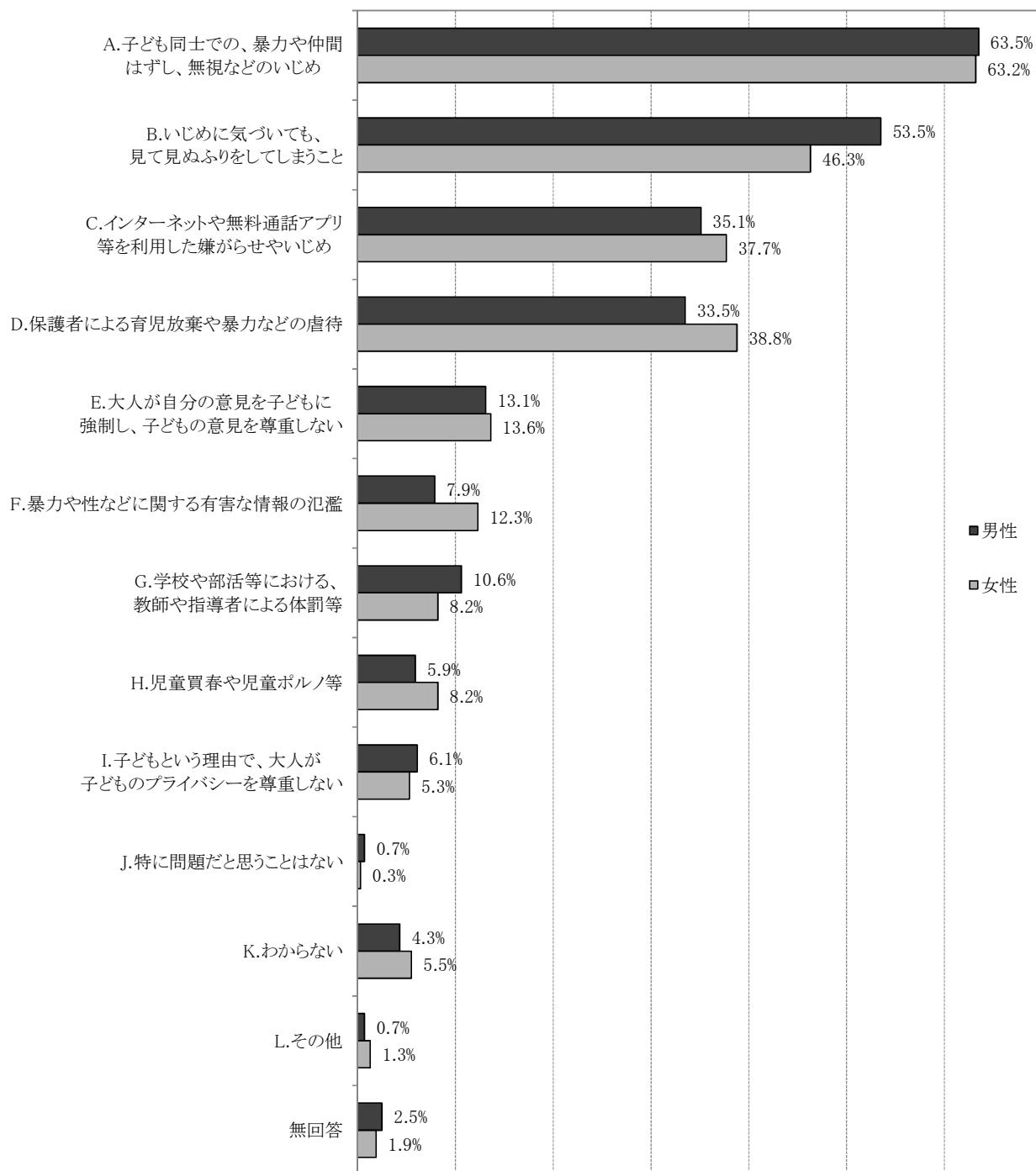


■子どもの人権に関することで問題があると思うことは、「A.子ども同士での、暴力や仲間はずし、無視などのいじめ」(63.3%)が最も高く、次いで、「B.いじめに気づいても、見て見ぬふりをしてしまうこと」(49.5%)となっている。

※前回調査なし

【性別・年齢との関係】

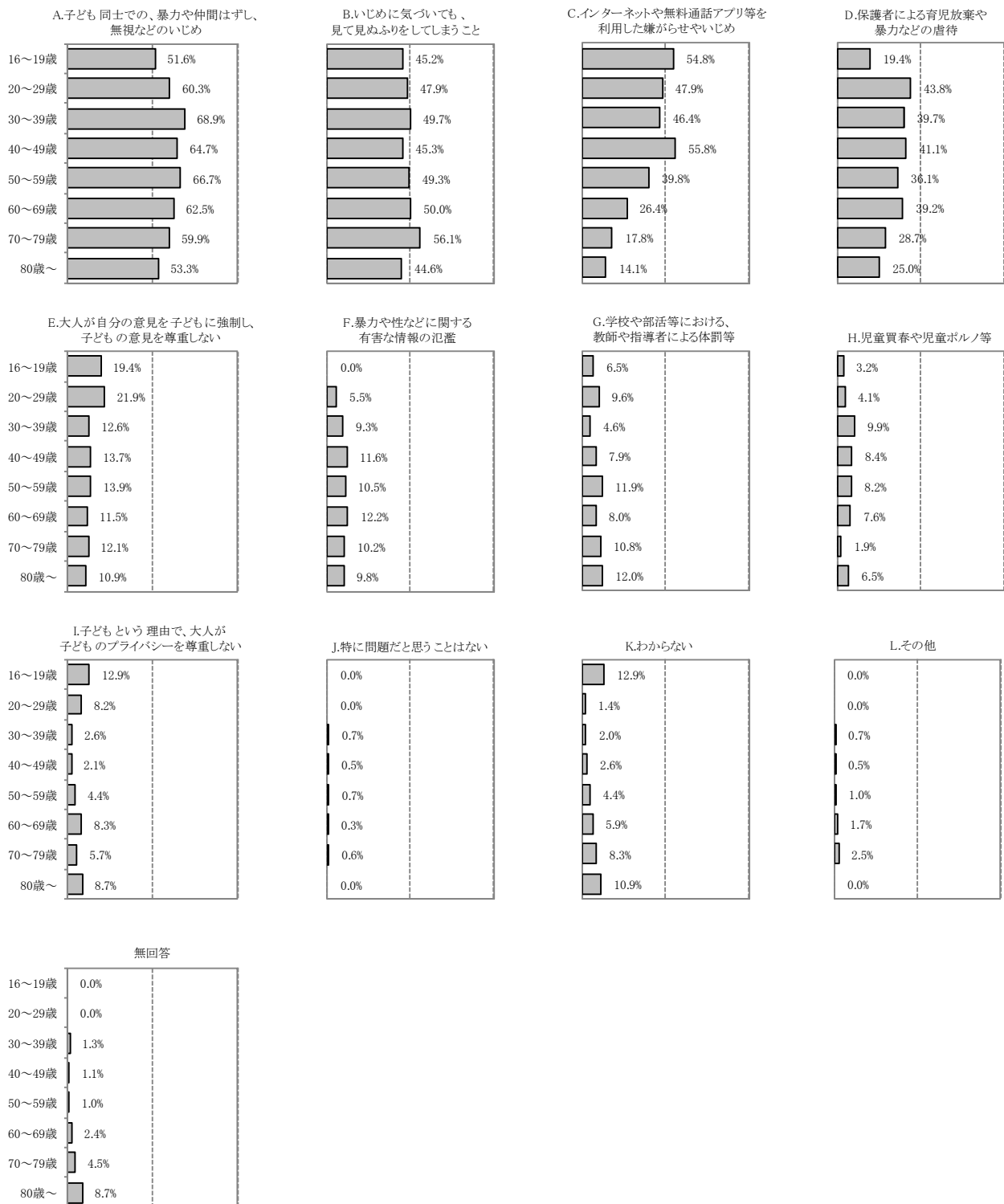
〔図 23-1〕 問 23 子どもの人権に関する問題 と 性別 の関係



性別で見ると〔図 23-1〕、「B. いじめに気づいても、見て見ぬふりをしてしまうこと」では、男性の方が大幅に高くなっている。

「D. 保護者による育児放棄や暴力などの虐待」、「F. 暴力や性などに関する有害な情報の氾濫」では、女性の方が大幅に高くなっている。

〔図 23-2〕 問 23 子どもの人権に関する問題 と 年齢 の関係



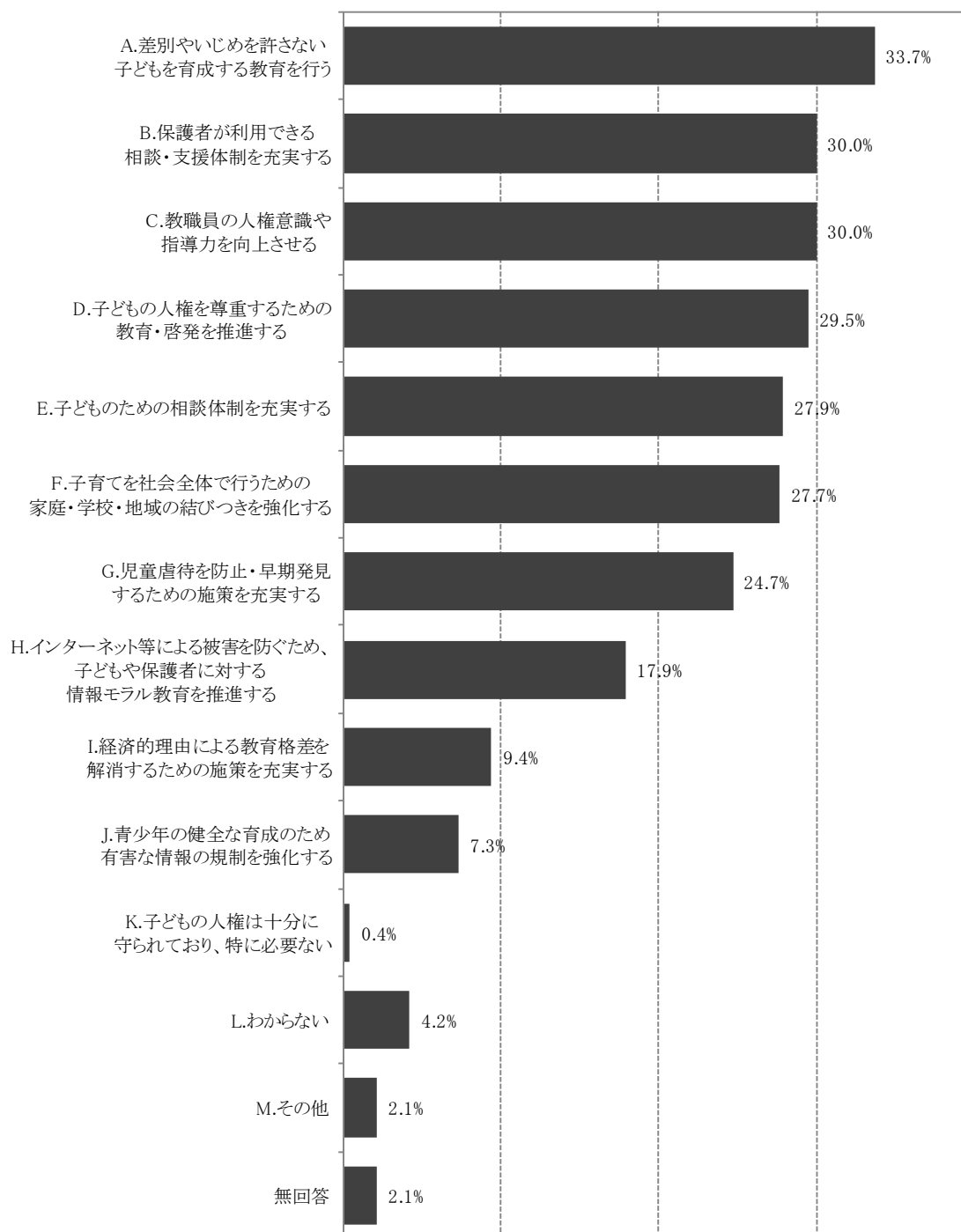
年齢別でみると〔図 23-2〕、すべての年代において、5 割以上の方が「A.子ども同士での、暴力や仲間はずし、無視などのいじめ」と回答している。

16~19 歳では、「C.インターネットや無料通話アプリ等を利用した嫌がらせやいじめ」(54.8%)が最も高くなっている。

問 24 (子どもの人権が尊重されるために必要な取組み)

あなたは、子どもの人権が尊重されるためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。

(○は3つ以内)

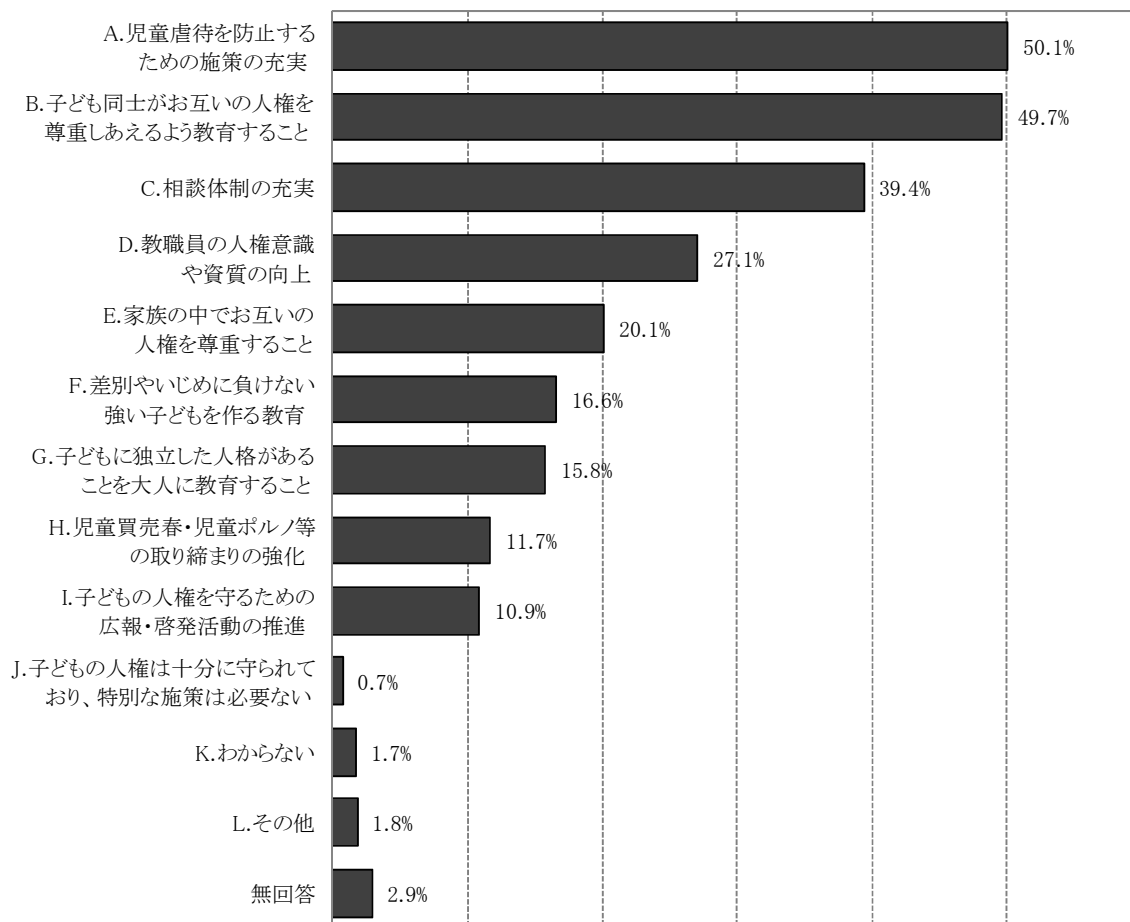


■子どもの人権が尊重されるために必要と思う取組は、「A.差別やいじめを許さない子どもを育成する教育を行う」(33.7%)が最も高く、次いで、「B.保護者が利用できる相談・支援体制を充実する」(30.0%)、「C.教職員の人権意識や指導力を向上させる」(30.0%)となっている。

【参考】 ※設問文、選択肢の文言の一部が前回に比べて異なっているため、参考としてご参照ください。

前回調査(H23 鳥取県人権意識調査)

問 20 子どもの人権を守るためにどのようなことが必要だと思いますか。次の中からあなたの考えに近いものをお答えください。(〇は3つ以内)

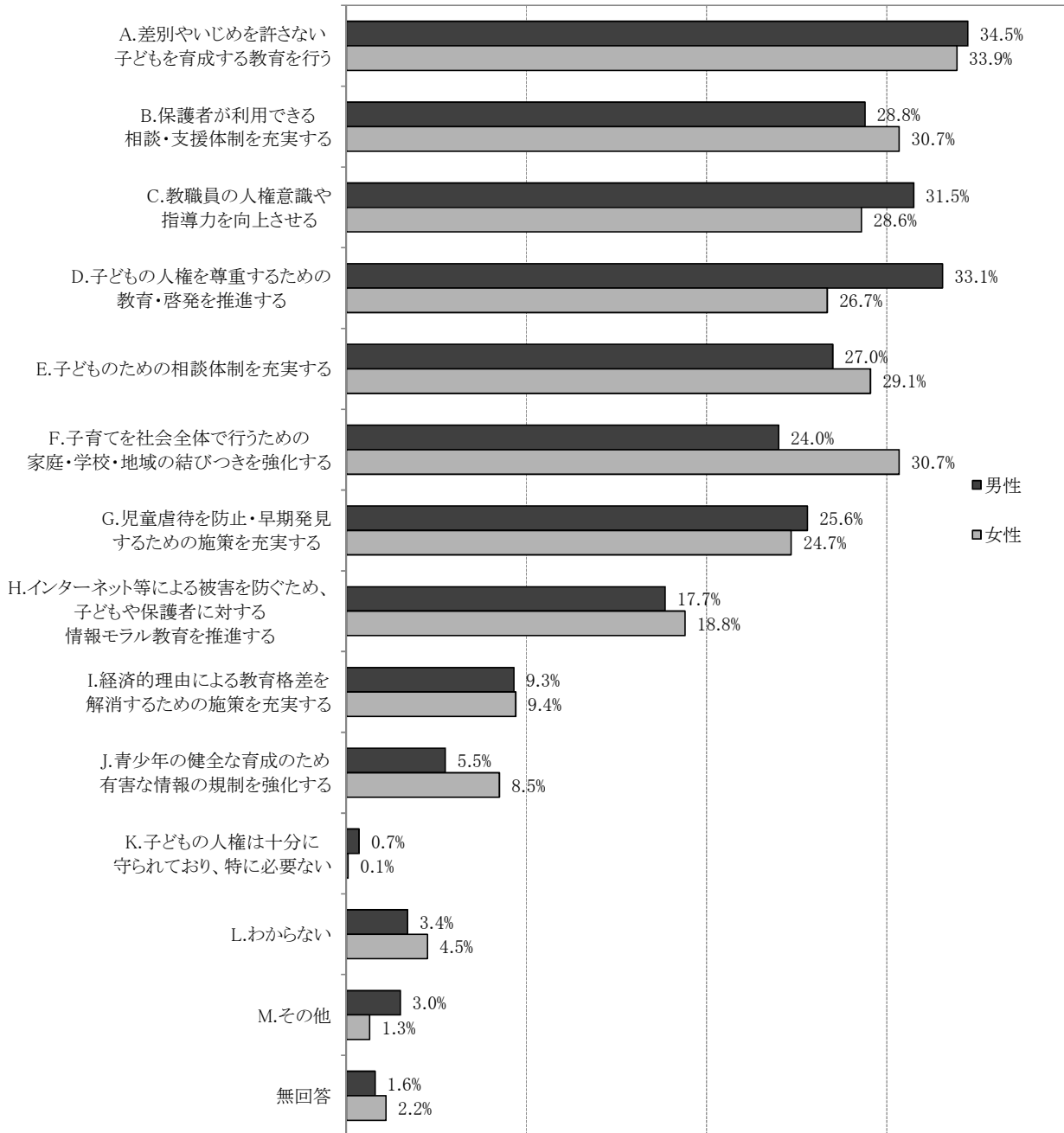


子どもの人権を守るために必要なこととして、「A.児童虐待を防止するための施策の充実」(50.1%)、「B.子ども同士がお互いの人権を尊重しあえるよう教育すること」(49.7%)が高かった。

次いで、「C.相談体制の充実」(39.4%)、「D.教職員の人権意識や資質の向上」(27.1%)などが高くなっている。

【性別・年齢との関係】

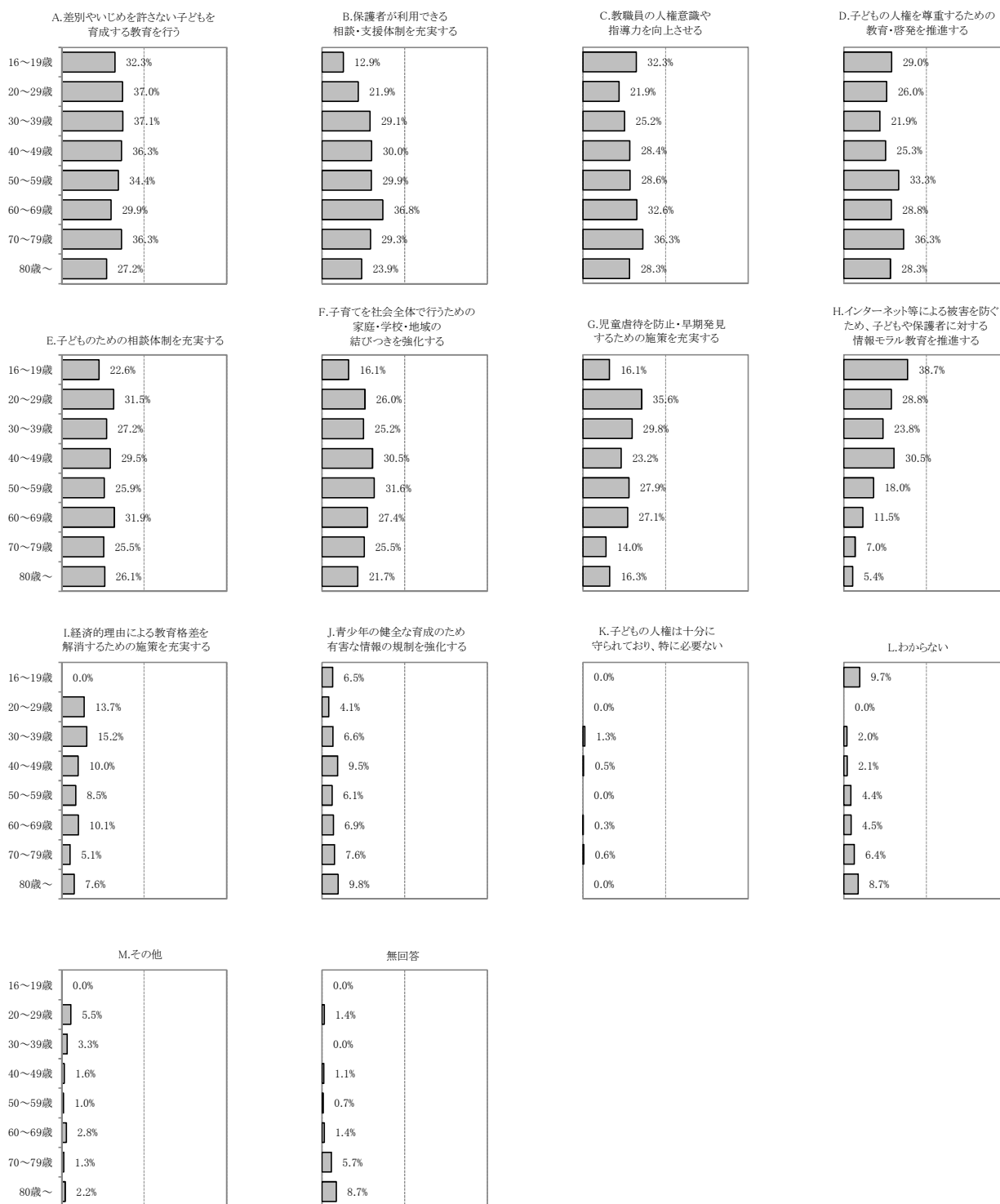
〔図 24-1〕 問 24 子どもの人権が尊重されるために必要な取組み と 性別 の関係



性別でみると〔図 24-1〕、「C. 教職員の人権意識や指導力を向上させる」、「D. 子どもの人権を尊重するための教育・啓発を推進する」では、男性の方が大幅に高くなっている。

「F. 子育てを社会全体で行うための家庭・学校・地域の結びつきを強化する」、「J. 青少年の健全な育成のため有害な情報の規制を強化する」では、女性の方が大幅に高くなっている。

〔図 24-2〕 問 24 子どもの人権が尊重されるために必要な取組み と 年齢 の関係



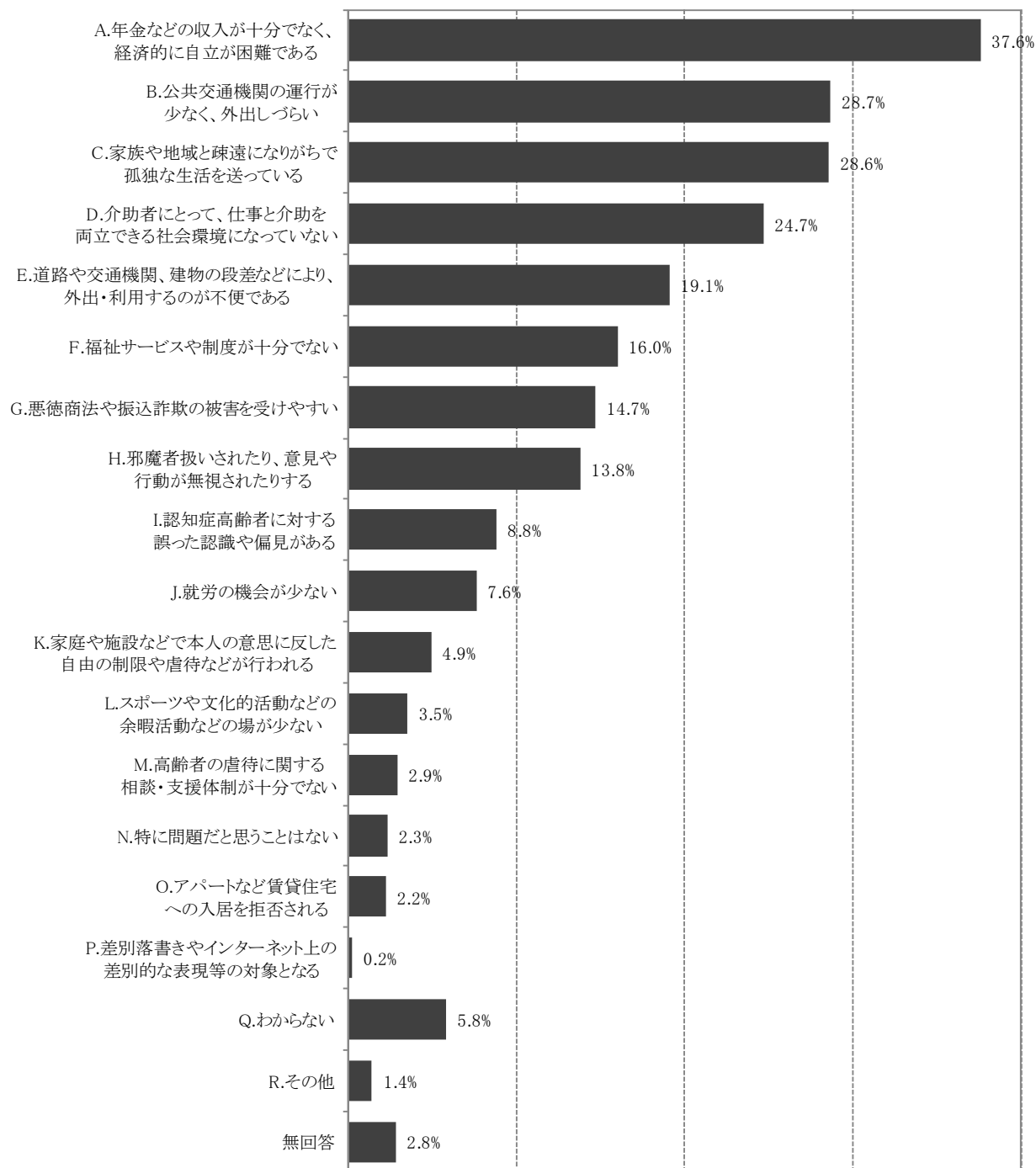
年齢別にみると〔図 24-2〕、各年代で最も高かったのは、20 歳代から 50 歳代では、「A.差別やいじめを許さない子どもを育成する教育を行う」。16～19 歳では、「H.インターネット等による被害を防ぐため、子どもや保護者に対する情報モラル教育を推進する」。60 歳代では、「B.保護者が利用できる相談・支援体制を充実する」。70 歳代、80 歳以上では、「C.教職員の人権意識や指導力を向上させる」。

また「G.児童虐待を防止・早期発見するための施策を充実する」においては、20 歳代(35.6%)、30 歳代(29.8%)の割合が高くなっている。

問 25 (高齢者の人権に関する問題)

高齢者の人権に関することで、あなたが特に問題があると思うのはどのようなことですか。

(○は3つ以内)

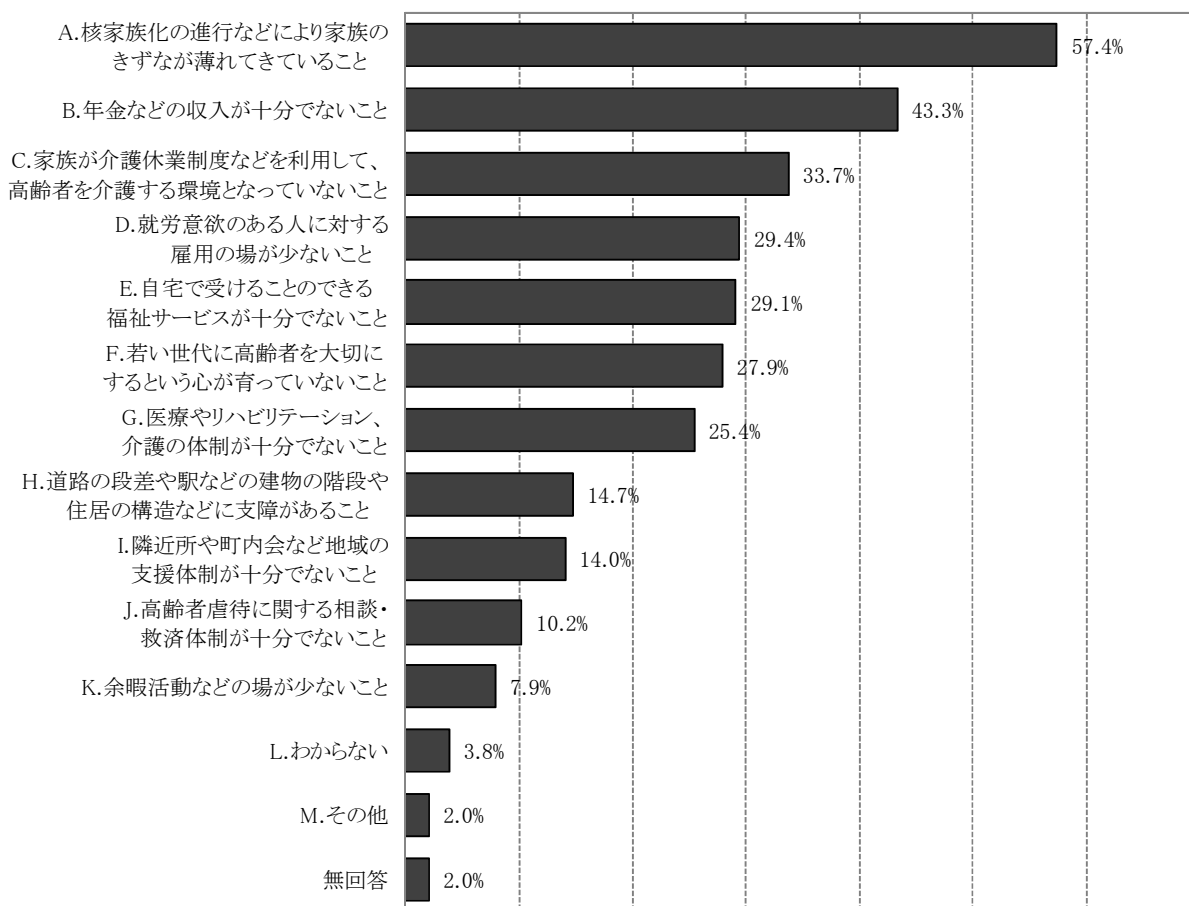


■高齢者の人権に関することで問題があると思うことは、「A.年金などの収入が十分でなく、経済的に自立が困難である」(37.6%)が最も高く、次いで、「B.公共交通機関の運行が少なく、外出しづらい」(28.7%)、「C.家族や地域と疎遠になりがちで孤独な生活を送っている」(28.6%)となっている。

【参考】 ※設問文、選択肢の文言の一部が前回に比べて異なっているため、参考としてご参照ください。

前回調査(H23 鳥取県人権意識調査)

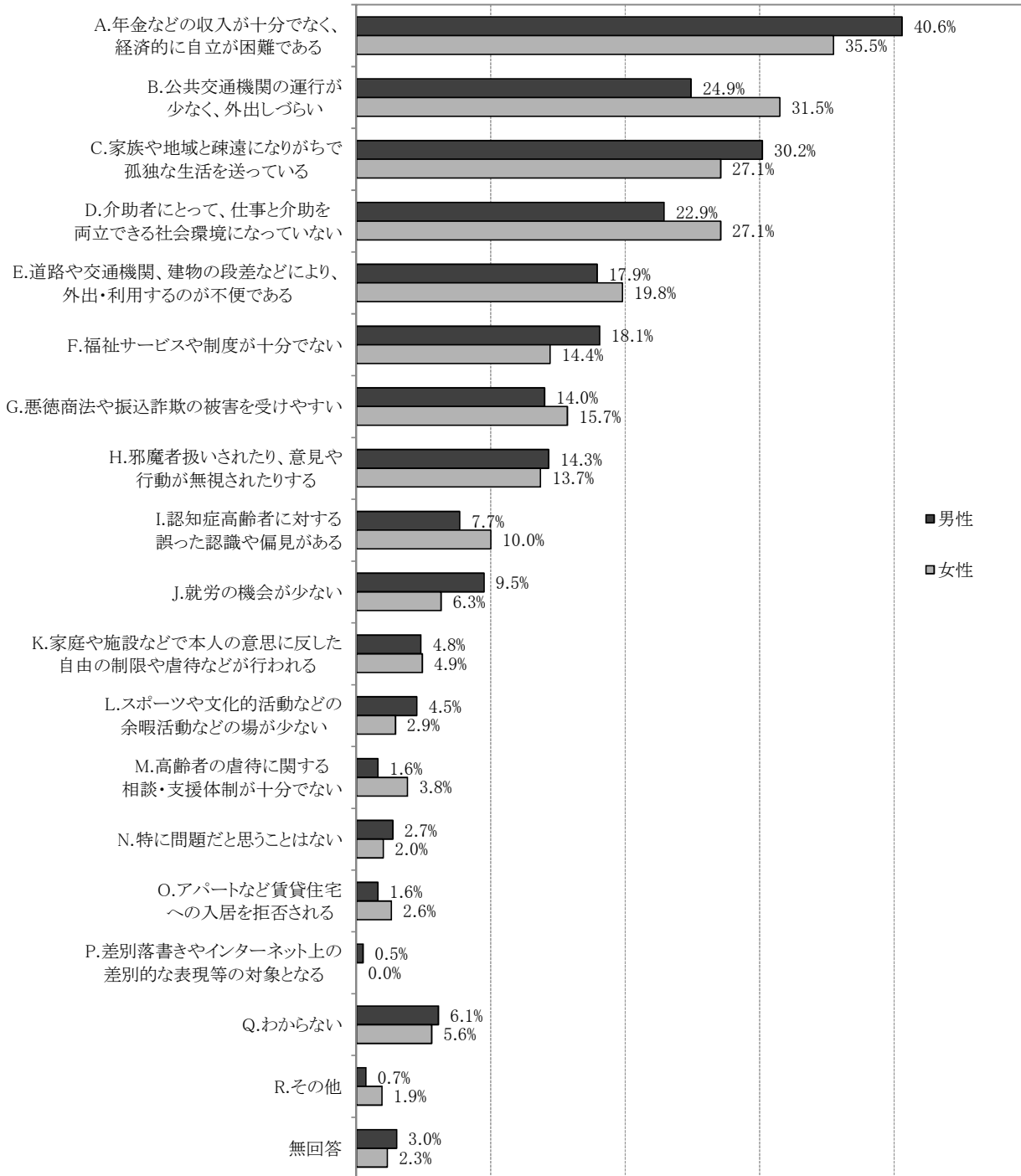
問 22 高齢者が暮らしていくうえで、特に支障となったり、問題があると感じられるのはどのようなことだと思いますか。次の中からあなたの考えに近いものをお答えください。(〇はいくつでも)



高齢者にとって支障となったり問題があると感じるものは、「A.核家族化の進行などにより家族のきずなが薄れてきていること」(57.4%)が最も高く、次いで「B.年金などの収入が十分でないこと」(43.3%)となっている。

【性別・年齢との関係】

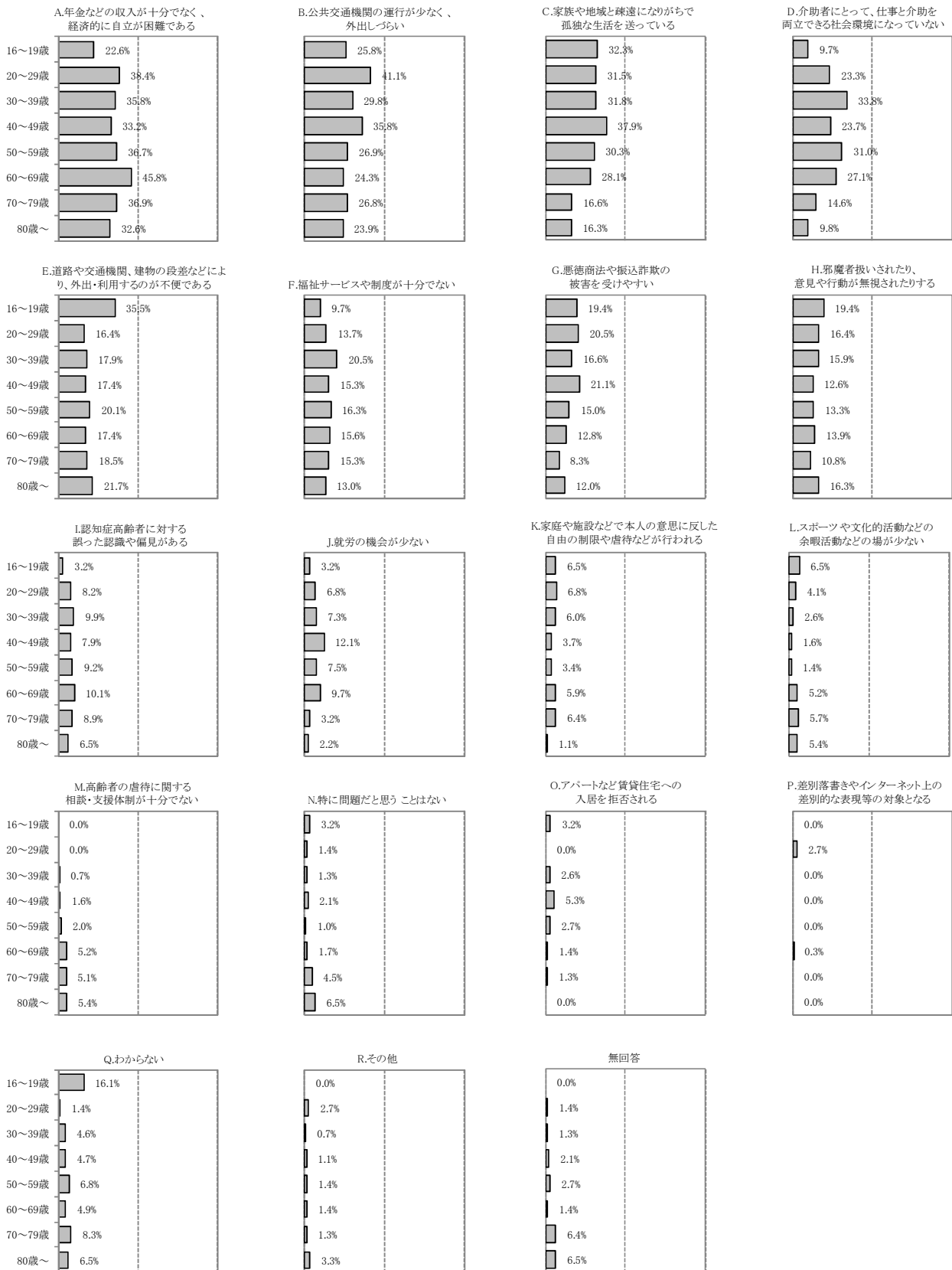
〔図 25-1〕 問 25 高齢者の人権に関する問題 と 性別 の関係



性別でみると〔図 25-1〕、「A.年金などの収入が十分でなく、経済的に自立が困難である」「F. 福祉サービスや制度が十分でない」、「J. 就労の機会が少ない」では、男性の方が大幅に高くなっている。

「B.公共交通機関の運行が少なく、外出しづらい」、「D. 介助者にとって、仕事と介助を両立できる社会環境になっていない」では、女性の方が大幅に高くなっている。

〔図 25-2〕 問 25 高齢者の人権に関する問題 と 年齢 の関係

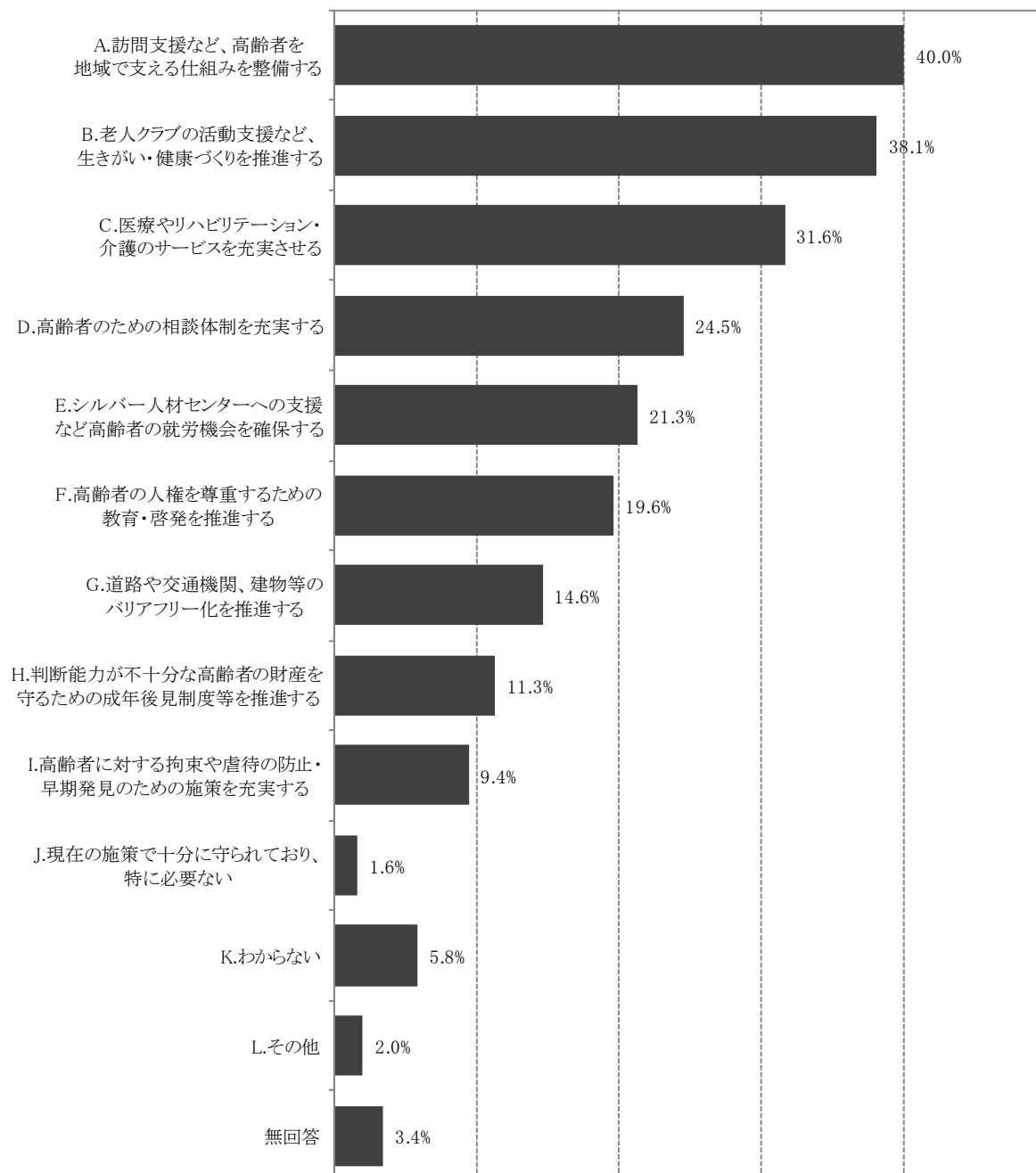


年齢別でみると〔図 25-2〕、30 歳代と、50 歳代以上では「A.年金などの収入が十分でなく、経済的に自立が困難である」が最も高い。「C.家族や地域と疎遠になりがちで孤独な生活を送っている」は、60 歳代以下の年代の約 3 割の人が回答しているのに対し、70 歳代以上では、その半数ほどであった。

問 26 (高齢者の人権が尊重されるために必要な取組み)

あなたは、高齢者の人権が尊重されるためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。

(○は3つ以内)

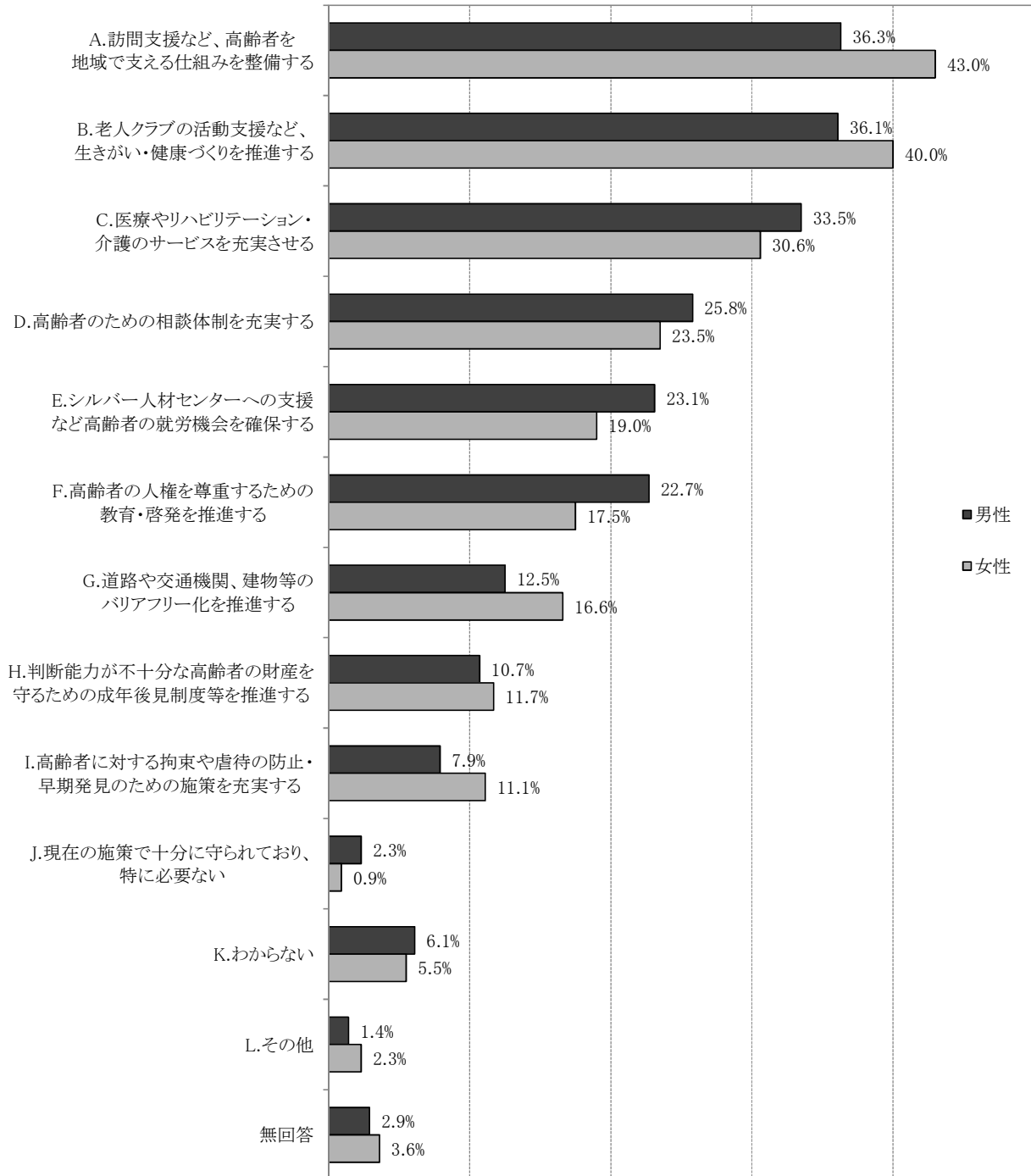


■高齢者の人権尊重のために必要と思う取組は、「A.訪問支援など、高齢者を地域で支える仕組みを整備する」(40.0%)が最も高く、次いで、「B.老人クラブの活動支援など、生きがい・健康づくりを推進する」(38.1%)、「C.医療やリハビリテーション・介護のサービスを充実させる」(31.6%)となっている。

※前回調査なし

【性別・年齢との関係】

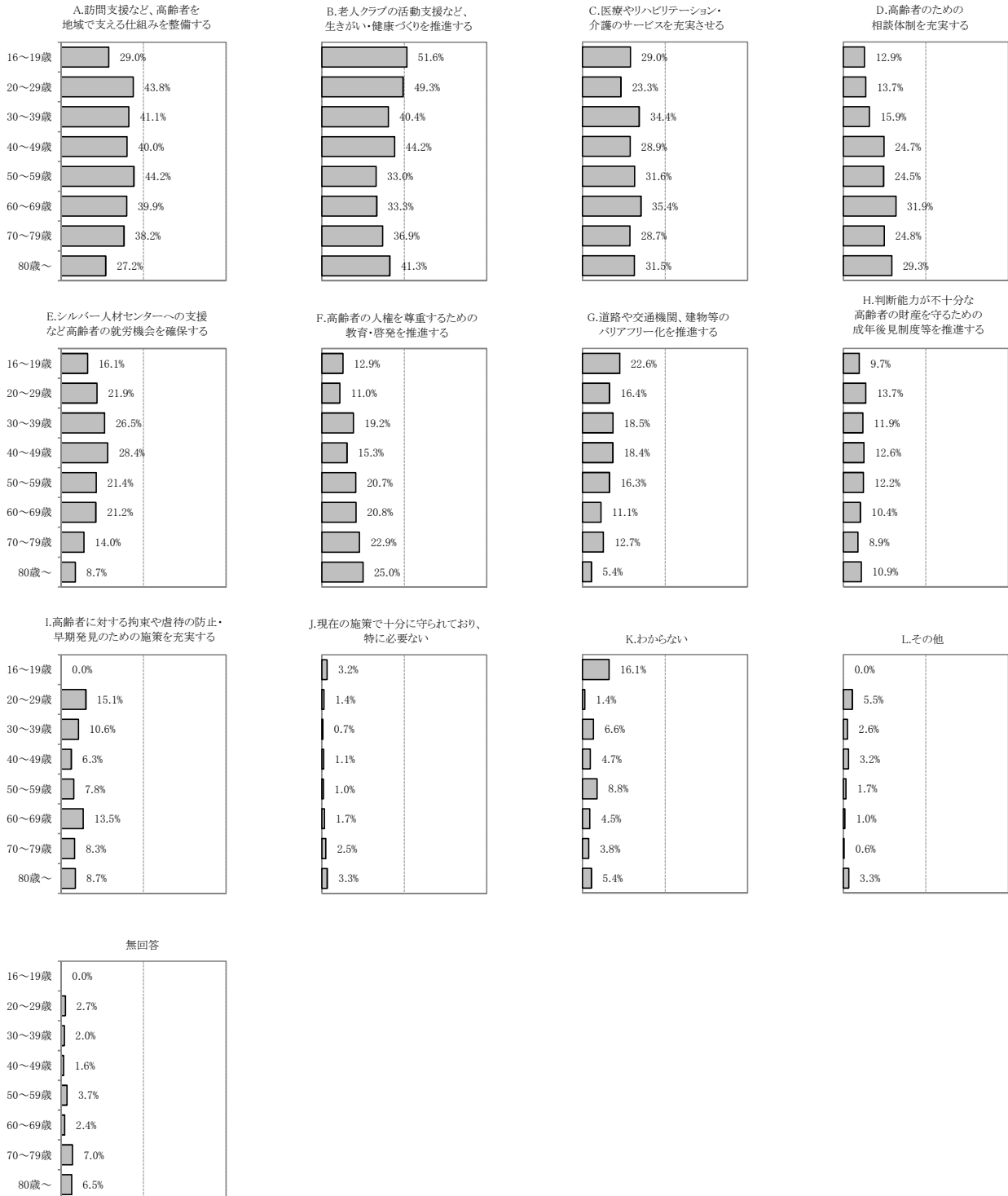
〔図 26-1〕 問 26 高齢者の人権が尊重されるために必要な取組み と 性別 の関係



性別でみると〔図 26-1〕、「E. シルバー人材センターへの支援など高齢者の就労機会を確保する」、「F. 高齢者の人権を尊重するための教育・啓発を推進する」では、男性の方が大幅に高くなっている。

「A. 訪問支援など、高齢者を地域で支える仕組みを整備する」、「B. 老人クラブの活動支援など、生きがい・健康づくりを推進する」、「G. 道路や交通機関、建物等のバリアフリー化を推進する」、「I. 高齢者に対する拘束や虐待の防止・早期発見のための施策を充実する」では、女性の方が大幅に高くなっている。

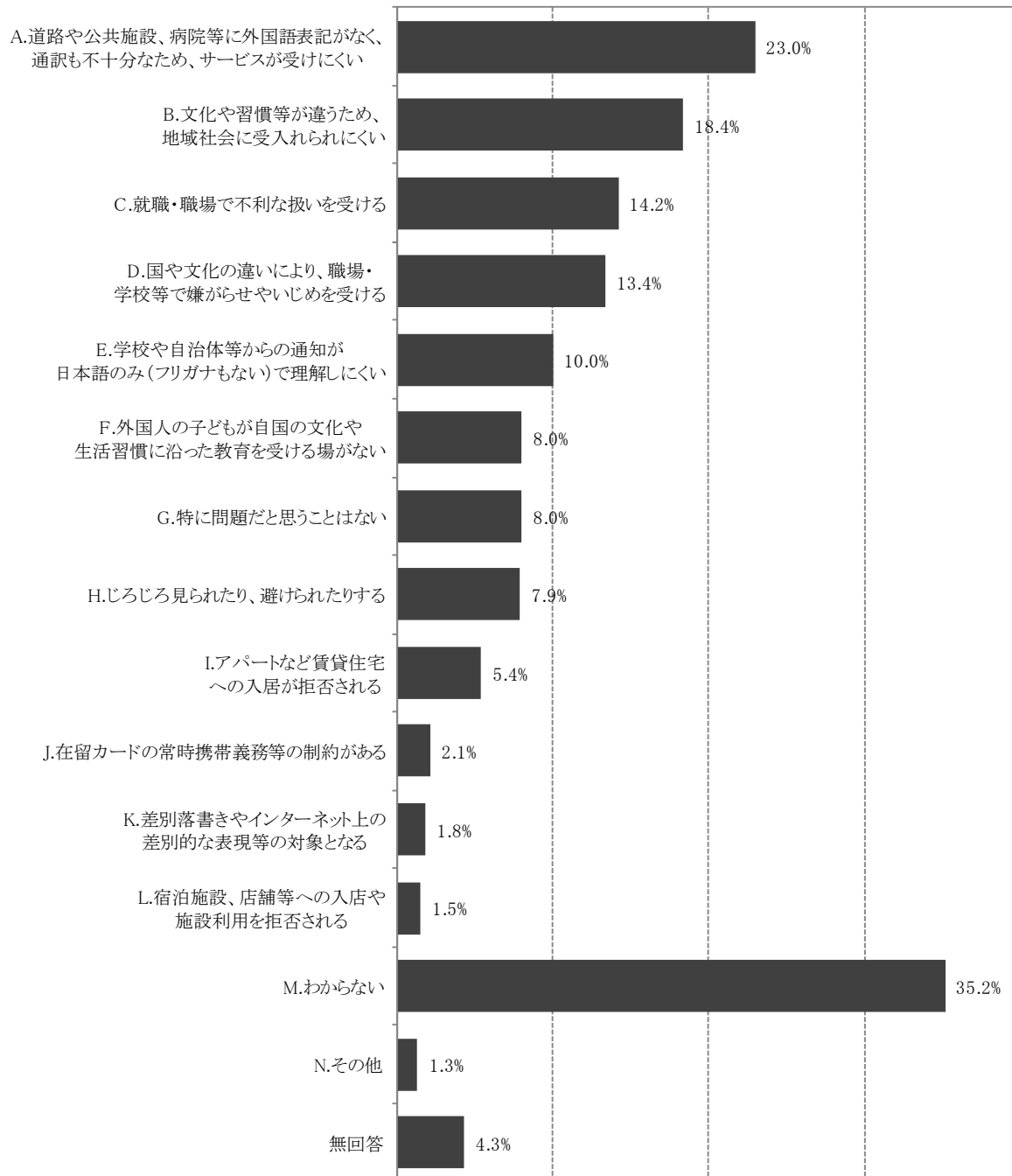
〔図 26-2〕 問 26 高齢者の人権が尊重されるために必要な取組み と 年齢 の関係



年齢別で見ると〔図 26-2〕、30 歳代、50 歳代、60 歳代、70 歳代で、「A.訪問支援など、高齢者を地域で支える仕組みを整備する」が最も高く、16~19 歳、20 歳代、40 歳代、80 歳以上では「B.老人クラブの活動支援など、生きがい・健康づくりを推進する」が最も高くなっている。

問 27 (外国人の人権に関する問題)

鳥取県で暮らす外国人の人権に関することで、あなたが特に問題があると思うのはどのようなことですか。(〇は3つ以内)

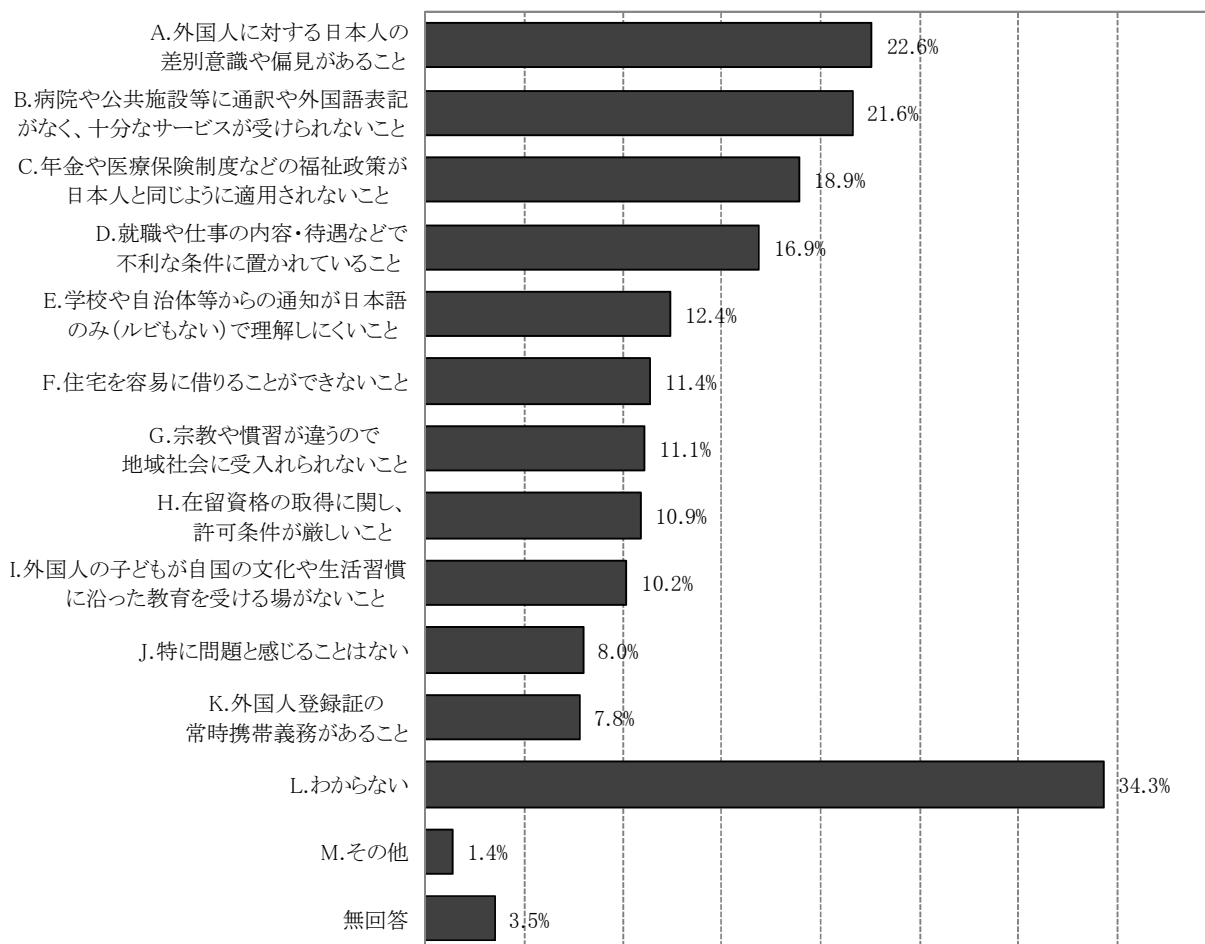


■鳥取県で暮らす外国人の人権に関することで問題があると思うことは、「M.わからない」(35.2%)が最も高く、次いで、「A.道路や公共施設、病院等に外国語表記がなく、通訳も不十分なため、サービスが受けにくい」(23.0%)、「B.文化や習慣等が違うため、地域社会に受け入れられにくい」(18.4%)となっている。

【参考】 ※設問文、選択肢の文言の一部が前回に比べて異なっているため、参考としてご参照ください。

前回調査(H23 鳥取県人権意識調査)

問 24 あなたは、日本で暮らす外国人にとって、どのようなことが支障になっていると思いますか。次の中からあなたの考えに近いものをお答えください。(〇はいくつでも)

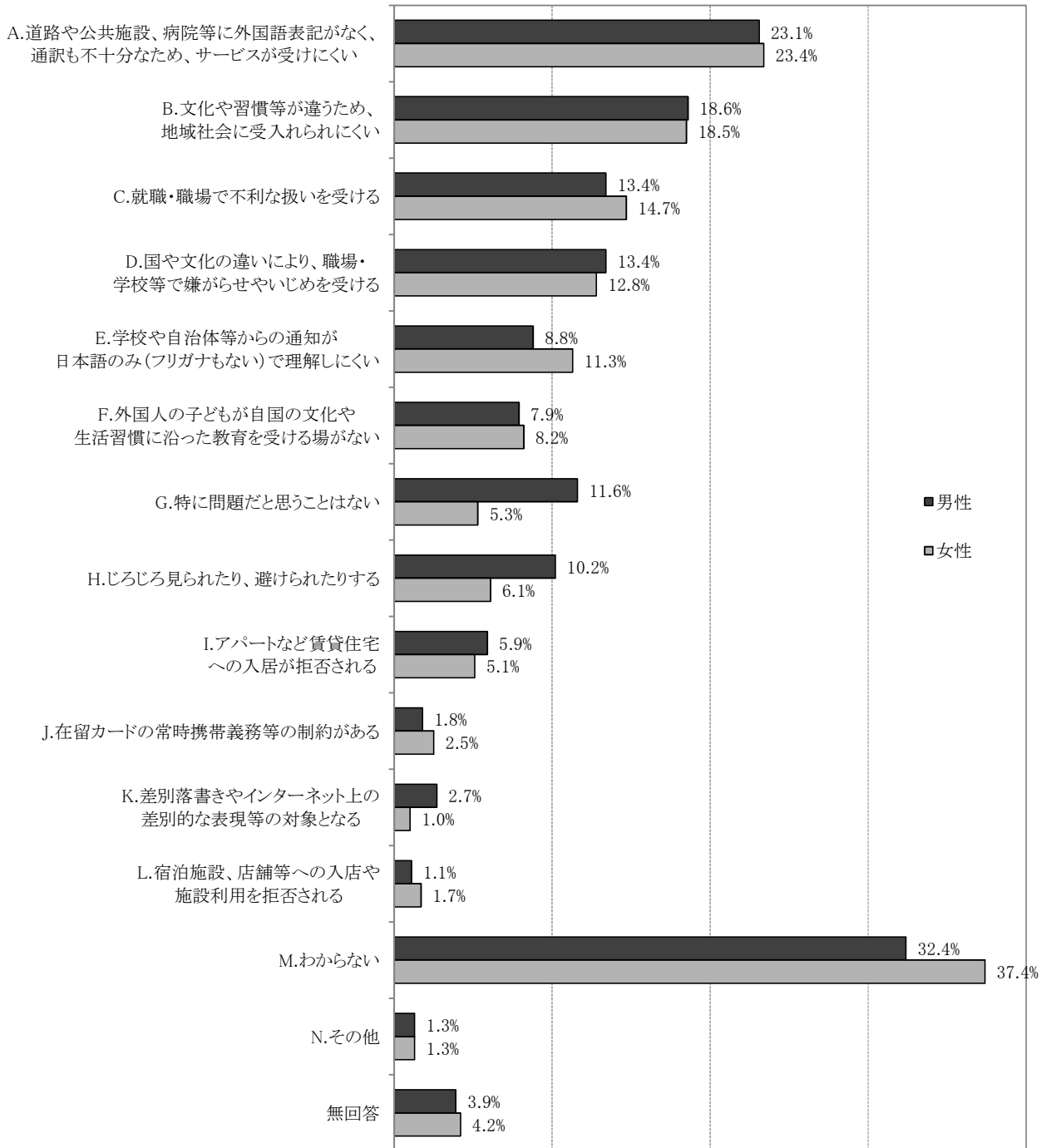


日本で暮らす外国人にとって支障となっていることは、「A.外国人に対する日本人の差別意識や偏見があること」(22.6%)、「B.病院や公共施設等に通訳や外国語表記がなく、十分なサービスが受けられないこと」(21.6%)が高くなっている。

なお、「L.わからない」が 34.3%に上る。

【性別・年齢との関係】

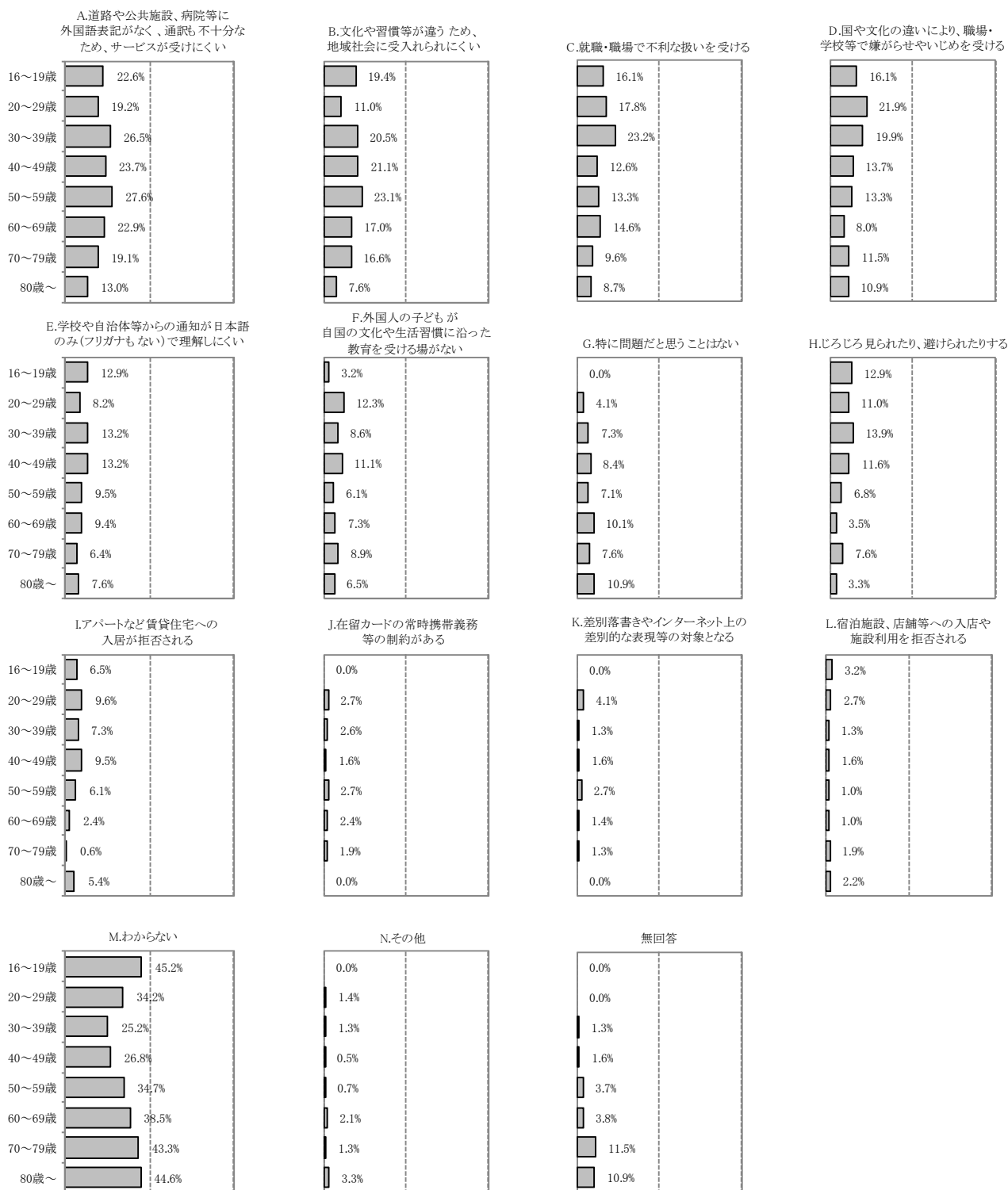
〔図 27-1〕 問 27 外国人の人権に関する問題 と 性別 の関係



性別で見ると〔図 27-1〕、「G. 特に問題だと思うことはない」「H. じろじろ見られたり、避けられたりする」では、男性の方が大幅に高くなっている。

「M. わからない」は、女性の方が大幅に高くなっている。

〔図 27-2〕 問 27 外国人の人権に関する問題 と 年齢 の関係



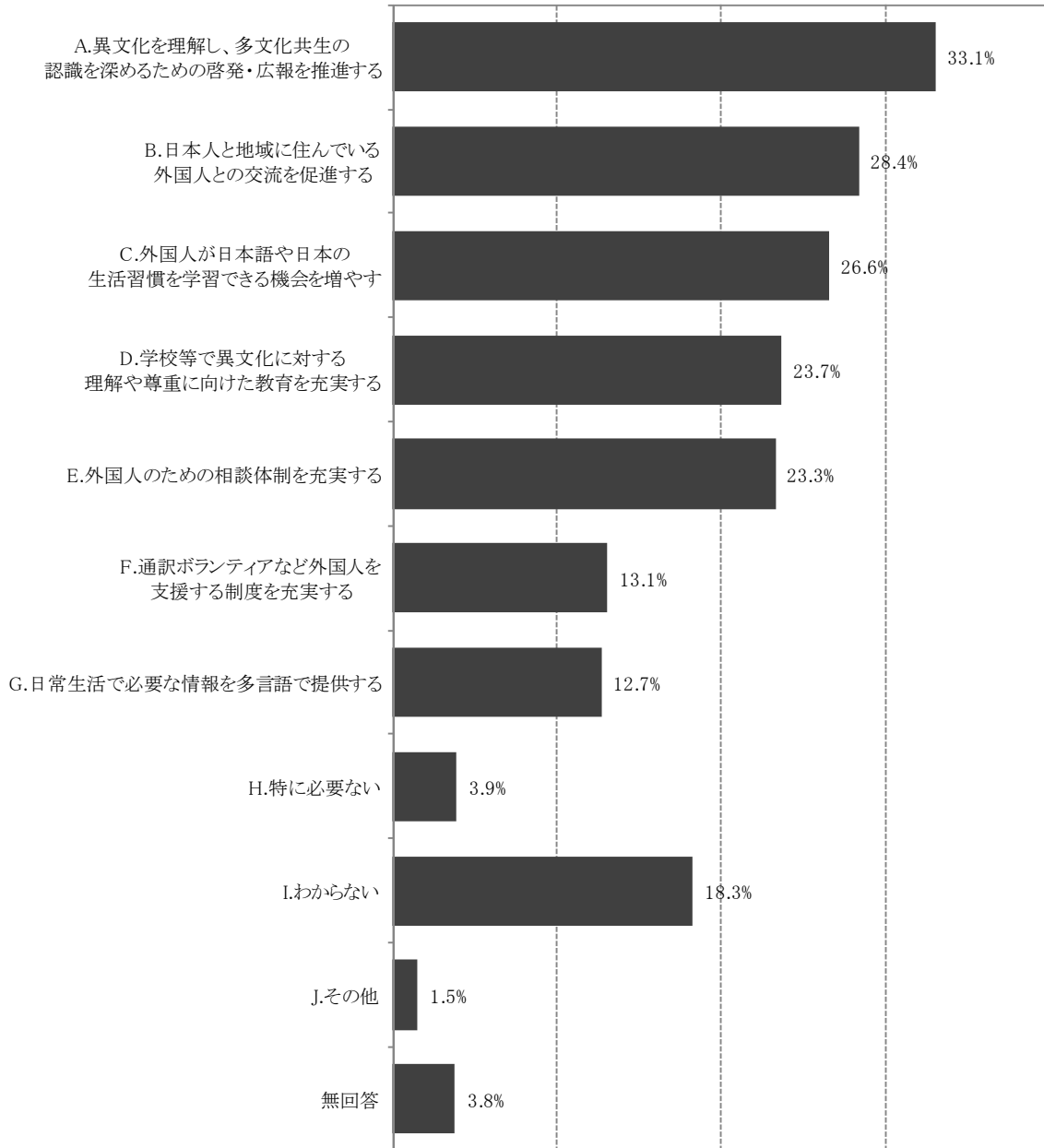
年齢別で見ると〔図 27-2〕、30 歳代以外では、「M.わからない」が最も高くなっている。

個々の項目では、20 歳代以外では、「A.道路や公共施設、病院等に外国語表記がなく、通訳も不十分なため、サービスが受けにくい」が最も高いが、20 歳代では、「D.国や文化の違いにより、職場・学校等で嫌がらせやいじめを受ける」が最も高くなっている。

問 28 (外国人の人権が尊重されるために必要な取組み)

あなたは、外国人の人権が尊重されるためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。

(○は3つ以内)

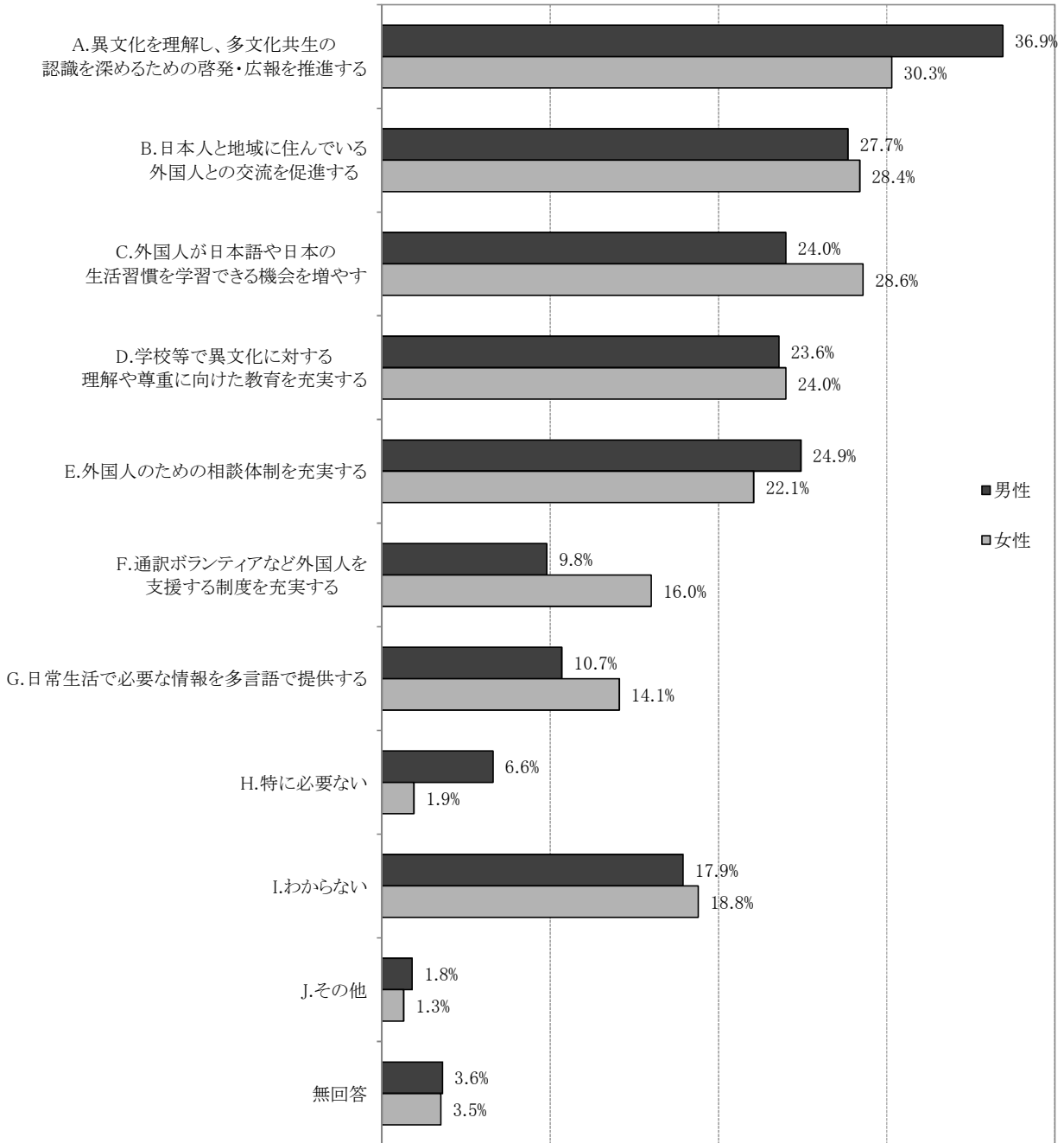


■外国人の人権が尊重されるために必要と思う取組は、「A.異文化を理解し、多文化共生の認識を深めるための啓発・広報を推進する」(33.1%)が最も高く、次いで、「B.日本人と地域に住んでいる外国人との交流を促進する」(28.4%)、「C.外国人が日本語や日本の生活習慣を学習できる機会を増やす」(26.6%)となっている。また、「I.わからない」は 18.3%であった。

※前回調査なし

【性別・年齢との関係】

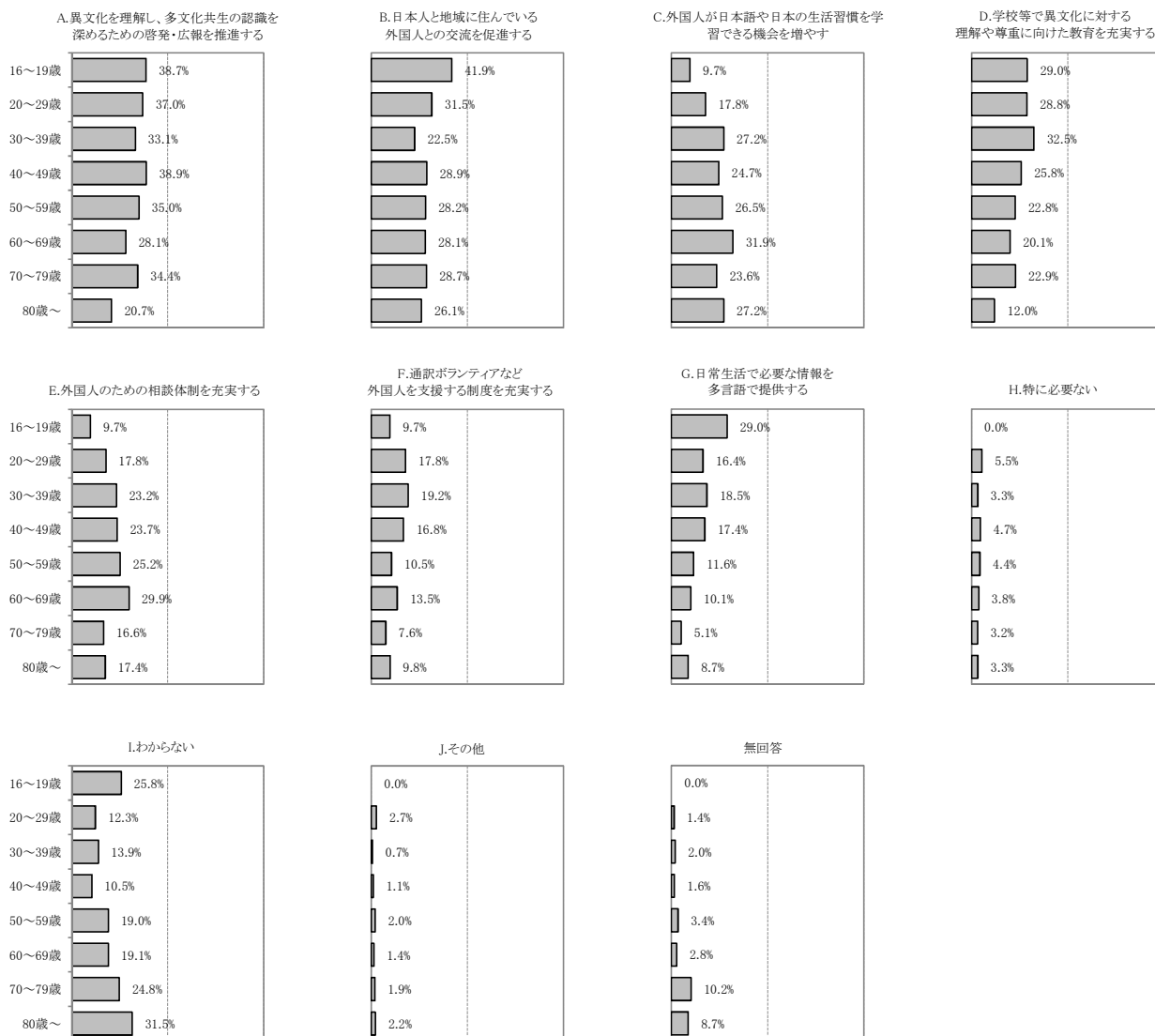
〔図 28-1〕 問 28 外国人の人権が尊重されるために必要な取組み と 性別 の関係



性別でみると〔図 28-1〕、「A.異文化を理解し、多文化共生の認識を深めるための啓発・広報を推進する」では、男性の方が大幅に高くなっている。

「C. 外国人が日本語や日本の生活習慣を学習できる機会を増やす」、「F. 通訳ボランティアなど外国人を支援する制度を充実する」では、女性の方が大幅に高くなっている。

〔図 28-2〕 問 28 外国人の人権が尊重されるために必要な取組み と 年齢 の関係



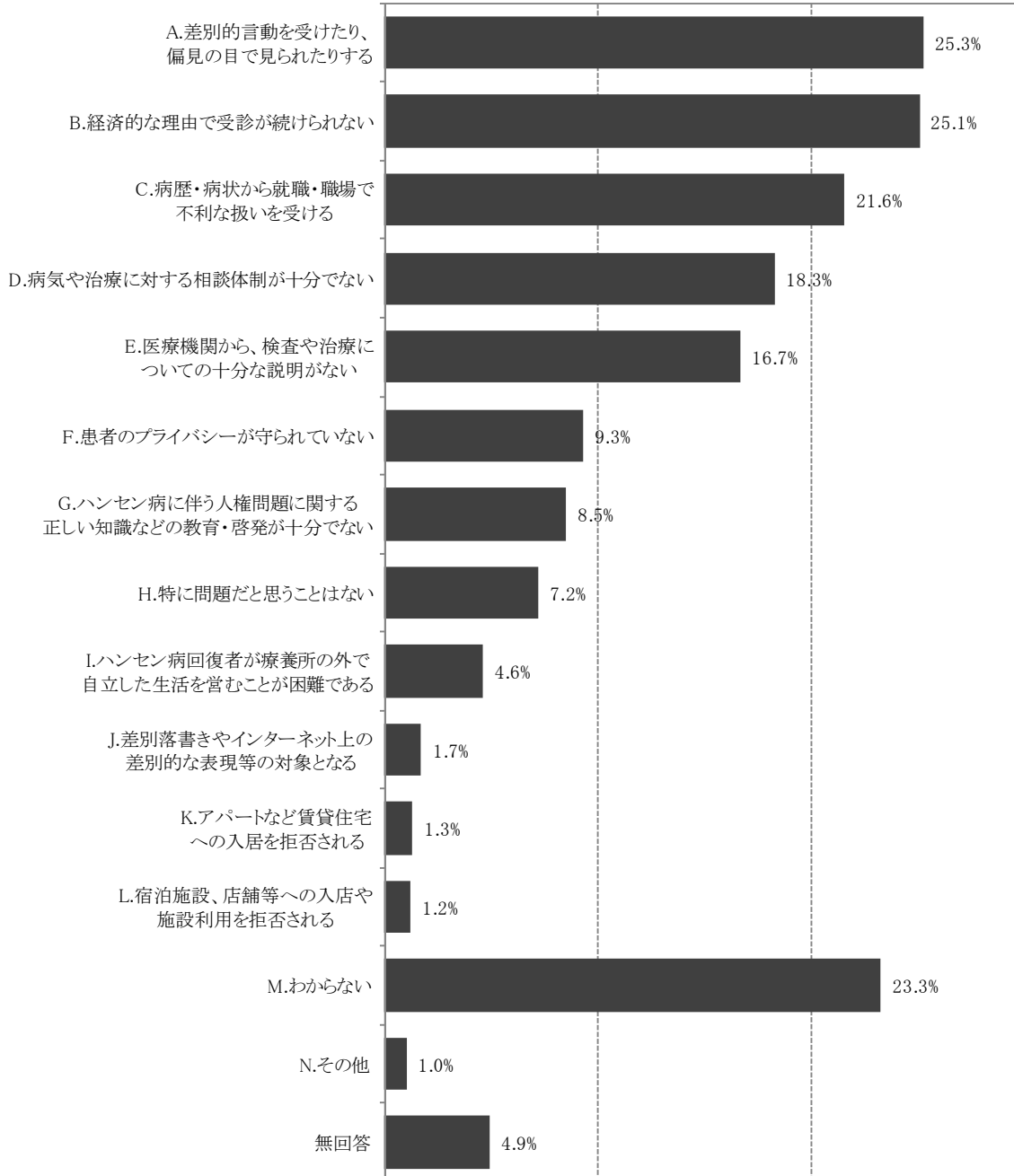
年齢別で見ると〔図 28-2〕、16～19 歳、60 歳代以外では、「A.異文化を理解し、多文化共生の認識を深めるための啓発・広報を推進する」が最も高い。

16～19 歳では、「B.日本人と地域に住んでいる外国人との交流を促進する」、60 歳代では、「C.外国人が日本語や日本の生活習慣を学習できる機会を増やす」が最も高くなっている。

80 歳以上では、「I.わからない」が最も高くなっている。

問 29 (病気にかかわる人の人権に関する問題)

患者やその家族など病気にかかわる人の人権に関することで、あなたが特に問題があると思うのはどのようなことですか。(〇は3つ以内)

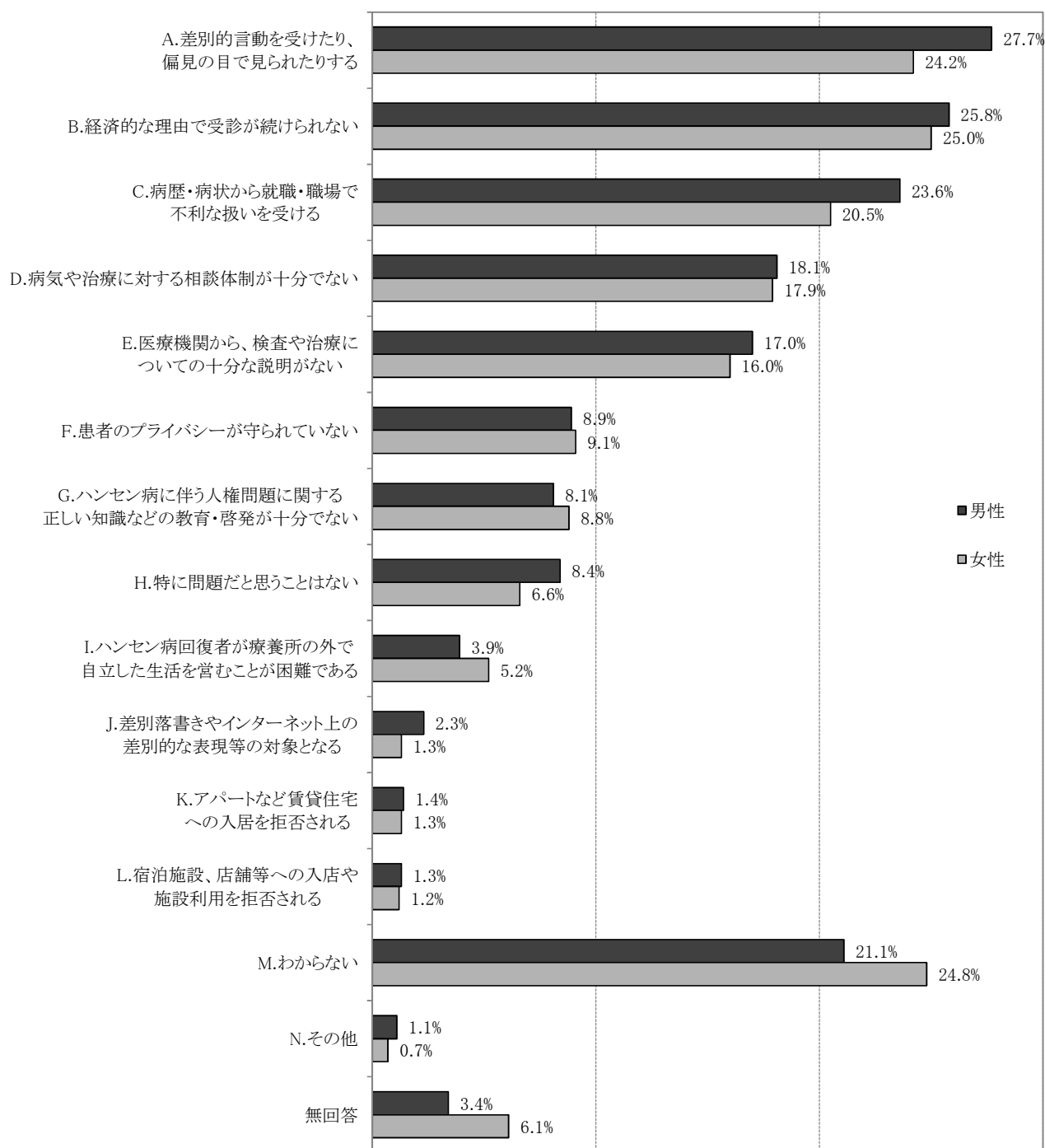


■患者やその家族など病気にかかわる人の人権に関することで問題があると思うことは、「A.差別的言動を受けたり、偏見の目で見られたりする」(25.3%)が最も高く、次いで、「B.経済的な理由で受診が続けられない」(25.1%)となっている。また、「M.わからない」も23.3%と高くなっている。

※前回調査なし

【性別・年齢との関係】

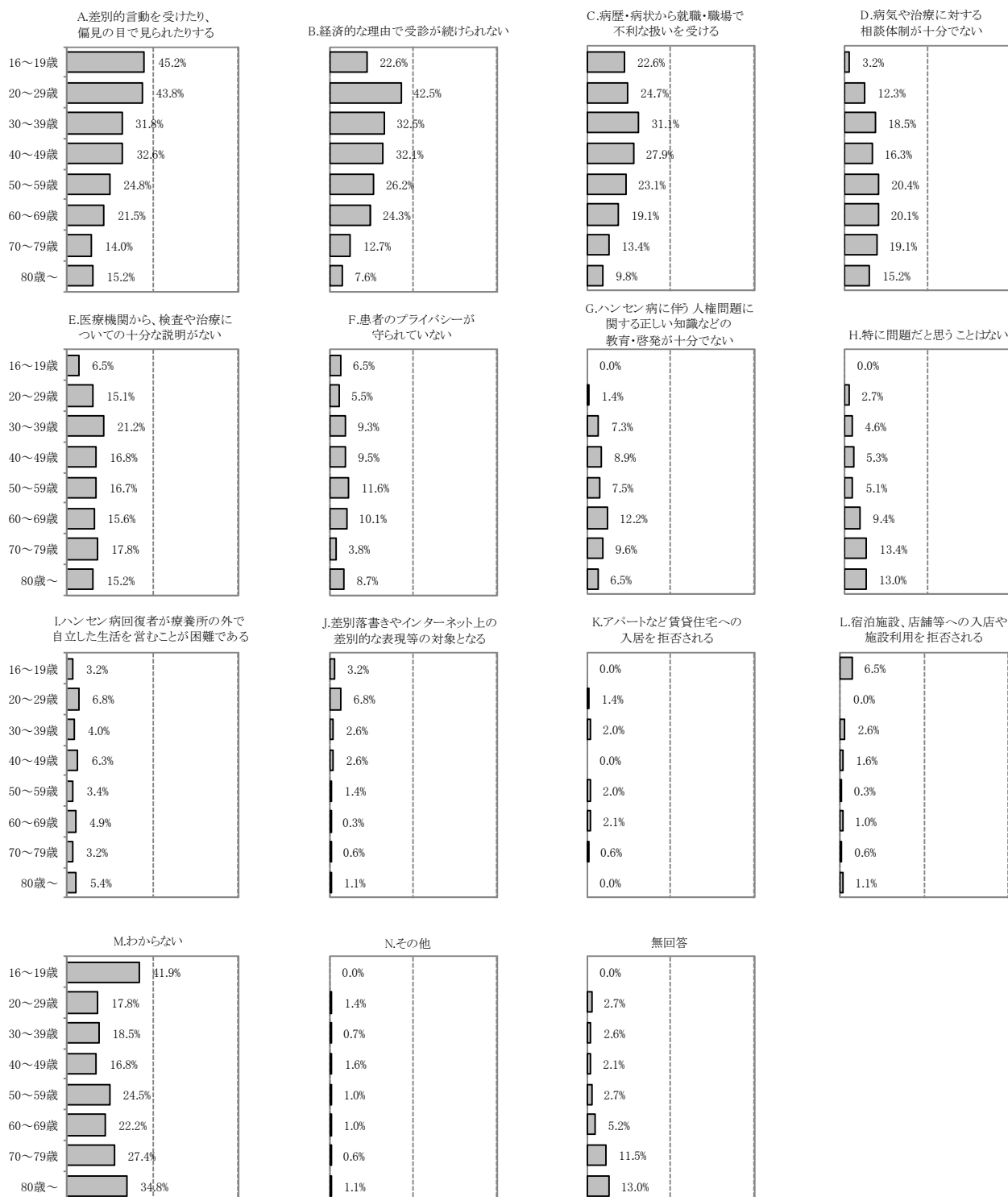
〔図 29-1〕 問 29 病気にかかわる人の人権に関する問題 と 性別 の関係



性別でみると〔図 29-1〕、「A.差別的言動を受けたり、偏見の目で見られたりする」「C.病歴・病状から就職・職場で不利な扱いを受ける」では、男性の方が大幅に高くなっている。

「M.わからない」では、女性の方が大幅に高くなっている。

〔図 29-2〕 問 29 病気にかかわる人の人権に関する問題 と 年齢 の関係

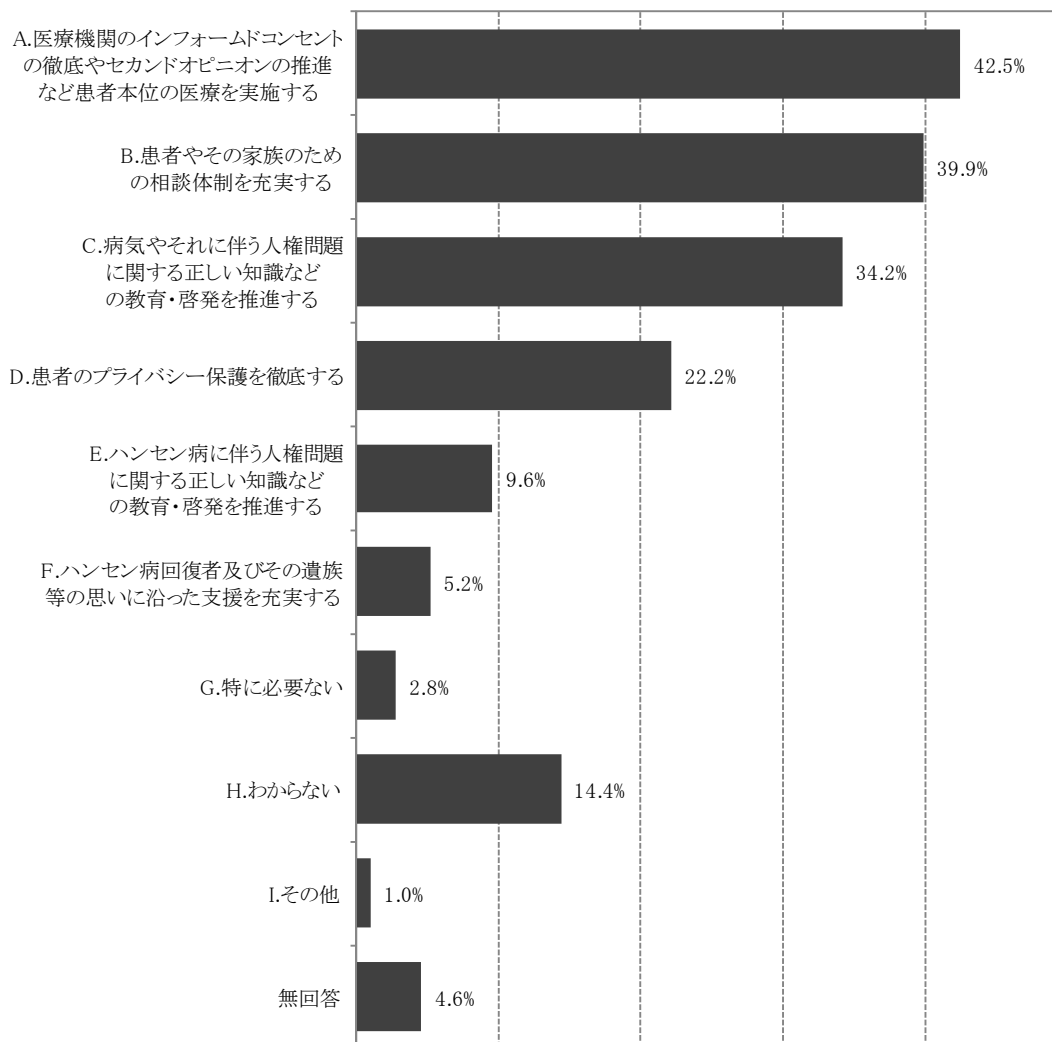


年齢別で見ると〔図 29-2〕、70歳代以上で最も高いのは「M.わからない」で、約3割に上る。「A.差別的言動を受けたり、偏見の目で見られたりする」、「B.経済的な理由で受診が続けられない」、「C.病歴・病状から就職・職場で不利な扱いを受ける」については、低い年代ほど高い傾向にある。

問 30 (病気にかかわる人の人権が尊重されるために必要な取組み)

あなたは、病気にかかわる人の人権が尊重されるために、特にどのようなことが必要だと思いますか。

(○は3つ以内)

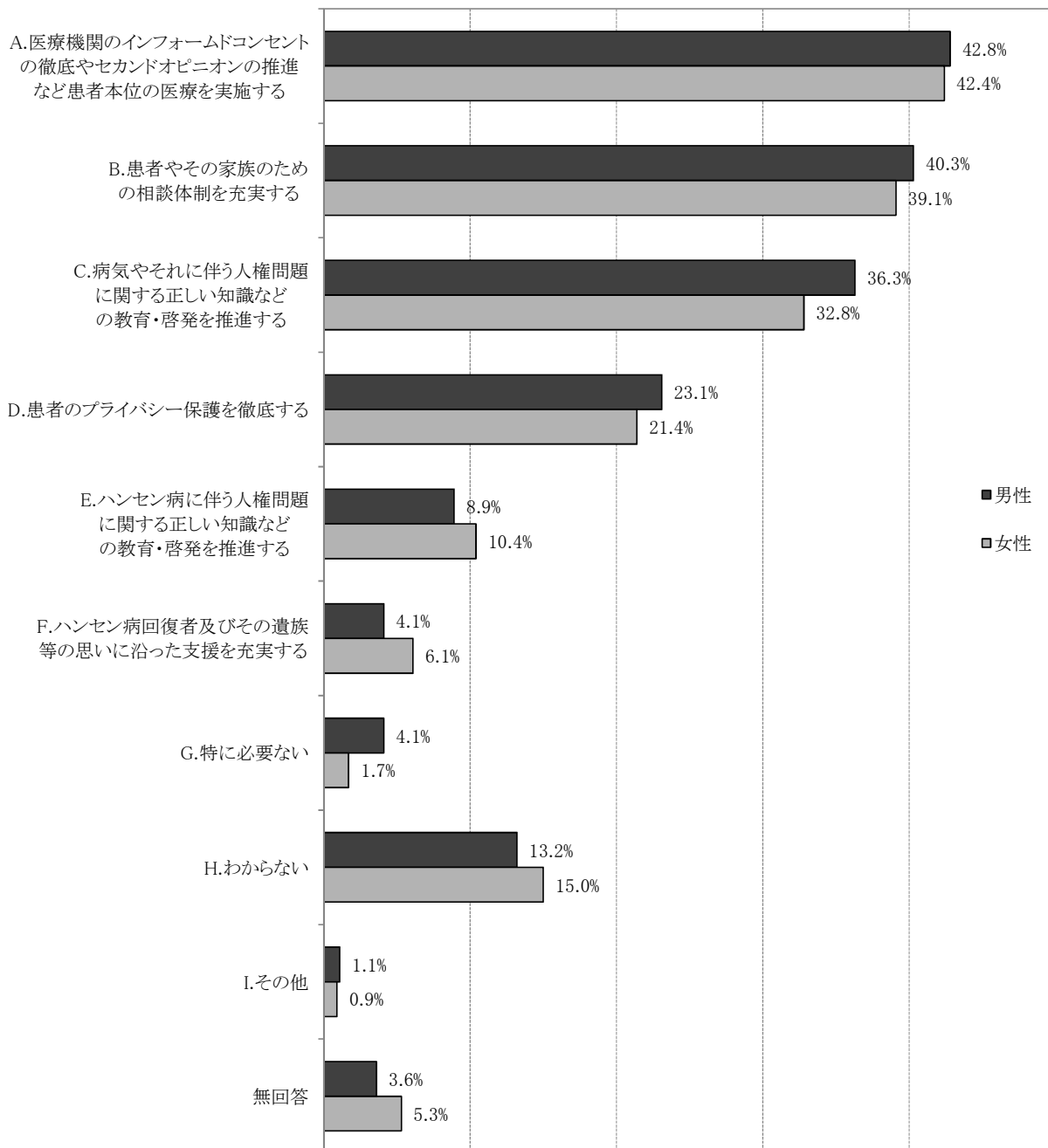


■病気にかかわる人の人権尊重のために必要と思う取組は、「A.医療機関のインフォームドコンセントの徹底やセカンドオピニオンの推進など患者本位の医療を実施する」(42.5%)が最も高く、次いで、「B.患者やその家族のための相談体制を充実する」(39.9%)、「C.病気やそれに伴う人権問題に関する正しい知識などの教育・啓発を推進する」(34.2%)となっている。

※前回調査なし

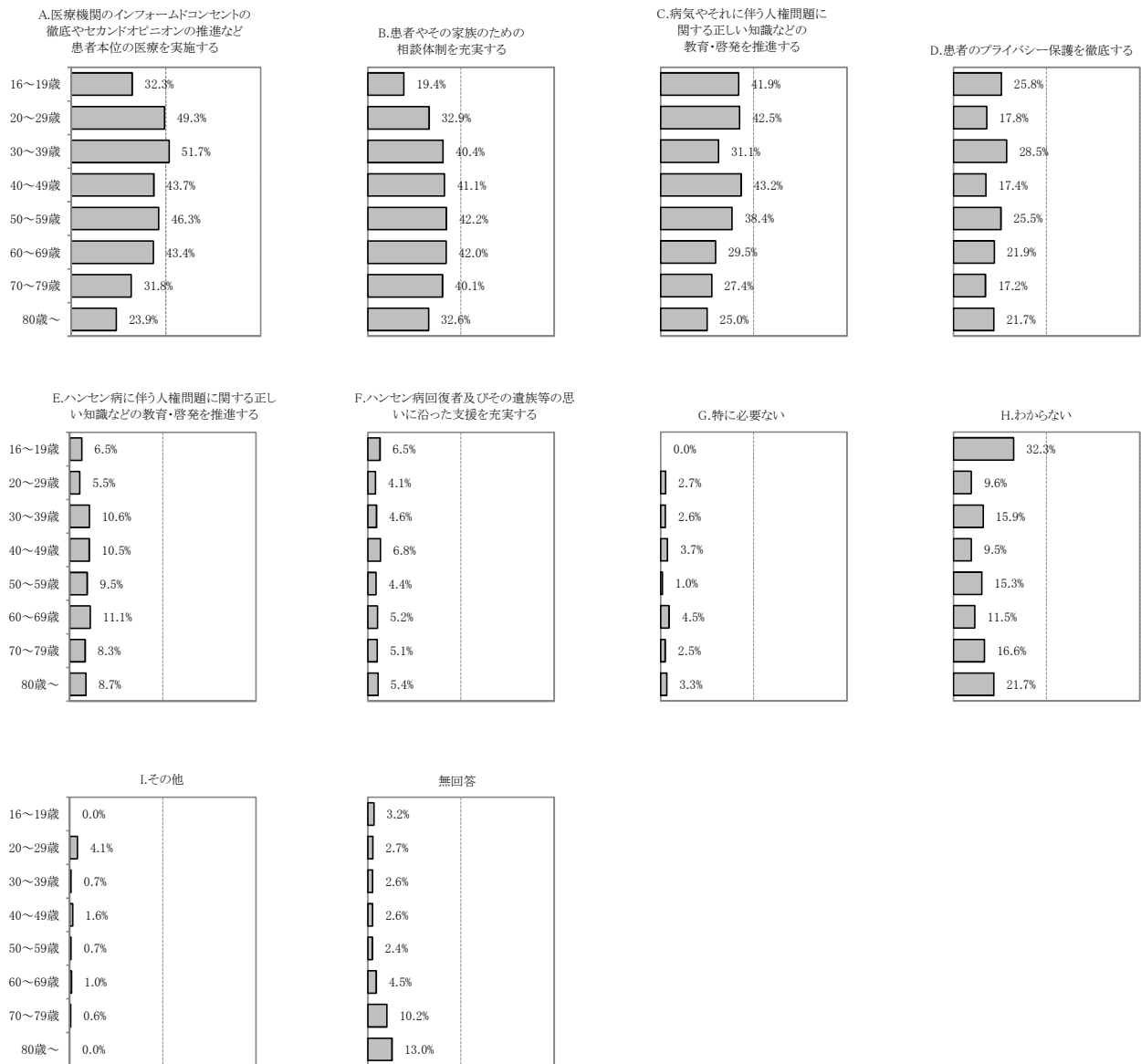
【性別・年齢との関係】

〔図 30-1〕 問 30 病気にかかわる人の人権に関する問題 と 年齢 の関係



性別でみると〔図 30-1〕、「C. 病気やそれに伴う人権問題に関する正しい知識などの教育・啓発を推進する」では、男性の方が大幅に高くなっている。

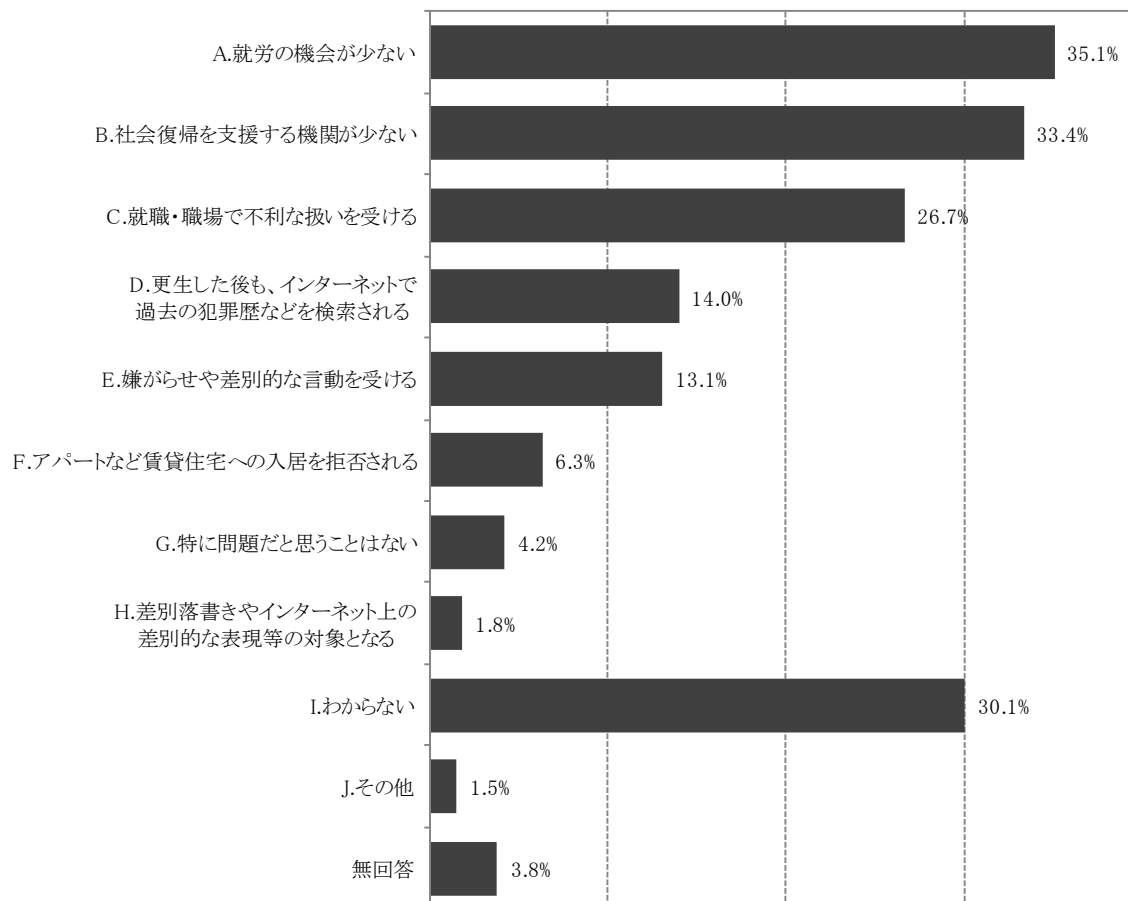
〔図 30-2〕 問 30 病気にかかわる人の人権問題 と 年齢 の関係



年齢別でみると〔図 30-2〕、20歳代から60歳代では、「A.医療機関のインフォームドコンセントの徹底やセカンドオピニオンの推進など患者本位の医療を実施する」が最も高く、70歳代、80歳以上では、「B.患者やその家族のための相談体制を充実する」、16～19歳では、「C.病気やそれに伴う人権問題に関する正しい知識などの教育・啓発を推進する」が最も高くなっている。

問 31 (刑を終えて出所した人の人権に関する問題)

刑を終えて出所した人の人権に関することで、あなたが特に問題があると思うのは、どのようなことですか。(〇は3つ以内)



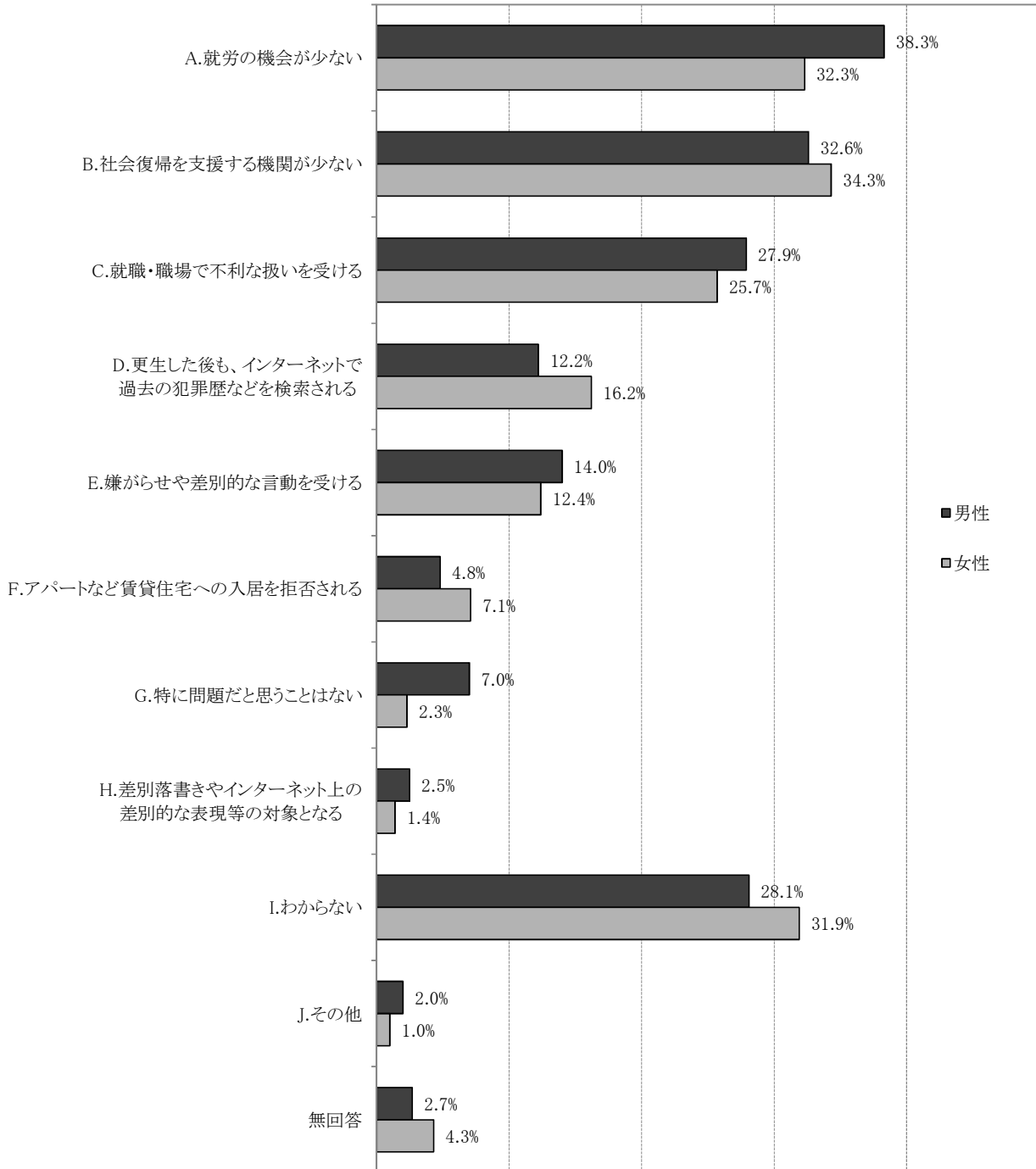
■刑を終えて出所した人の人権に関することで問題があると思うことは、「A.就労の機会が少ない」(35.1%)が最も高く、次いで、「B.社会復帰を支援する機関が少ない」(33.4%)となっている。

また、「I.わからない」が、30.1%と、高い割合となっている。

※前回調査なし

【性別・年齢との関係】

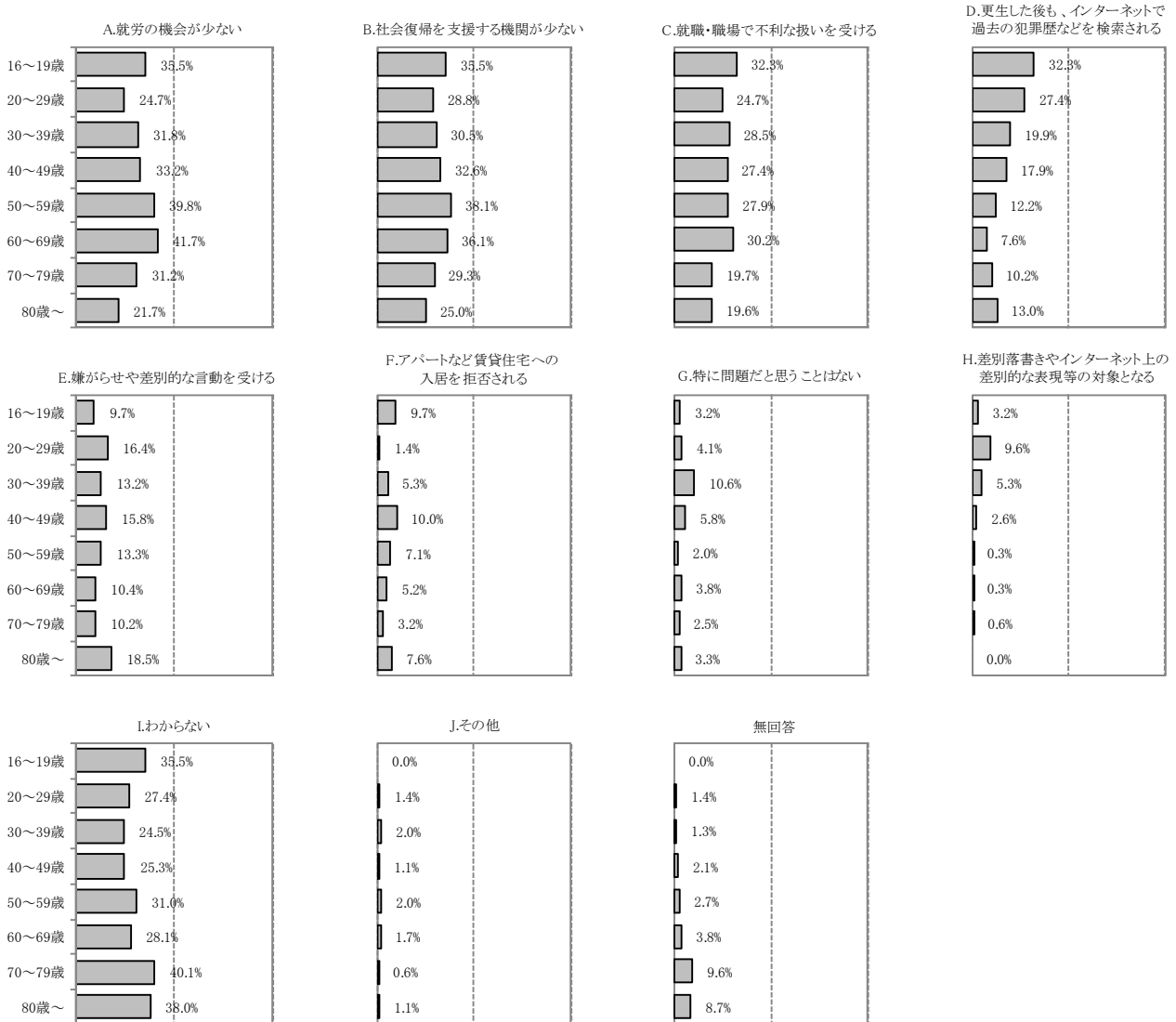
〔図 31-1〕 問 31 刑を終えて出所した人の人権に関する問題 と 性別 の関係



性別でみると〔図 31-1〕、「A. 就労の機会が少ない」では、男性の方が大幅に高くなっている。

「D. 更生した後も、インターネットで過去の犯罪歴などを検索される」、「I. わからない」では、女性の方が大幅に高くなっている。

〔図 31-2〕 問 31 刑を終えて出所した人の人権に関する問題 と 年齢 の関係



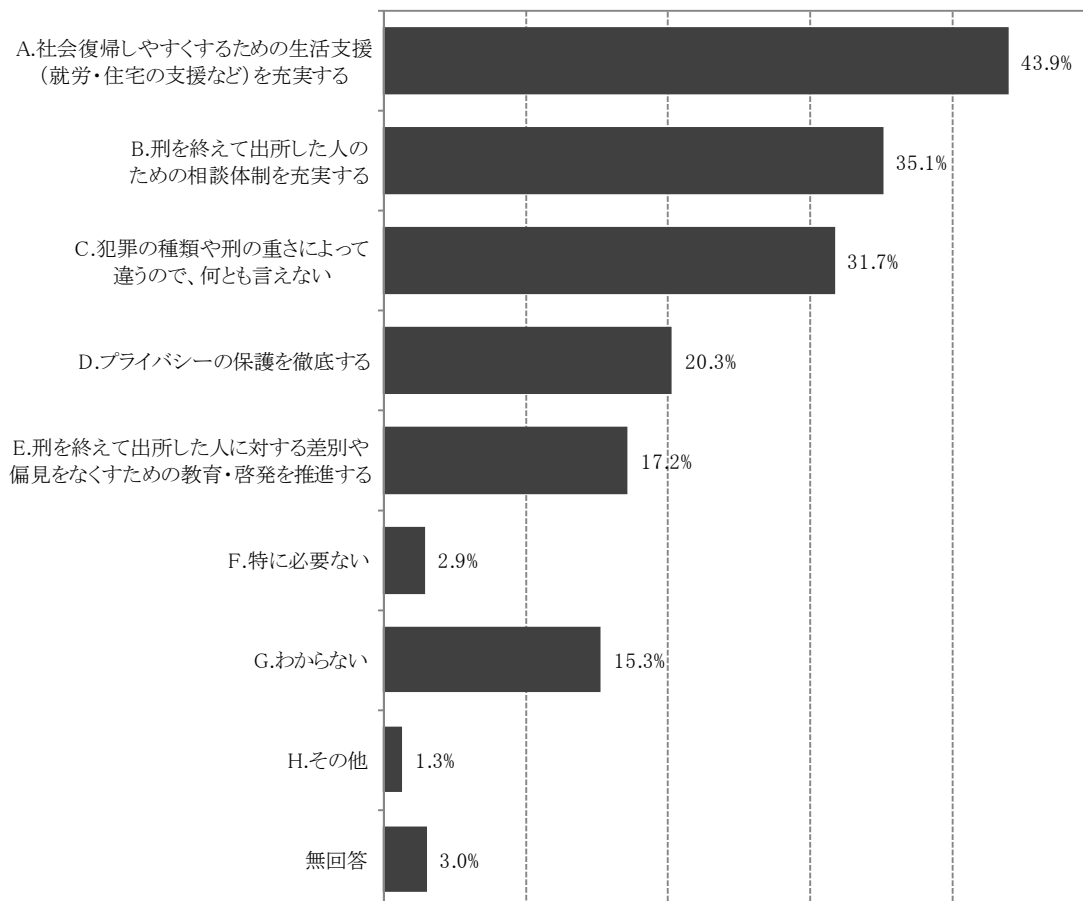
年齢別でみると〔図 31-2〕、30 歳代から 60 歳代では、「A. 就労の機会が少ない」、20 歳代では、「B. 社会復帰を支援する機関が少ない」が最も高くなっている。

70 歳代以上では「I. わからない」が最も高くなっている。

「D. 更生した後も、インターネットで過去の犯罪歴などを検索される」は、低い年代ほど高くなっている。

問 32 (刑を終えて出所した人の人権尊重のために必要なこと)

あなたは、刑を終えて出所した人の人権が尊重されるためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つ以内)

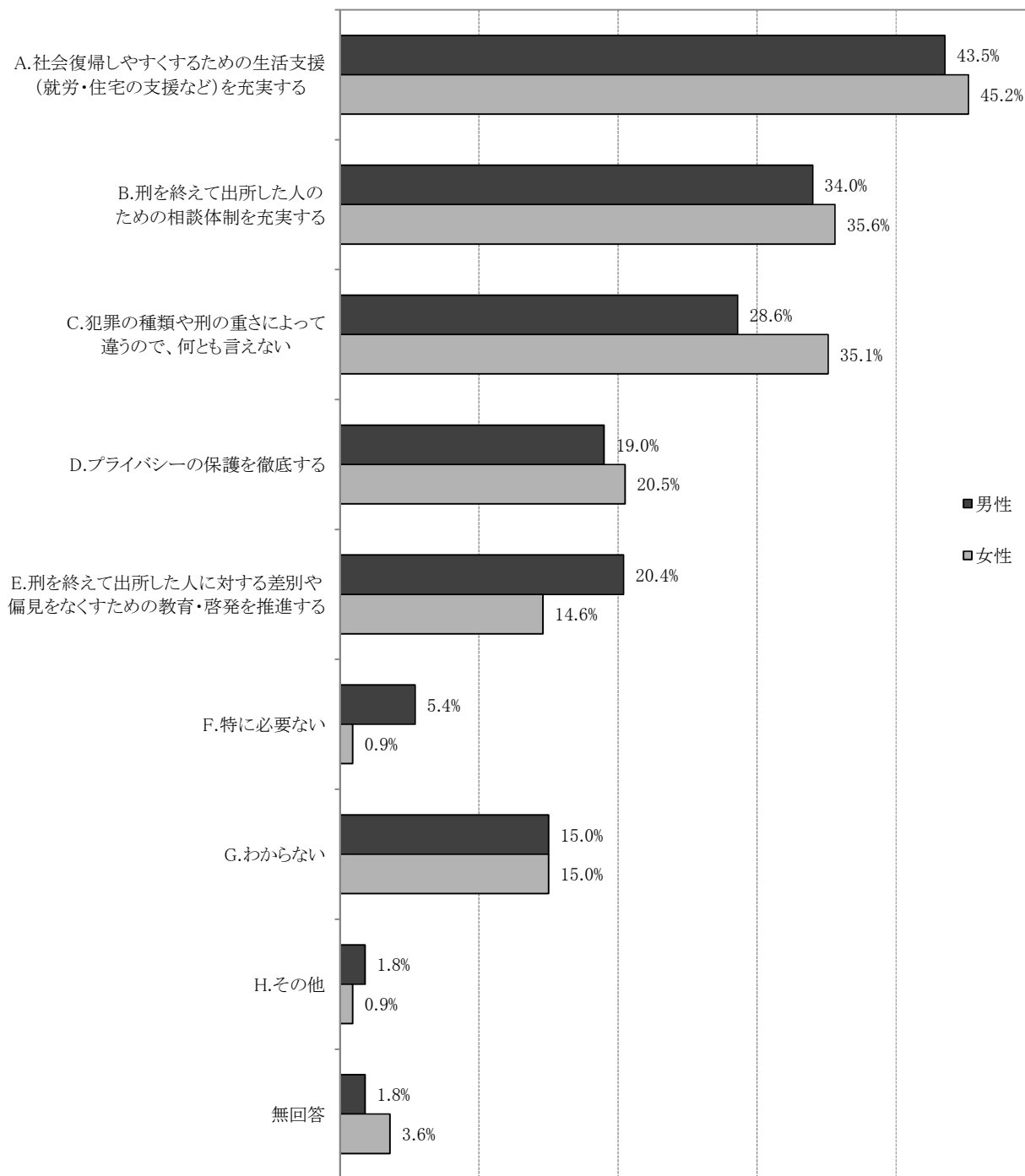


■刑を終えて出所した人の人権尊重のために必要と思う取組は、「A.社会復帰しやすくするための生活支援(就労・住宅の支援など)を充実する」(43.9%)が最も高く、次いで、「B.刑を終えて出所した人のための相談体制を充実する」(35.1%)、「C.犯罪の種類や刑の重さによって違うので、何とも言えない」(31.7%)となっている。

※前回調査なし

【性別・年齢との関係】

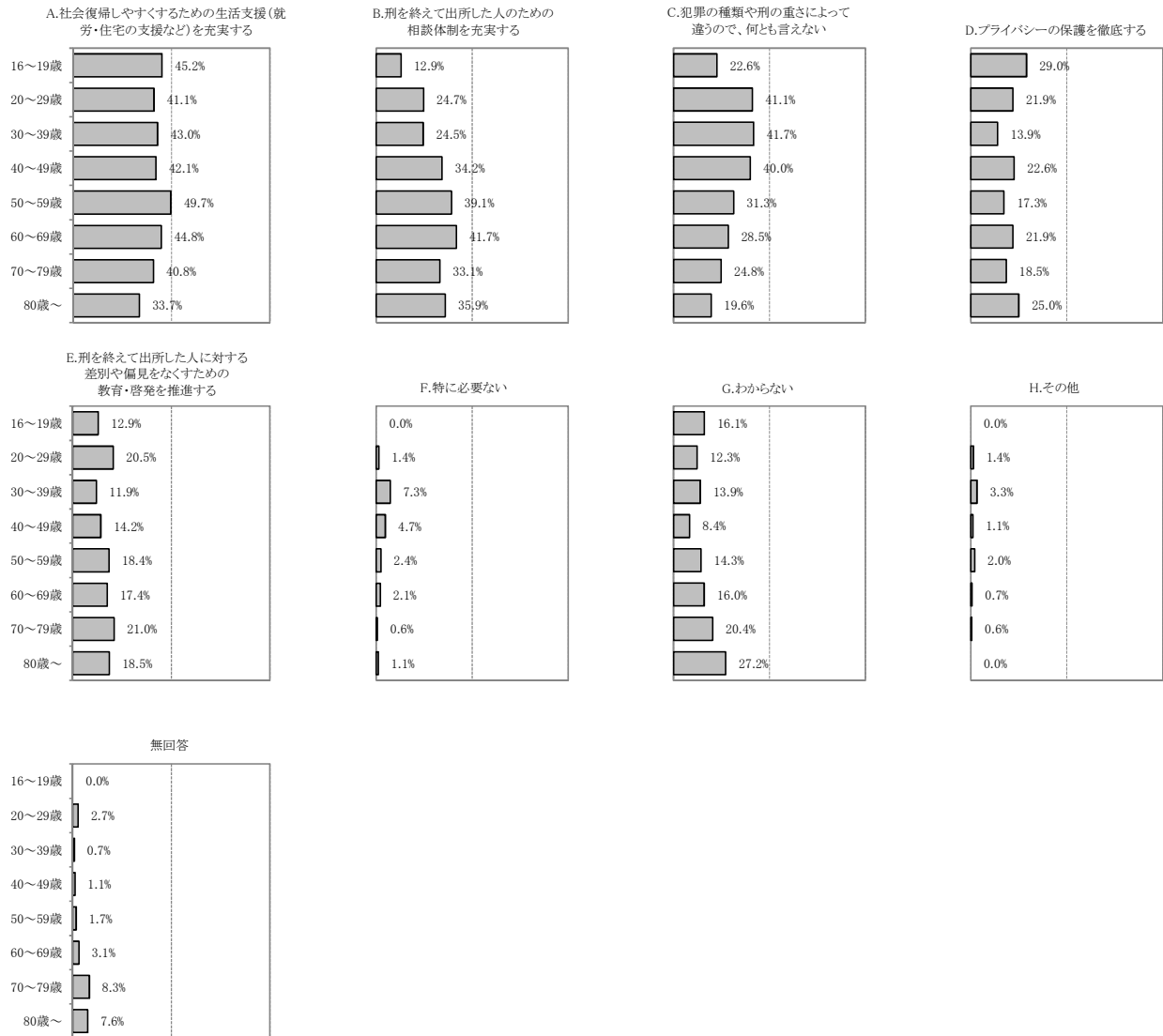
〔図 32-1〕 問 32 刑を終えて出所した人の人権が尊重されるために必要な取組み と 性別 の関係



性別で見ると〔図 32-1〕、「E. 刑を終えて出所した人に対する差別や偏見をなくすための教育・啓発を推進する」、「F. 特に必要ない」では、男性の方が大幅に高くなっている。

「C. 犯罪の種類や刑の重さによって違うので、何とも言えない」では、女性の方が大幅に高くなっている。

〔図 32-2〕 問 32 刑を終えて出所した人の人権が尊重されるために必要な取組み と 年齢 の関係

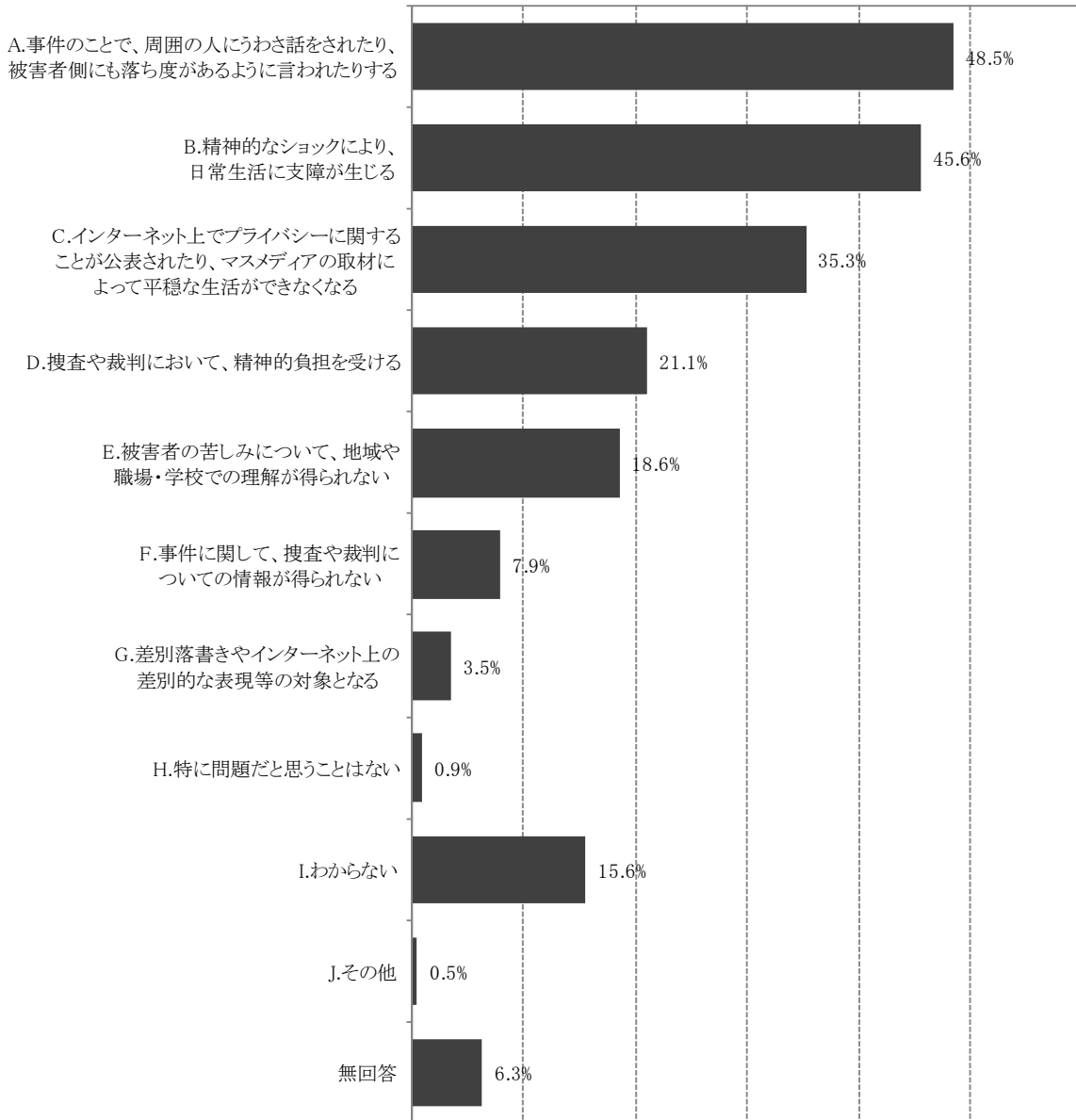


年齢別で見ると〔図 32-2〕、16～19 歳から 70 歳代では、「A.社会復帰しやすくするための生活支援(就労・住宅の支援など)を充実する」が最も高く、4 割を超えている。

「C.犯罪の種類や刑の重さによって違うので、何とも言えない」では、20 歳代から 40 歳代で高くなっている。

問 33 (犯罪被害者及びその家族の人権に関する問題)

犯罪被害者及びその家族の人権に関することで、あなたが特に問題があると思うのはどのようなことですか。(〇は3つ以内)

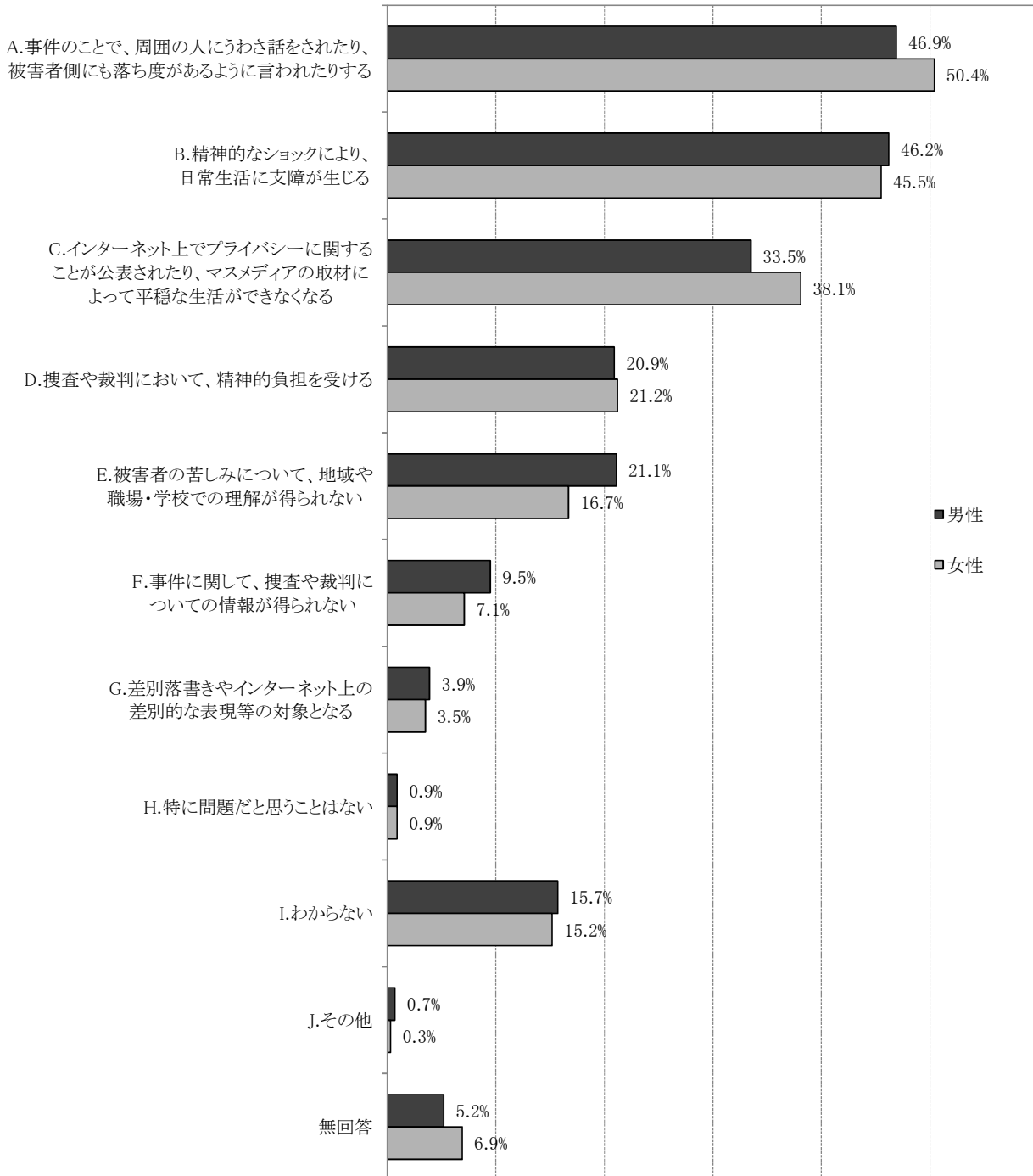


■犯罪被害者及びその家族の人権に関することで問題があると思うことは、「A.事件のことで、周囲の人にうわさ話をされたり、被害者側にも落ち度があるように言われたりする」(48.5%)が最も高く、次いで、「B.精神的なショックにより、日常生活に支障が生じる」(45.6%)、「C.インターネット上でプライバシーに関することが公表されたり、マスメディアの取材によって平穏な生活ができなくなる」(35.3%)となっている。

※前回調査なし

【性別・年齢との関係】

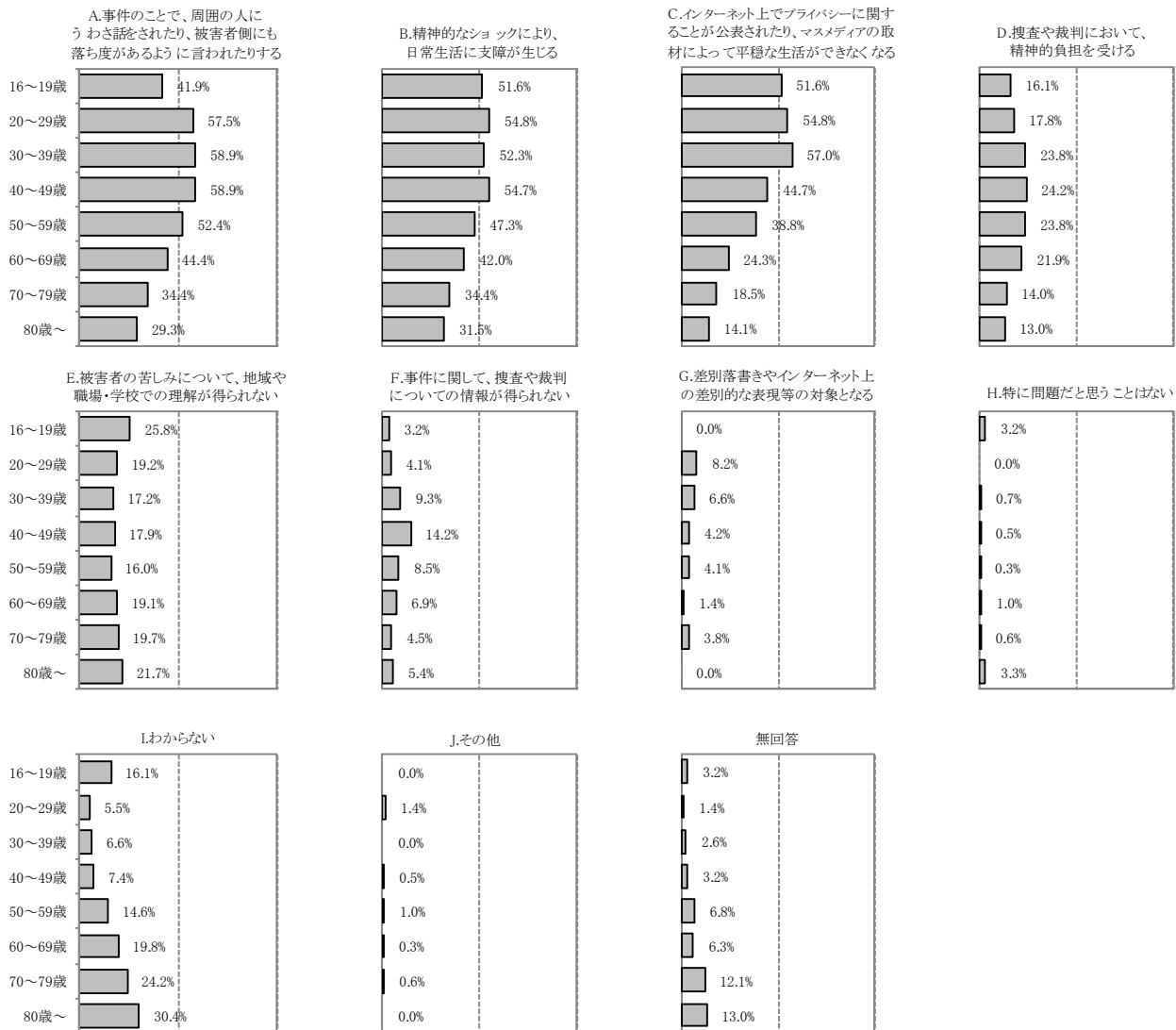
〔図 33-1〕 問 33 犯罪被害者及びその家族の人権に関する問題 と 性別 の関係



性別でみると〔図 33-1〕、「E. 被害者の苦しみについて、地域や職場・学校での理解が得られない」では、男性の方が大幅に高くなっている。

「A. 事件のことで、周囲の人にうわさ話をされたり、被害者側にも落ち度があるように言われたりする」「C. インターネット上でプライバシーに関することが公表されたり、マスメディアの取材によって平穏な生活ができなくなる」では、女性の方が大幅に高くなっている。

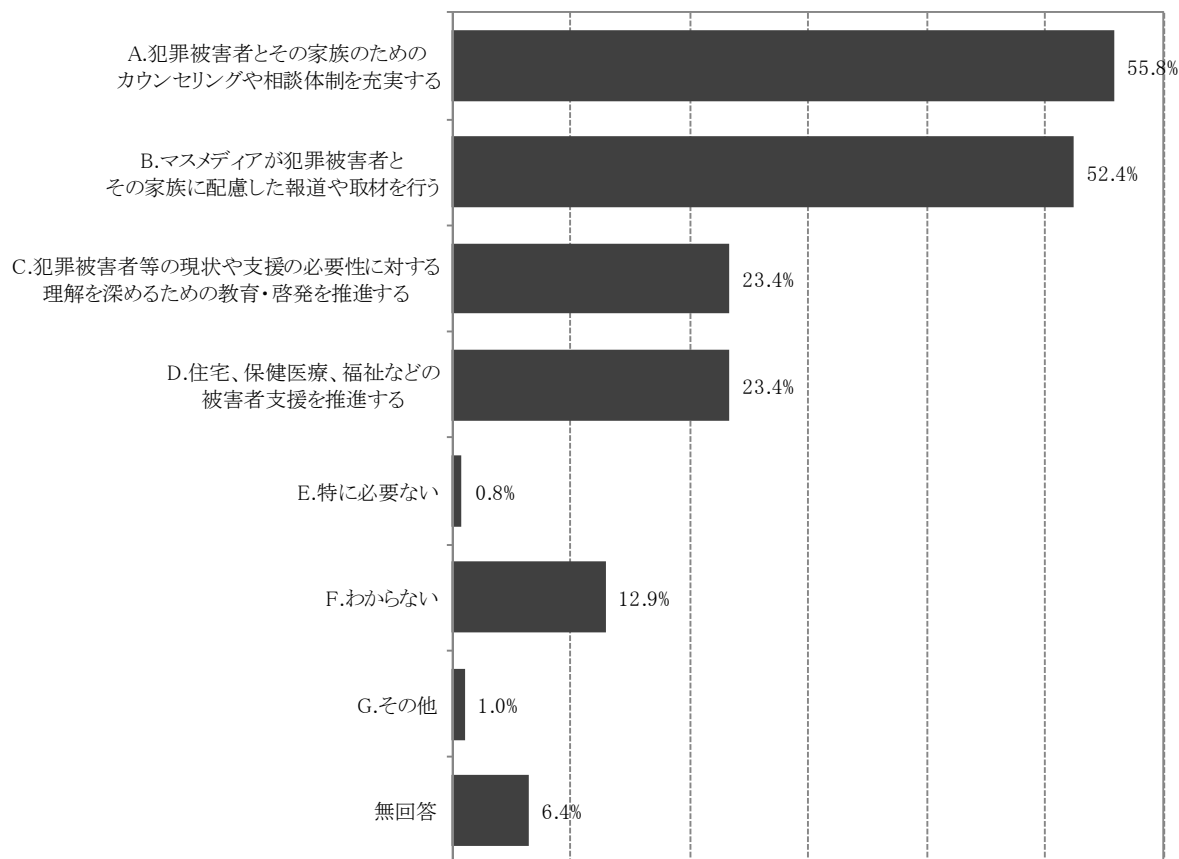
〔図 33-2〕 問 33 犯罪被害者及びその家族の人権に関する問題 と 年齢 の関係



年齢別で見ると〔図 33-2〕、20歳代から40歳代の約6割が「A. 事件のことで、周囲の人にうわさ話をされたり、被害者側にも落ち度があるように言われたりする」と回答している。

問 34 (犯罪被害者及びその家族の人権が尊重されるために必要な取組み)

あなたは、犯罪被害者及びその家族の人権が尊重されるためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つ以内)

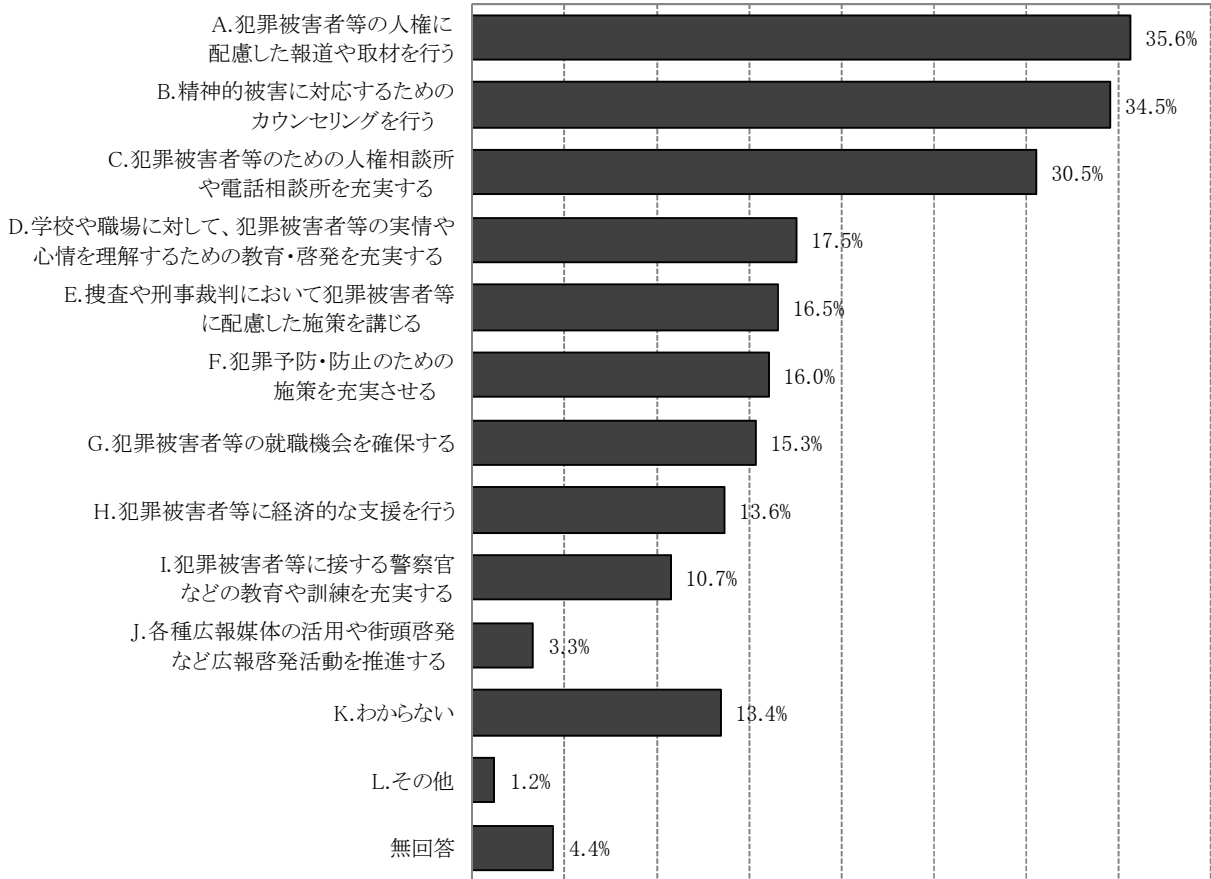


■犯罪被害者及びその家族の人権尊重のために必要と思う取組は、「A. 犯罪被害者とその家族のためのカウンセリングや相談体制を充実する」(55.8%)が最も高く、次いで、「B. マスメディアが犯罪被害者とその家族に配慮した報道や取材を行う」(52.4%)、「C. 犯罪被害者等の現状や支援の必要性に対する理解を深めるための教育・啓発を推進する」(23.4%)、「D. 住宅、保健医療、福祉などの被害者支援を推進する」(23.4%)となっている。

【参考】 ※設問文、選択肢の文言の一部が前回に比べて異なっているため、参考としてご参照ください。

前回調査(H23 鳥取県人権意識調査)

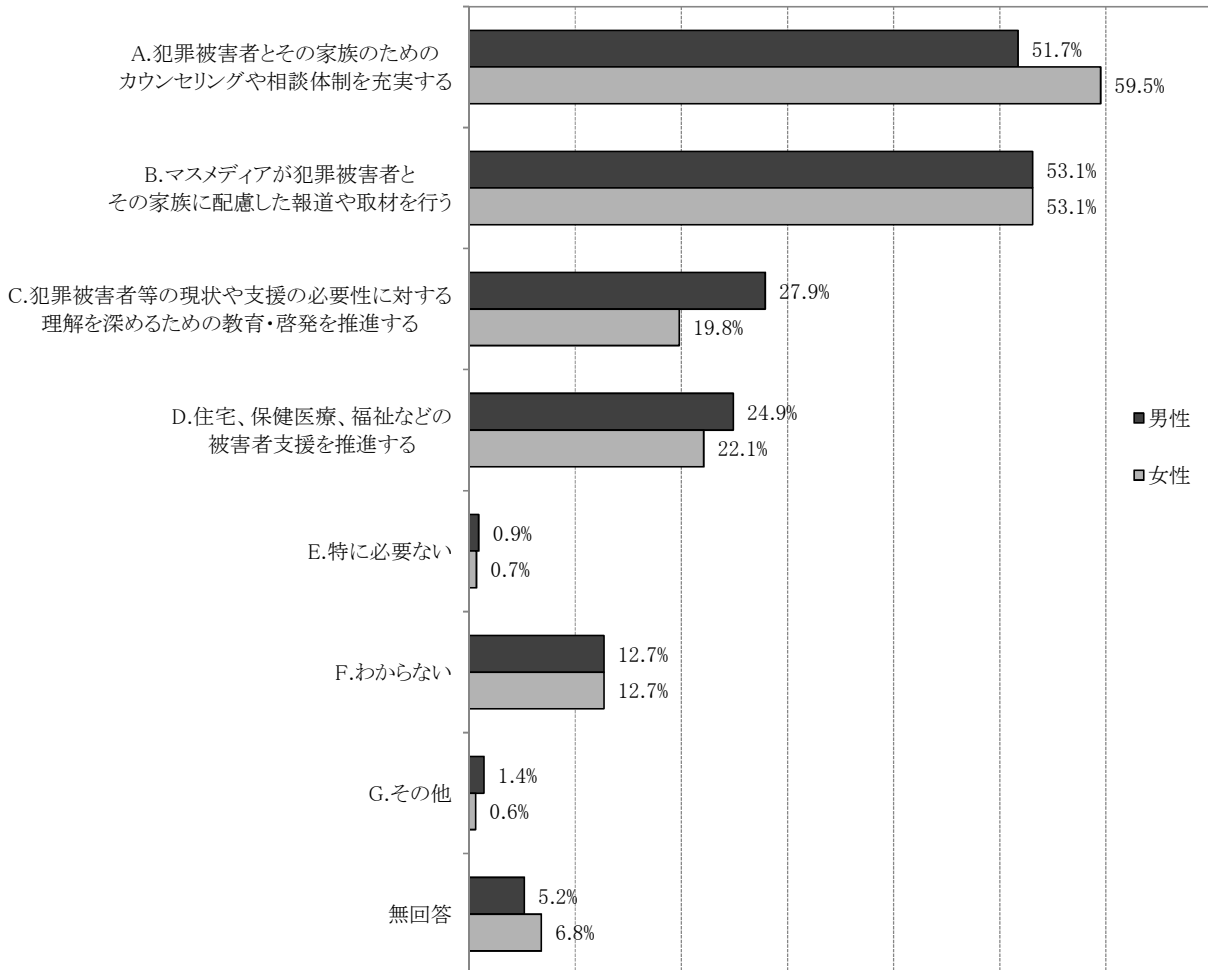
問 29 あなたは犯罪被害者等(犯罪被害者とその家族)の人権を守るために必要なことはどのようなことだと思いますか。次の中から特に重要だと思うものをあげてください。(〇は3つまで)



犯罪被害者の人権を守るために必要と思うことは、「A.犯罪被害者等の人権に配慮した報道や取材を行う」(35.6%)、「B.精神的被害に対応するためのカウンセリングを行う」(34.5%)、「C.犯罪被害者等のための人権相談所や電話相談所を充実する」(30.5%)が高くなっている。

【性別・年齢との関係】

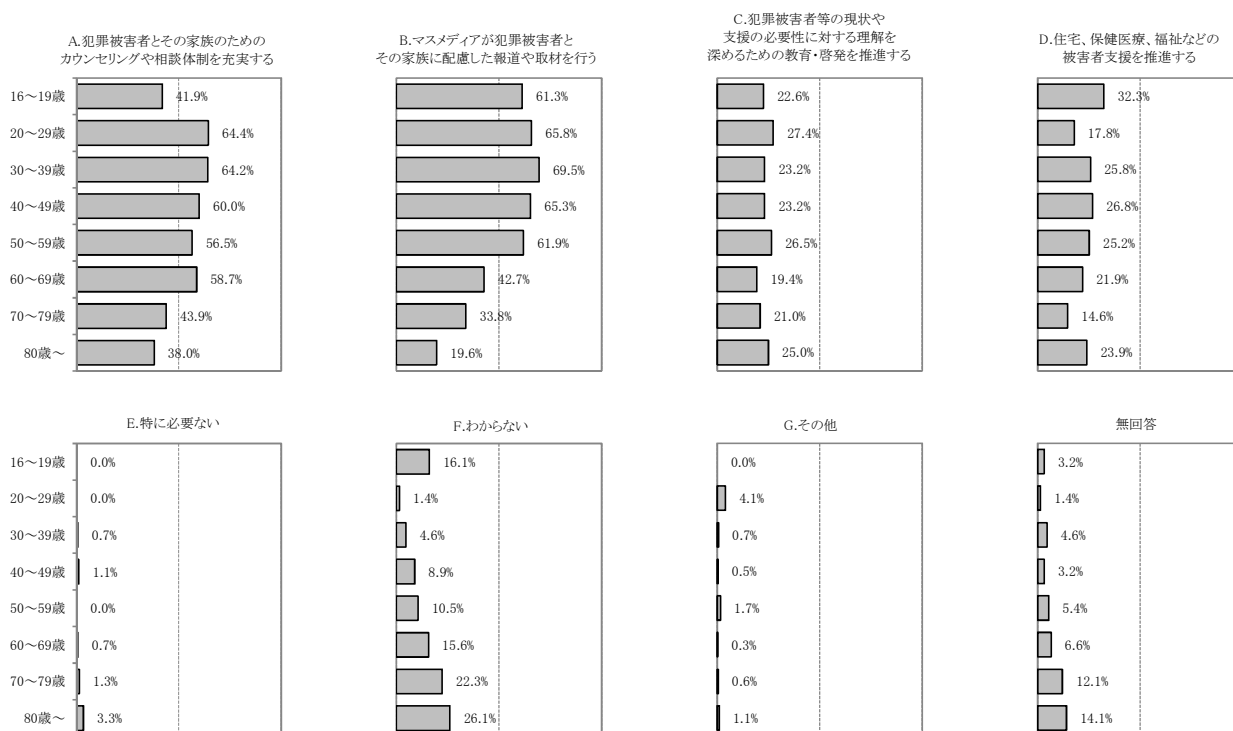
〔図 34-1〕 問 34 犯罪被害者及びその家族の人権が尊重されるために必要な取組み と 性別 の関係



性別でみると〔図 34-1〕、「C. 犯罪被害者等の現状や支援の必要性に対する理解を深めるための教育・啓発を推進する」では、男性の方が大幅に高くなっている。

「A. 犯罪被害者とその家族のためのカウンセリングや相談体制を充実する」では、女性の方が大幅に高くなっている。

〔図 34-2〕 問 34 犯罪被害者及びその家族の人権が尊重されるために必要な取組み と 年齢 の関係



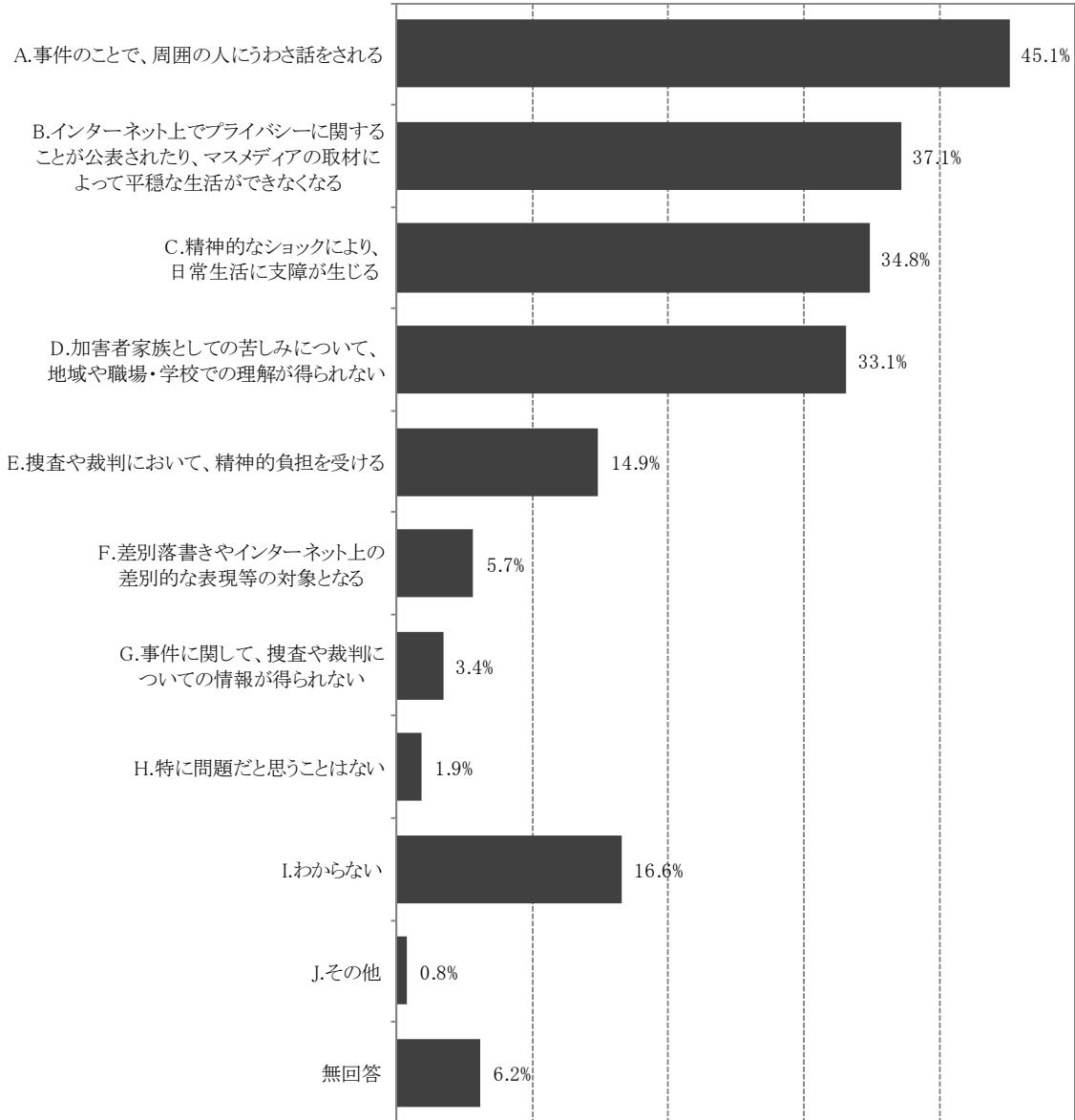
年齢別で見ると〔図 34-2〕、16～19 歳から 50 歳代では、「B.マスメディアが犯罪被害者とその家族に配慮した報道や取材を行う」が最も高く、6 割以上となっている。

60 歳代以上では、「A.犯罪被害者とその家族のためのカウンセリングや相談体制を充実する」が最も高くなっている。

問 35 (犯罪加害者の家族の人権に関する問題)

犯罪加害者の家族の人権に関することで、あなたが特に問題があると思うのはどのようなことですか。

(○は3つ以内)

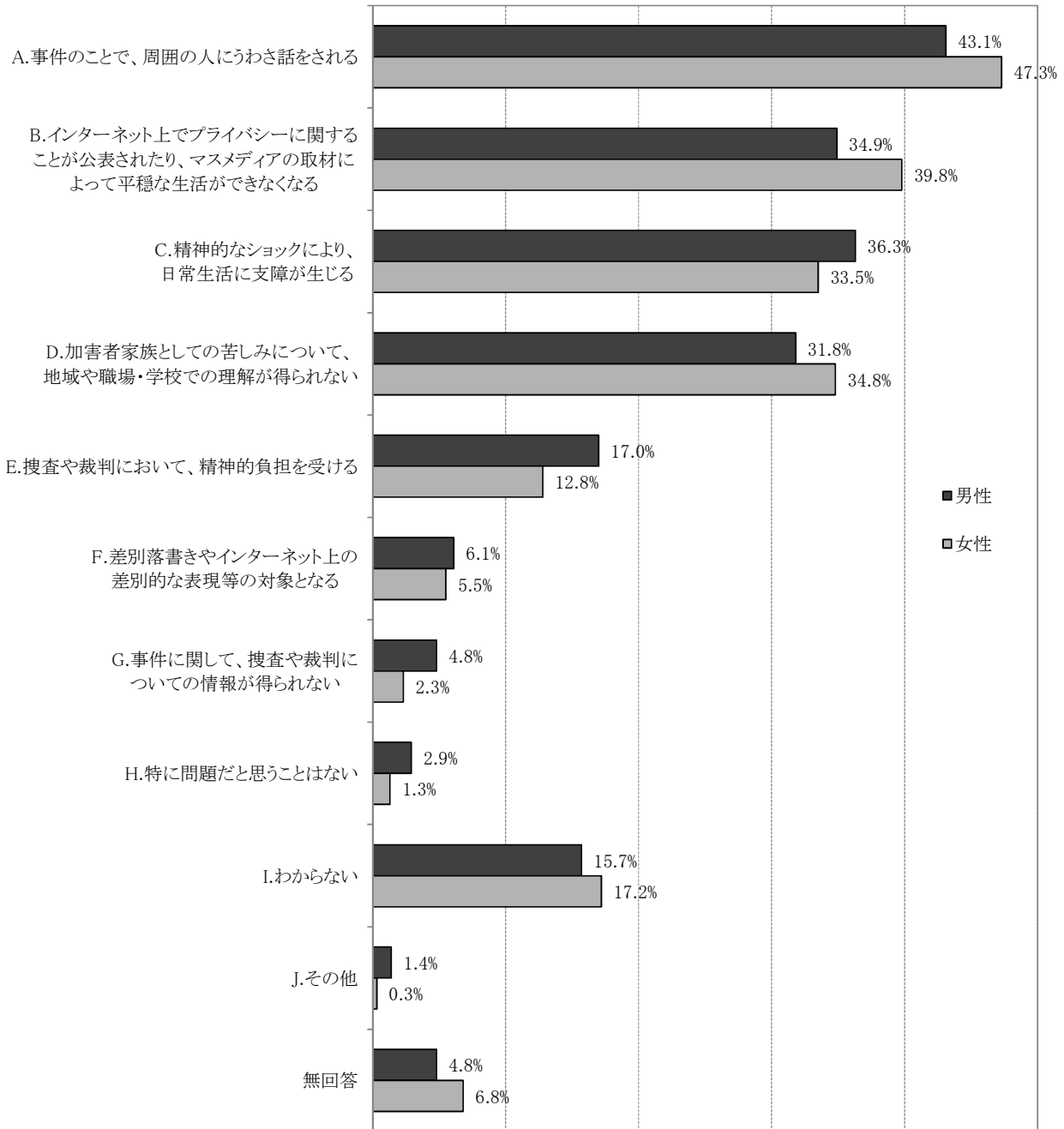


■犯罪加害者の家族の人権に関することで問題があると思うことは、「A.事件のことで、周囲の人にうわさ話をされる」(45.1%)が最も高く、次いで、「B.インターネット上でプライバシーに関することが公表されたり、マスメディアの取材によって平穏な生活ができなくなる」(37.1%)、「C.精神的なショックにより、日常生活に支障が生じる」(34.8%)、「D.加害者家族としての苦しみについて、地域や職場・学校での理解が得られない」(33.1%)となっている。

※前回調査なし

【性別・年齢との関係】

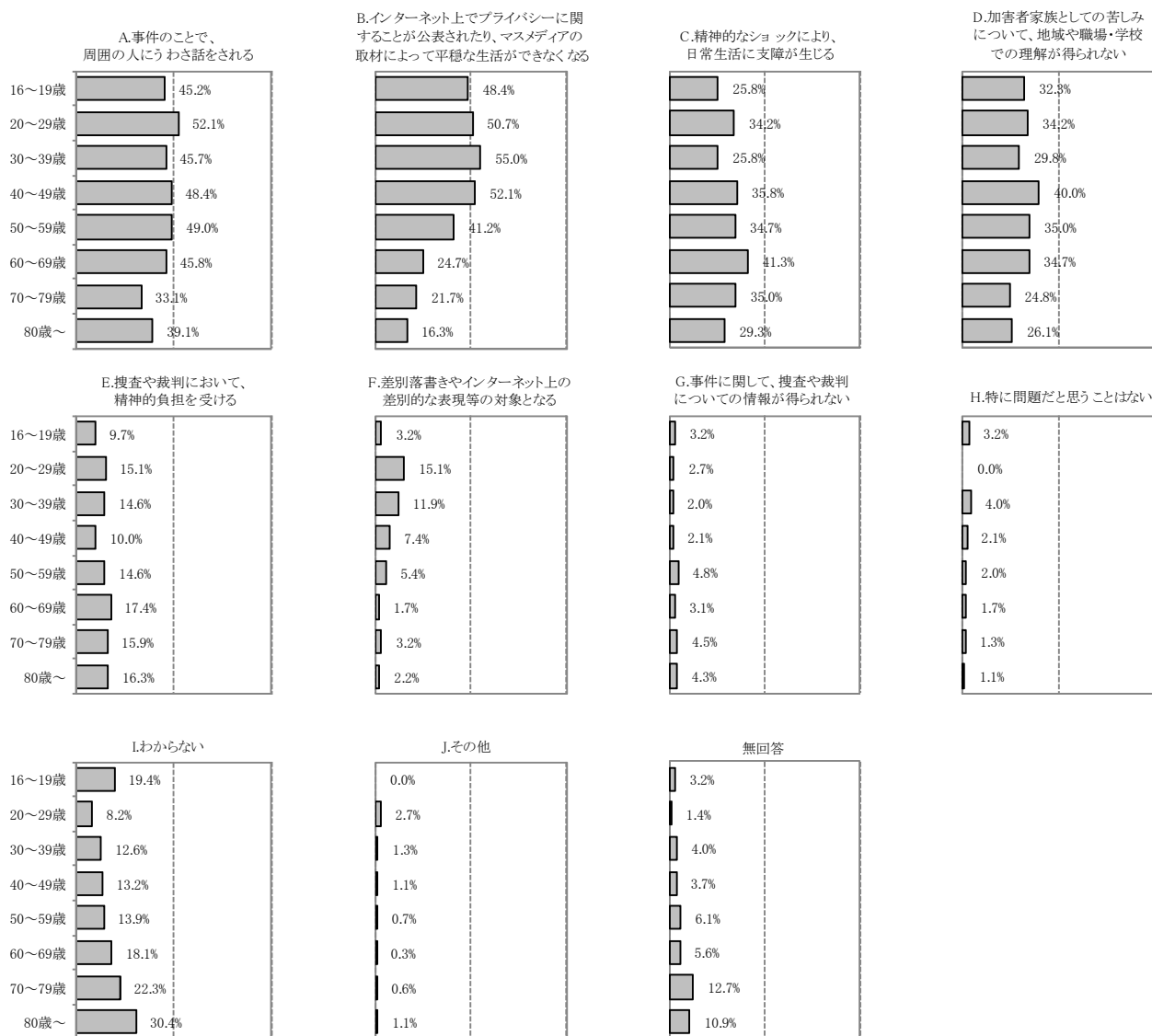
〔図 35-1〕 問 35 犯罪加害者の家族の人権に関する問題 と 性別 の関係



性別でみると〔図 35-1〕、「E. 捜査や裁判において、精神的負担を受ける」では、男性の方が大幅に高くなっている。

「A. 事件のことで、周囲の人にうわさ話をされる」「B. インターネット上でプライバシーに関することが公表されたり、マスメディアの取材によって平穏な生活ができなくなる」では、女性の方が大幅に高くなっている。

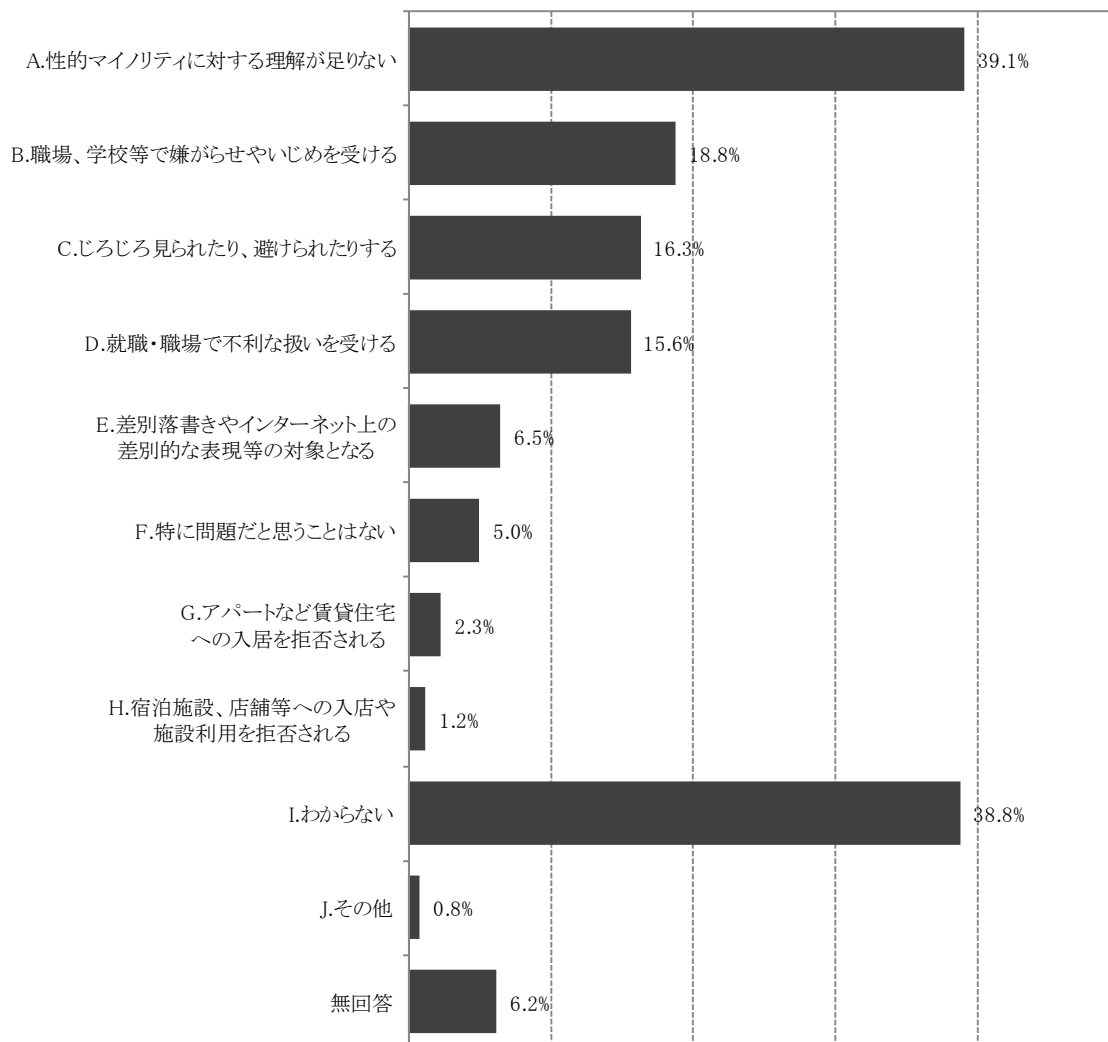
〔図 35-2〕 問 35 犯罪被害者の家族の人権に関する問題 と 年齢 の関係



年齢別でみると〔図 35-2〕、「B.インターネット上でプライバシーに関することが公表されたり、マスメディアの取材によって平穏な生活ができなくなる」と回答した人の割合は、20歳代、30歳代、40歳代では5割以上あるのに対し、60歳代、70歳代、80歳以上では、約2割にとどまる。

問 36 (性的マイノリティの人権に関する問題)

LGBT(※)など性的マイノリティの人権に関することで、あなたが特に問題があると思うのは、どのようなことですか。(〇は3つ以内)

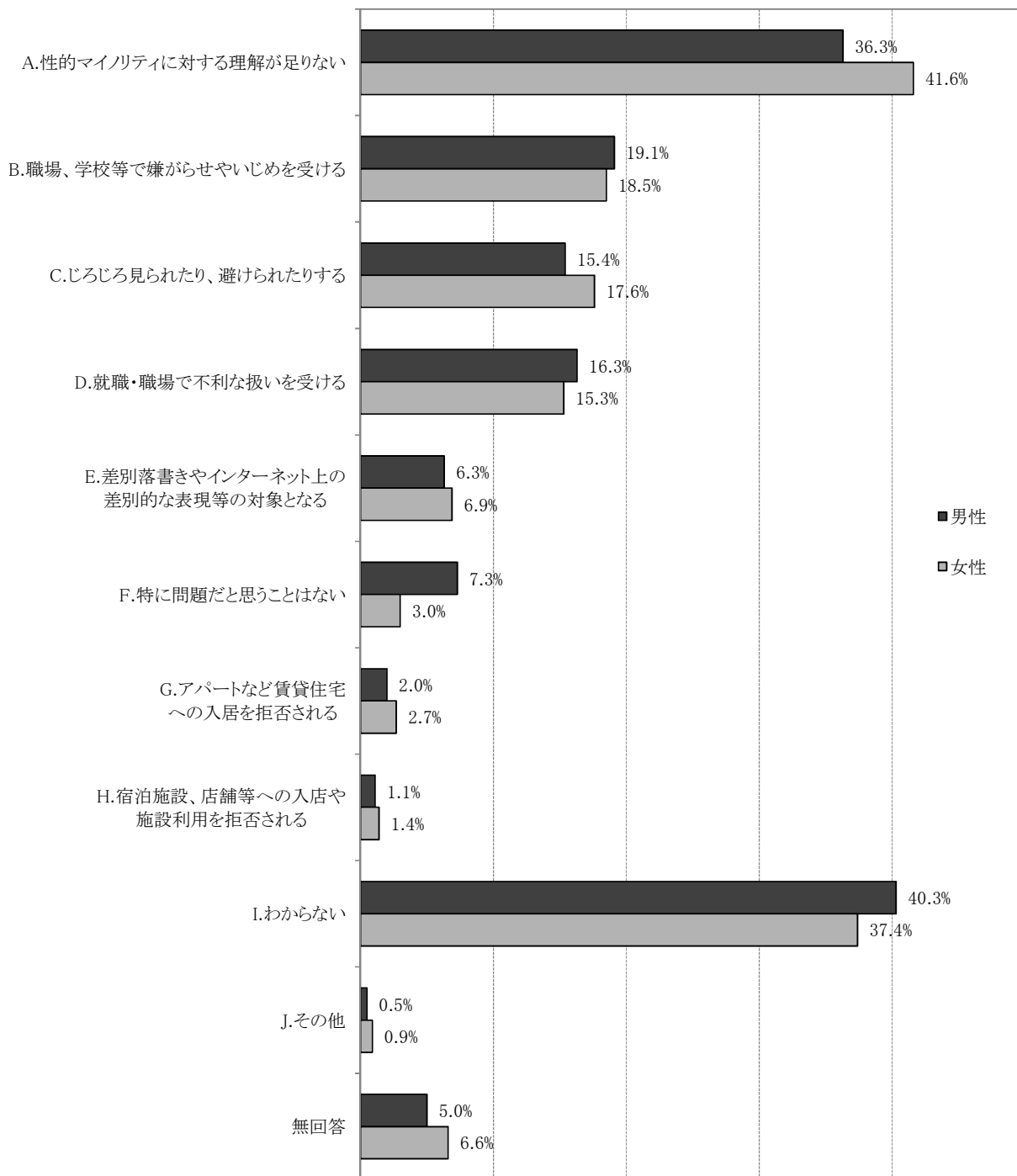


■性的マイノリティの人権に関することで問題があると思うことは、「A.性的マイノリティに対する理解が足りない」が、39.1%と最も高いが、一方で、「I.わからない」も、38.8%と高くなっている。

※前回調査なし

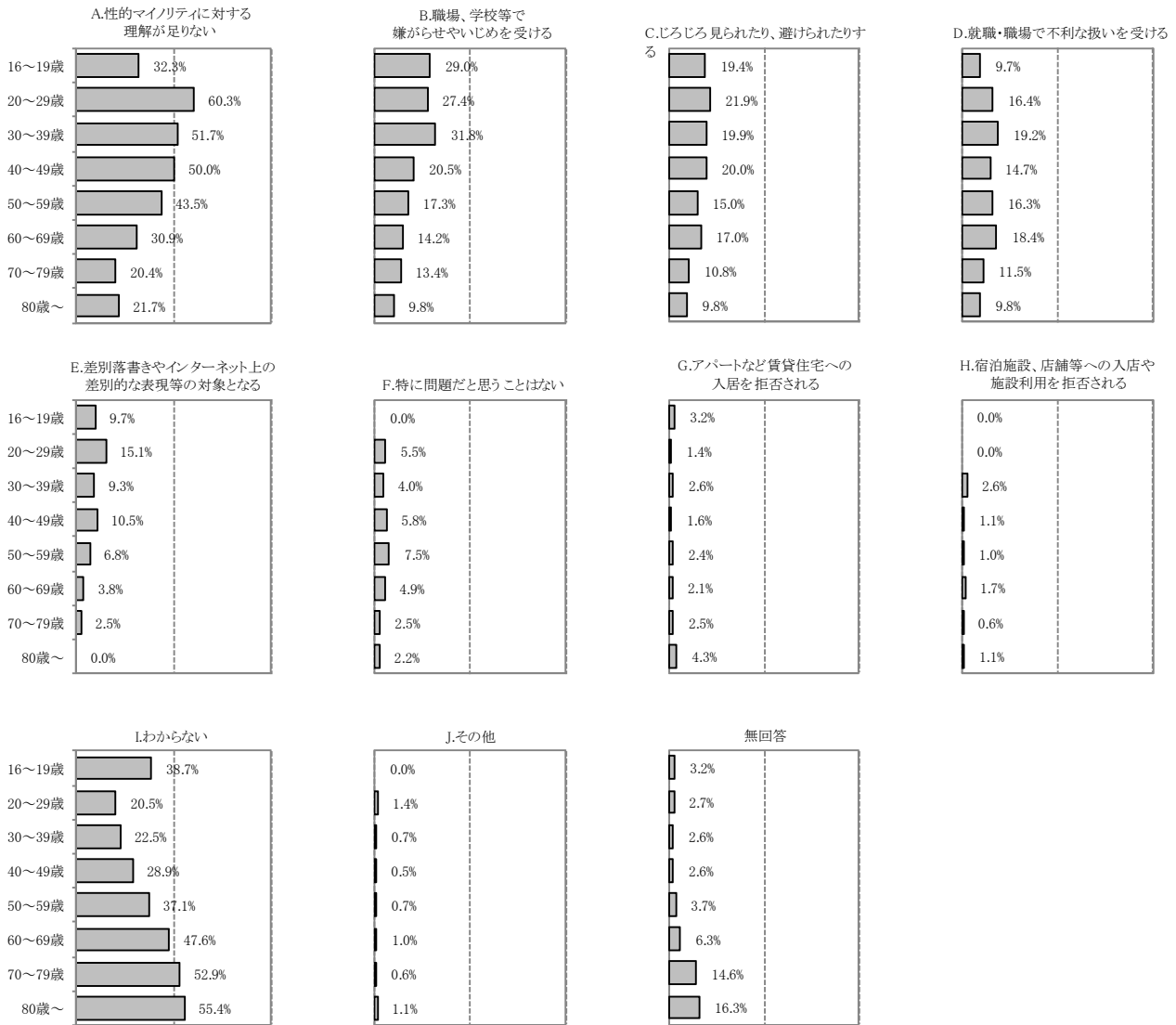
【性別・年齢との関係】

〔図 36-1〕 問 36 性的マイノリティの人権に関する問題 と 性別 の関係



性別でみると〔図 36-1〕、「F. 特に問題だと思うことはない」では、男性の方が大幅に高くなっている。「A.性的マイノリティに対する理解が足りない」では、女性の方が大幅に高くなっている。

〔図 36-2〕 問 36 性的マイノリティの人権に関する問題 と 年齢 の関係



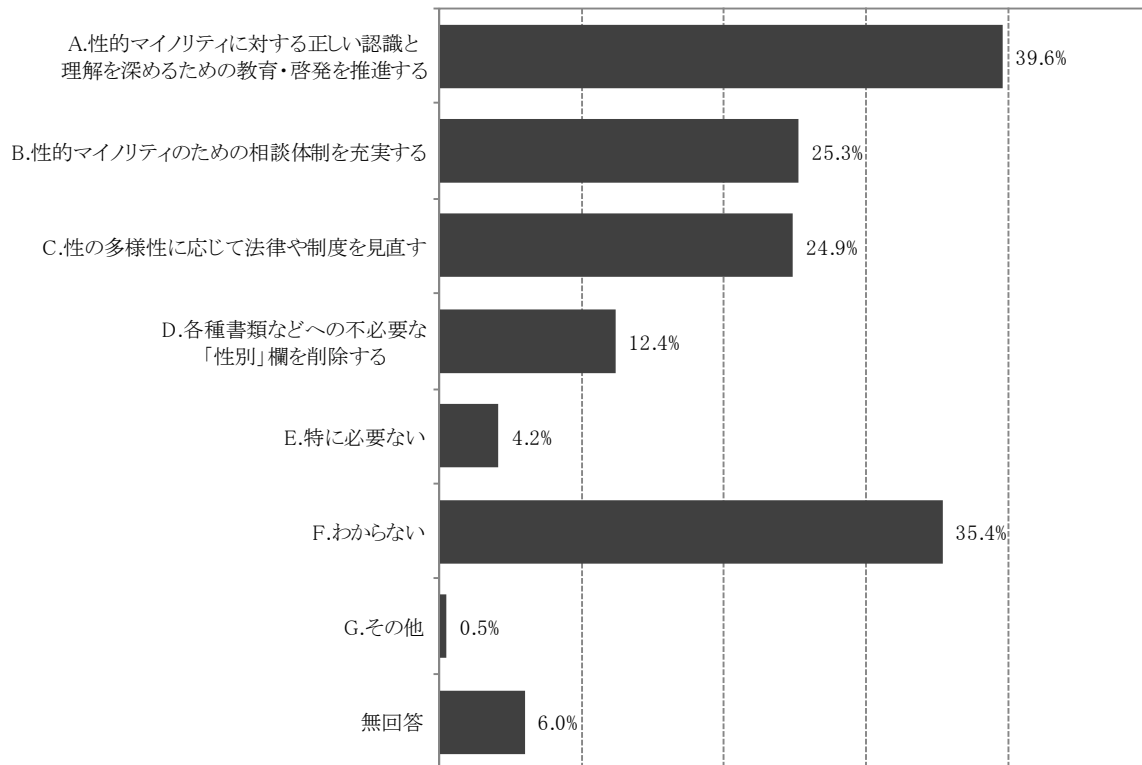
年齢別で見ると〔図 36-2〕、低い年代ほど「A.性的マイノリティに対する理解が足りない」が高く、20 歳代では 6 割に上る。

逆に高い年代ほど「I.わからない」が高く、60 歳以上では約 5 割に上る。

問 37 (性的マイノリティの人権が尊重されるために必要な取組み)

あなたは、性的マイノリティの人権が尊重されるためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。

(○は3つ以内)



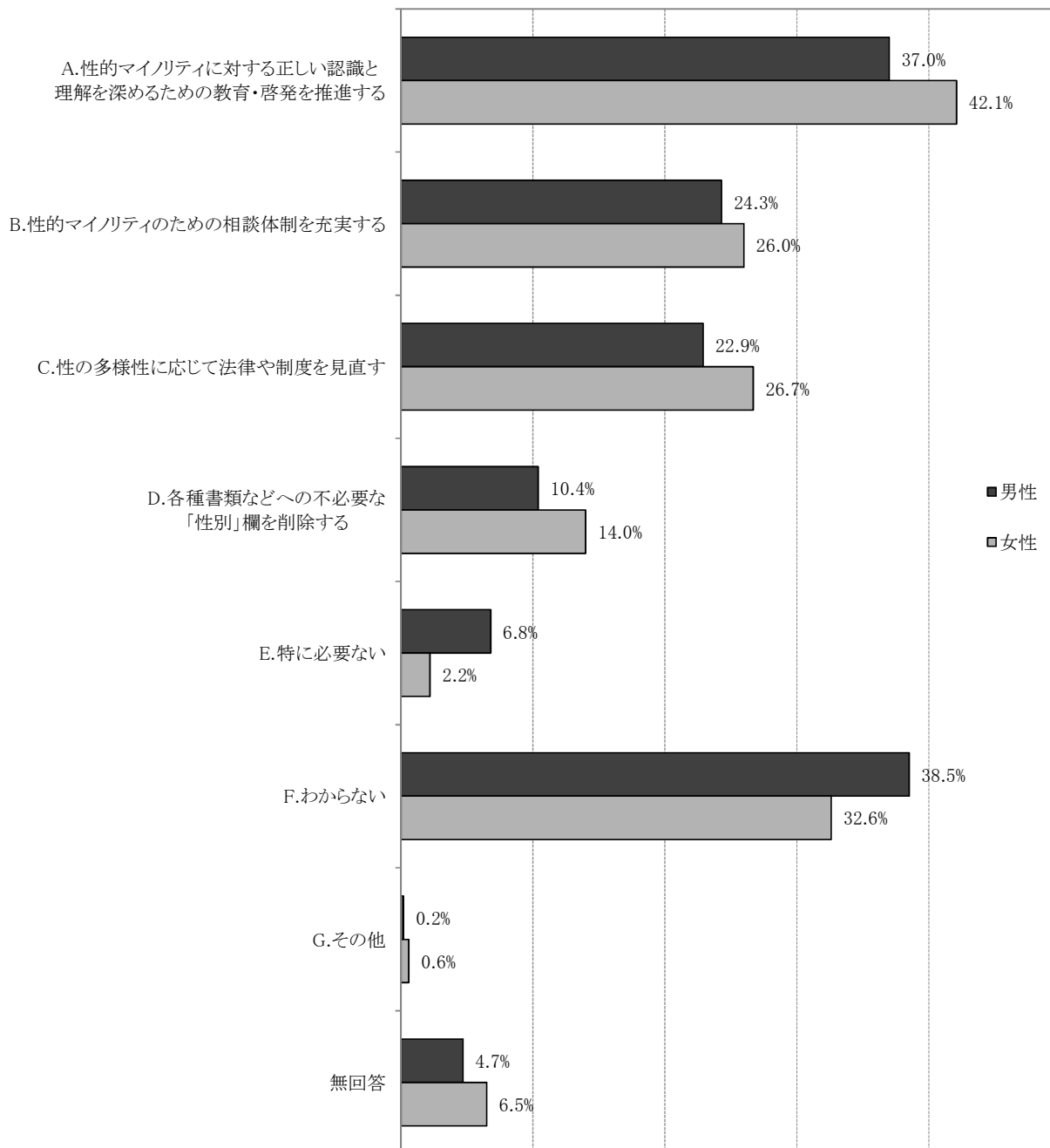
■性的マイノリティの人権尊重のために必要と思う取組は、「A.性的マイノリティに対する正しい認識と理解を深めるための教育・啓発を推進する」(39.6%)が最も高くなっている。

また、「F.わからない」も、35.4%と高くなっている。

※前回調査なし

【性別・年齢との関係】

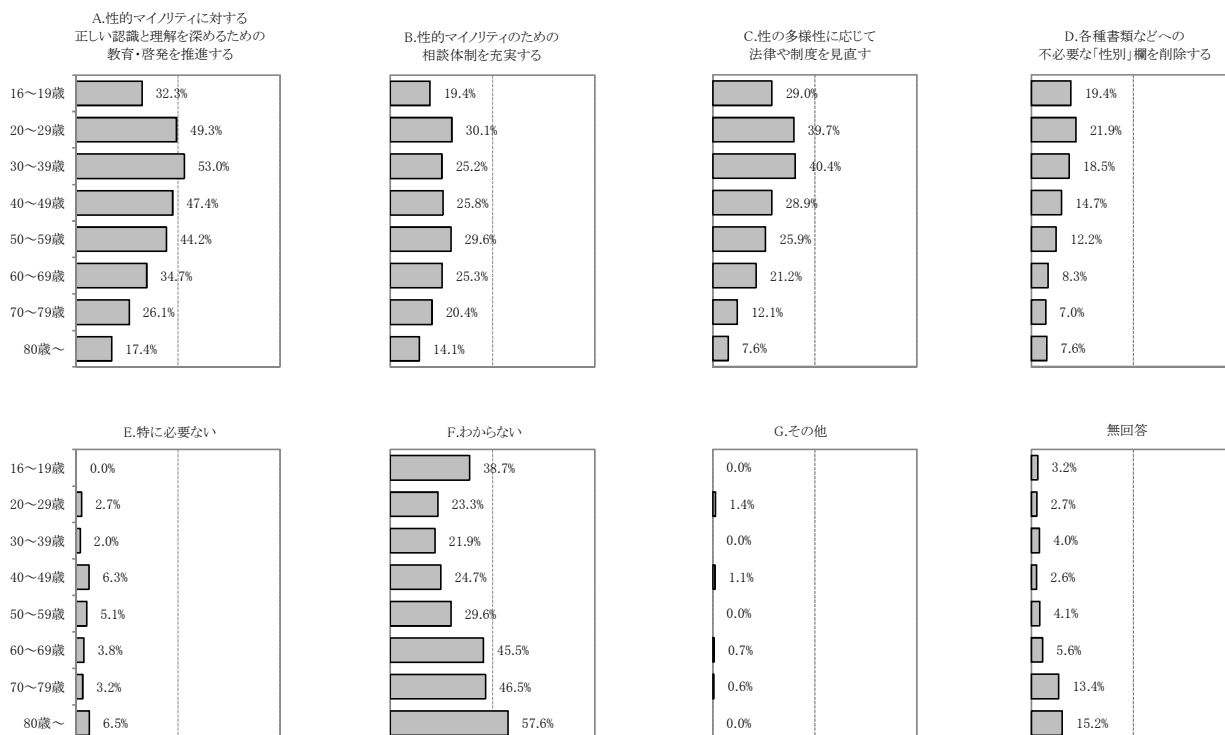
〔図 37-1〕 問 37 性的マイノリティの人権が尊重されるために必要な取組み と 性別 の関係



性別でみると〔図 37-1〕、「F. わからない」、「E. 特に必要ない」では、男性の方が大幅に高くなっている。

「A.性的マイノリティに対する正しい認識と理解を深めるための教育・啓発を推進する」、「C. 性の多様性に応じて法律や制度を見直す」では、女性の方が大幅に高くなっている。

〔図 37-2〕 問 37 性的マイノリティの人権が尊重されるために必要な取組み と 年齢 の関係

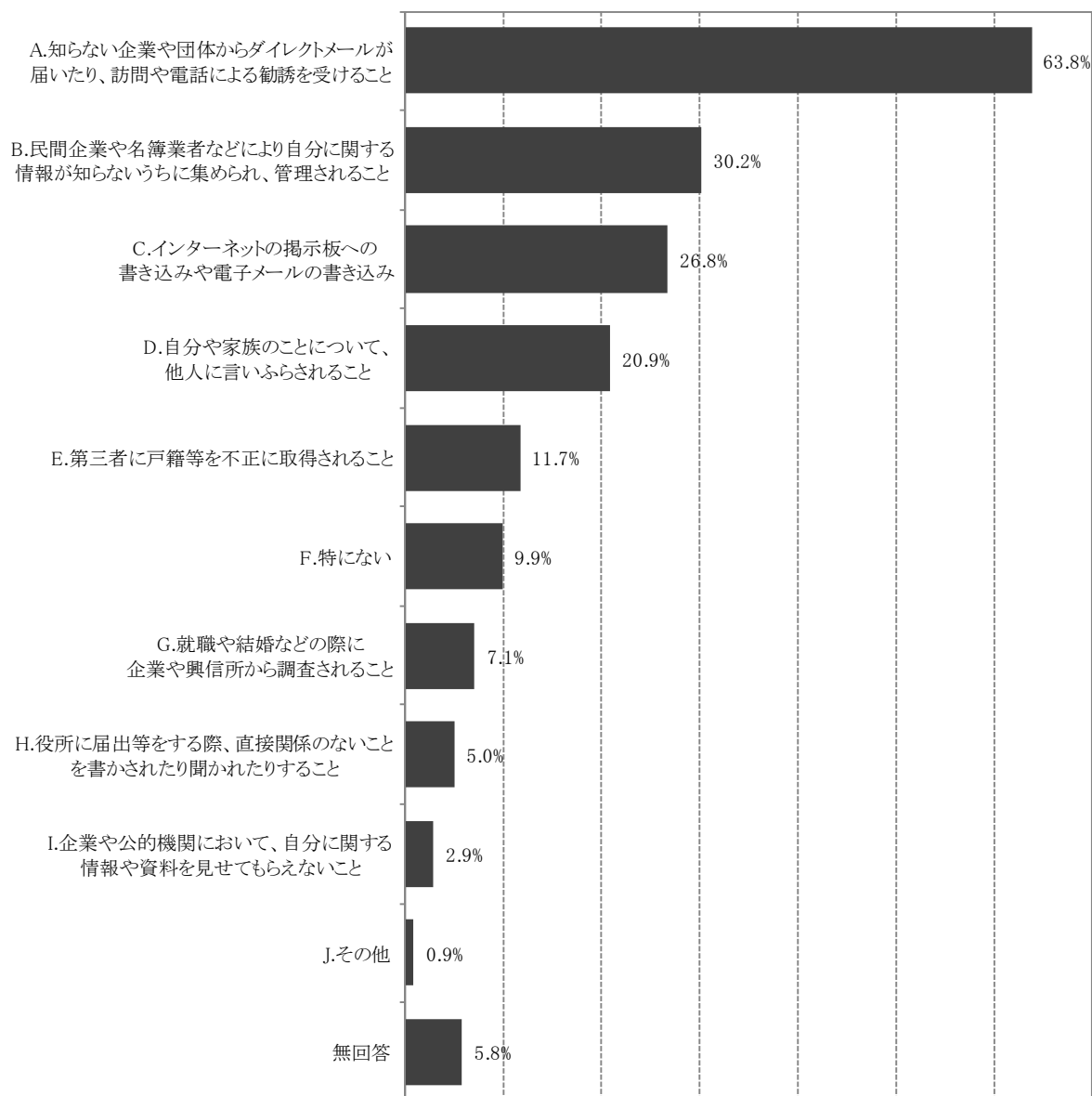


年齢別でみると〔図 37-2〕、20 歳代、30 歳代、40 歳代、50 歳代では、「A.性的マイノリティに対する正しい認識と理解を深めるための教育・啓発を推進する」が最も高い。また、20 歳代、30 歳代では、「C.性の多様性に応じて法律や制度を見直す」も高くなっている。

一方、16～19 歳、60 歳代、70 歳代、80 歳以上では、「F.わからない」が最も高くなっている。

問 38 (個人のプライバシーが守られていないと感じる場合)

個人のプライバシーに関して、あなたはどのような場合にプライバシーが守られていないと感じますか。(〇は3つ以内)

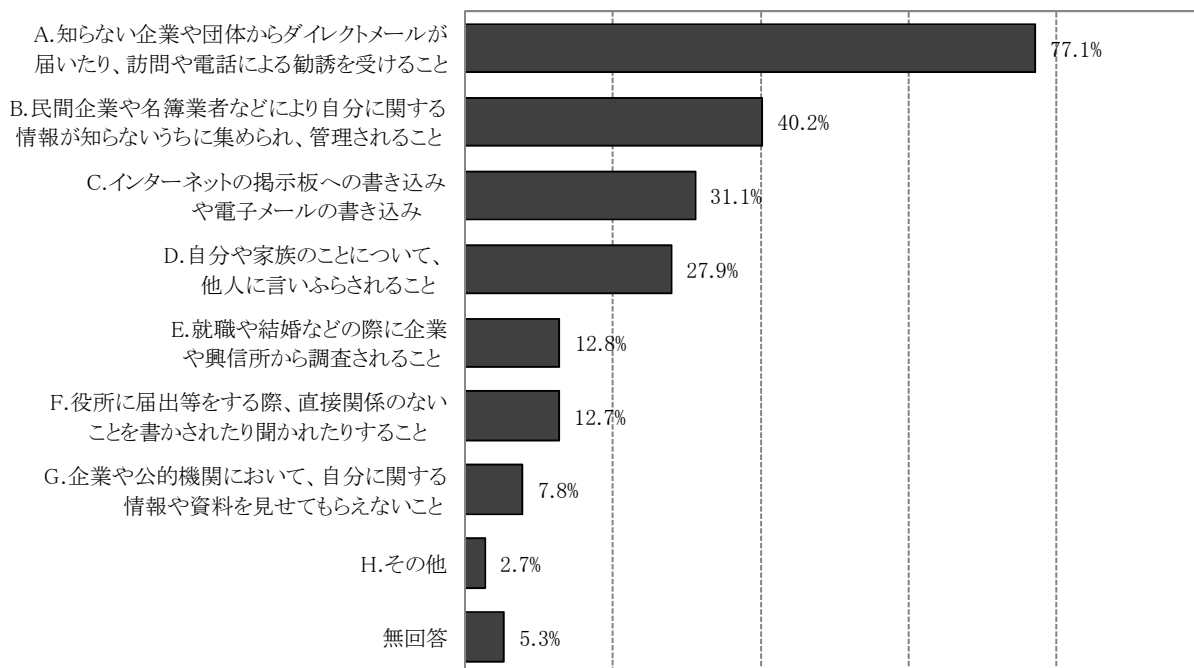


■個人のプライバシーが守られていないと感じる場面は、「A.知らない企業や団体からダイレクトメールが届いたり、訪問や電話による勧誘を受けること」(63.8%)が最も高く、次いで、「B.民間企業や名簿業者などにより自分に関する情報が知らないうちに集められ、管理されること」(30.2%)、「C.インターネットの掲示板への書き込みや電子メールの書き込み」(26.8%)となっている。

【参考】 ※設問文、選択肢の文言の一部が前回に比べて異なっているため、参考としてご参照ください。

前回調査(H23 鳥取県人権意識調査)

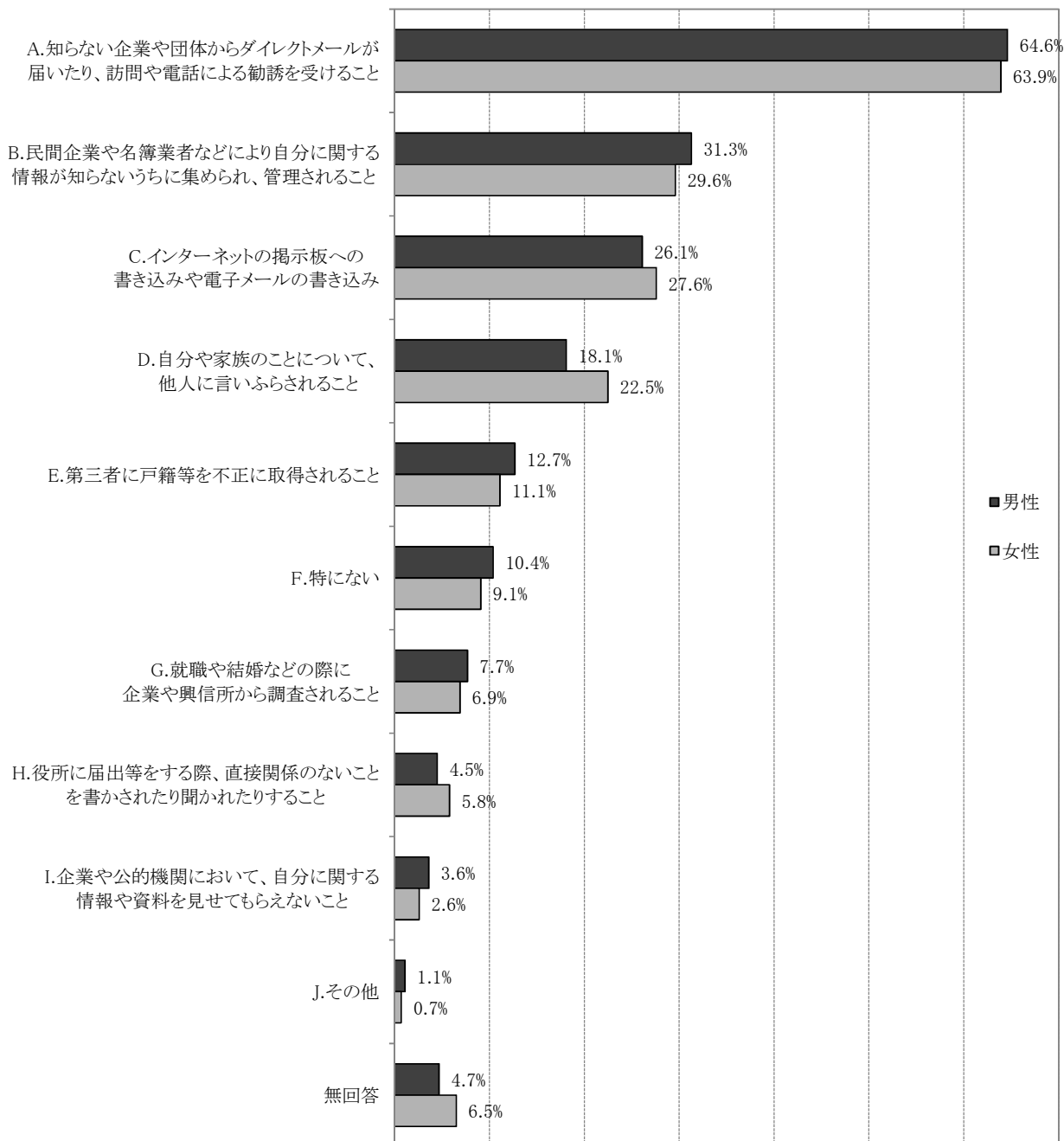
問 31 個人のプライバシーに関して、あなたはどのような場合にプライバシーが守られていないと感じますか。次の中からあなたの考えに近いものをお答えください。(〇はいくつでも)



個人のプライバシーが守られていないと感じるものは、「A.知らない企業や団体からのダイレクトメールが届いたり、訪問や電話による勧誘を受けること」(77.1%)が最も高かった。次いで「B.民間企業や名簿業者などにより自分に関する情報が知らないうちに集められ、管理されること」(40.2%)、「C.インターネットの掲示板への書き込みや電子メールの書き込み」(31.1%)などとなっている。

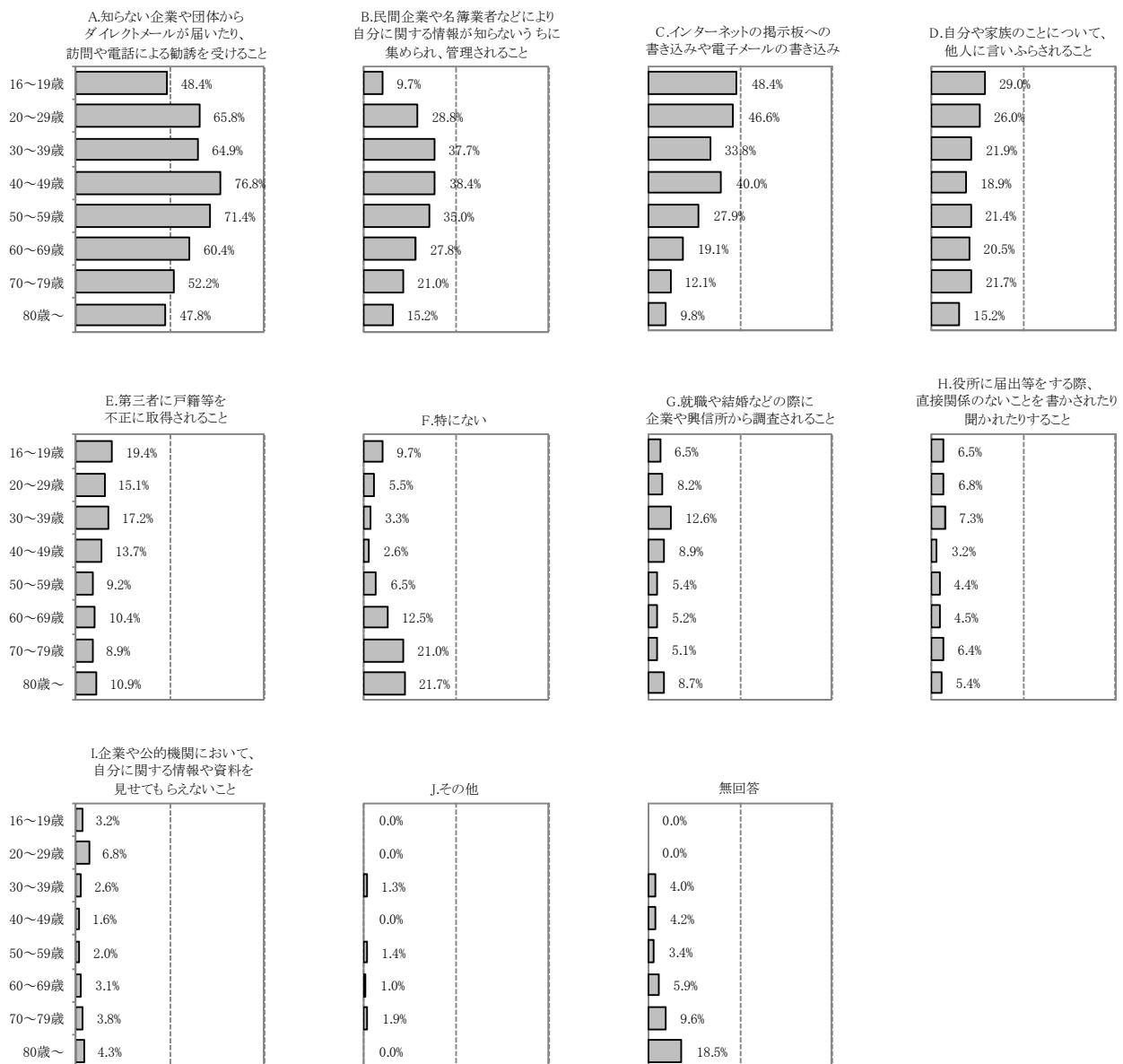
【性別・年齢との関係】

〔図 38-1〕 問 38 個人のプライバシーが守られていないと感じる場合 と 性別 の関係



性別でみると〔図 38-1〕、「D. 自分や家族のことについて、他人に言いふらされること」では、女性の方が大幅に高くなっている。

〔図 38-2〕 問 38 個人のプライバシーが守られていないと感じる場合 と 年齢 の関係

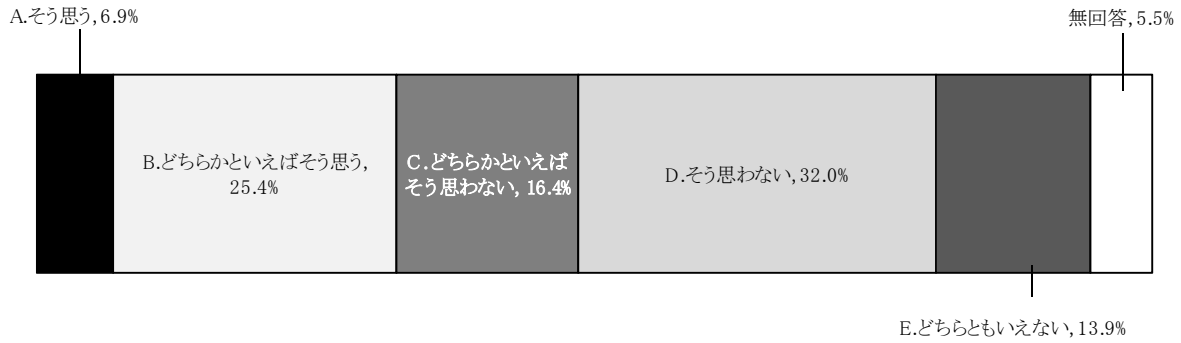


年齢別で見ると〔図 38-2〕、「A.知らない企業や団体からダイレクトメールが届いたり、訪問や電話による勧誘を受けること」が各年代で最も高くなっている。

「C.インターネットの掲示板への書き込みや電子メールの書き込み」では、16~19歳(48.4%)、20歳代(46.6%)が他の年代よりも高くなっている。

問 39-①（身元調査について—子どもが結婚するとき）

あなたに未婚の子がいると仮定して、その子が結婚するとき、家柄、親の職業や社会的地位などについて、親の立場から相手方の身元調査を行うことはやむを得ないと思いますか。（○は1つだけ）

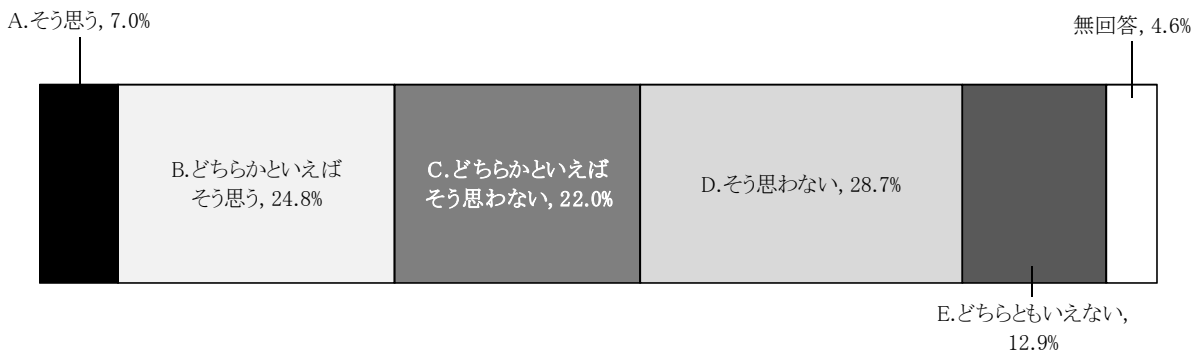


■自分の子どもが結婚するとき、親の立場から相手の身元調査を行うことはやむを得ないと思うかどうかについて、「A.そう思う」、「B.どちらかといえばそう思う」、は合わせて 32.3%。「D.そう思わない」、「C.どちらかといえばそう思わない」は合わせて 48.4%。

【参考】 ※設問文、選択肢の文言の一部が前回に比べて異なっているため、参考としてご参照ください。

前回調査(H23 鳥取県人権意識調査)

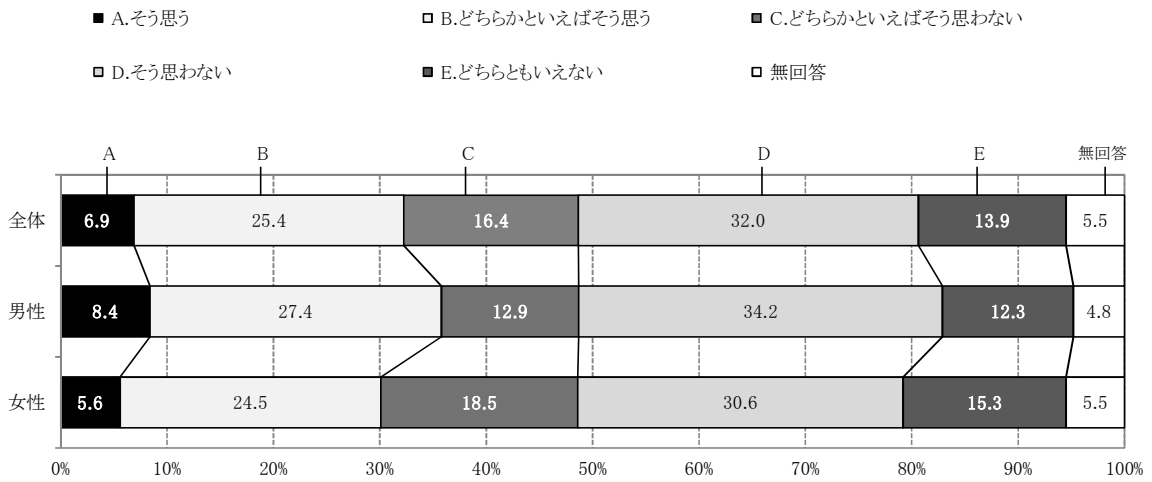
問 32-① 自分の子どもが結婚するとき、家柄、親の職業や社会的地位などについて、親の立場から相手方の身元調査をおこなうことはやむを得ないと思いますか。あなたの考えに近いものはどれですか。（○は1つだけ）



自分の子どもが結婚するとき、親の立場から相手の身元調査を行うことはやむを得ないと思うかどうかについて、「A.そう思う」、「B.どちらかといえばそう思う」は合わせて 31.8%。「D.そう思わない」、「C.どちらかといえばそう思わない」は合わせて 50.7%。また、「E.どちらともいえない」は 12.9%だった。

【性別・年齢との関係】

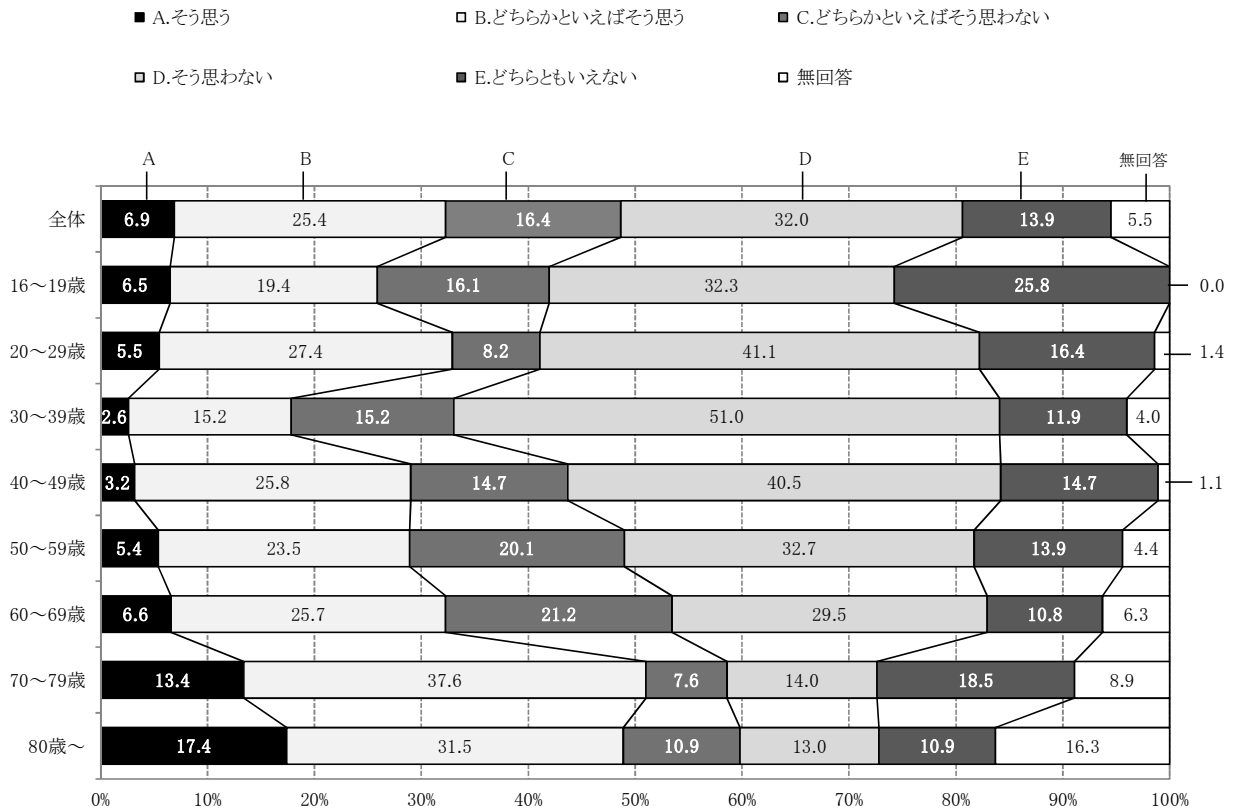
〔図 39-1〕 問 39-① 身元調査について—子どもが結婚するとき と 性別 の関係



性別でみると〔図 39-1〕、「A. と思う」、「B. どちらかといえば思う」を合わせると、男女ともに3割以上となっている(男性 35.8%、女性 30.1%)。

また、「D. そう思わない」、「C. どちらかといえばそう思わない」を合わせると、男女ともにほぼ5割となっている(男性 47.1%、女性 49.1%)。

〔図 39-2〕 問 39-① 身元調査について—子どもが結婚するとき と 年齢 の関係



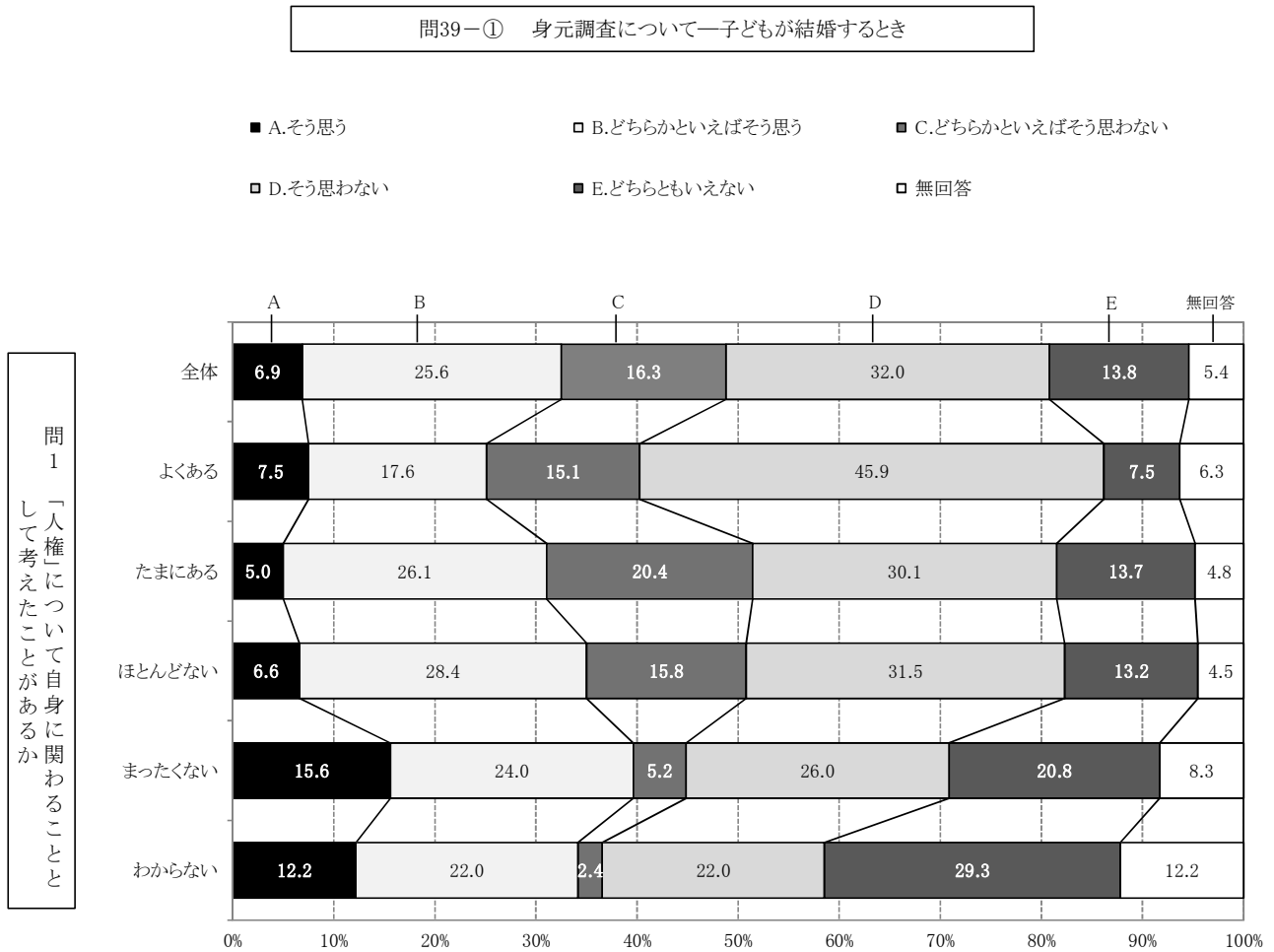
年齢別で見ると〔図 39-2〕、「A. 思う」、「B. どちらかといえば思う」を合わせると、30 歳代が 17.8%と最も低く、70 歳代が 51.0%と最も高くなっている。

また、「D. そう思わない」、「C. どちらかといえば思う」を合わせると、30 歳代が 66.2%と最も高く、70 歳代が 21.6%と最も低くなっている。

【他の設問との関係】

〔図 39-3〕 問 39-① 身元調査について一子どもが結婚するとき と

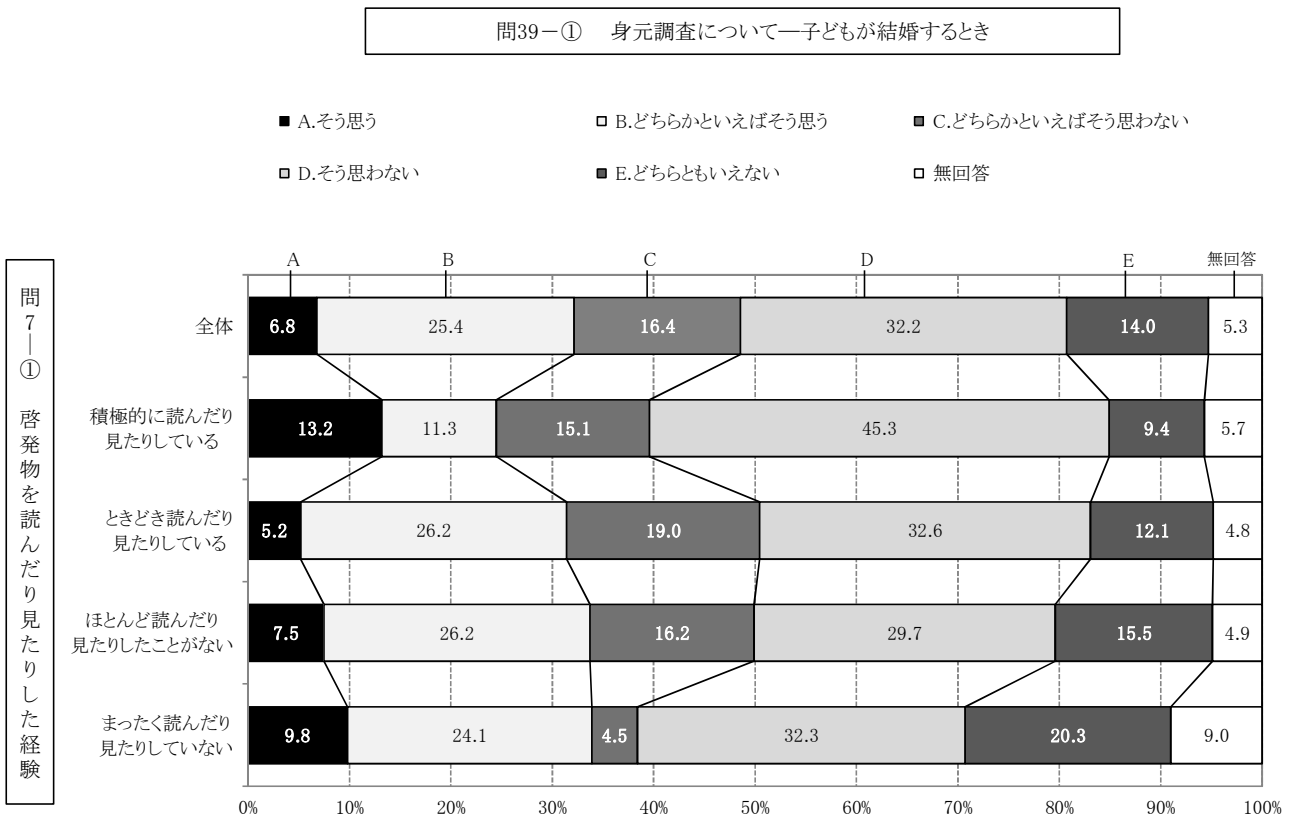
問 1 「人権」について自身に関わることとして考えたことがあるか の関係



問 1(「人権」について自身に関わることとして考えたことがあるか)との関係では〔図 39-3〕、自身に関わることとして考えたことがある人ほど、身元調査を行うことに否定的な意見(「C.どちらかといえばそう思わない」、「D.そう思わない」)が多くなっている。

〔図 39-4〕 問 39-① 身元調査について—子どもが結婚するとき と

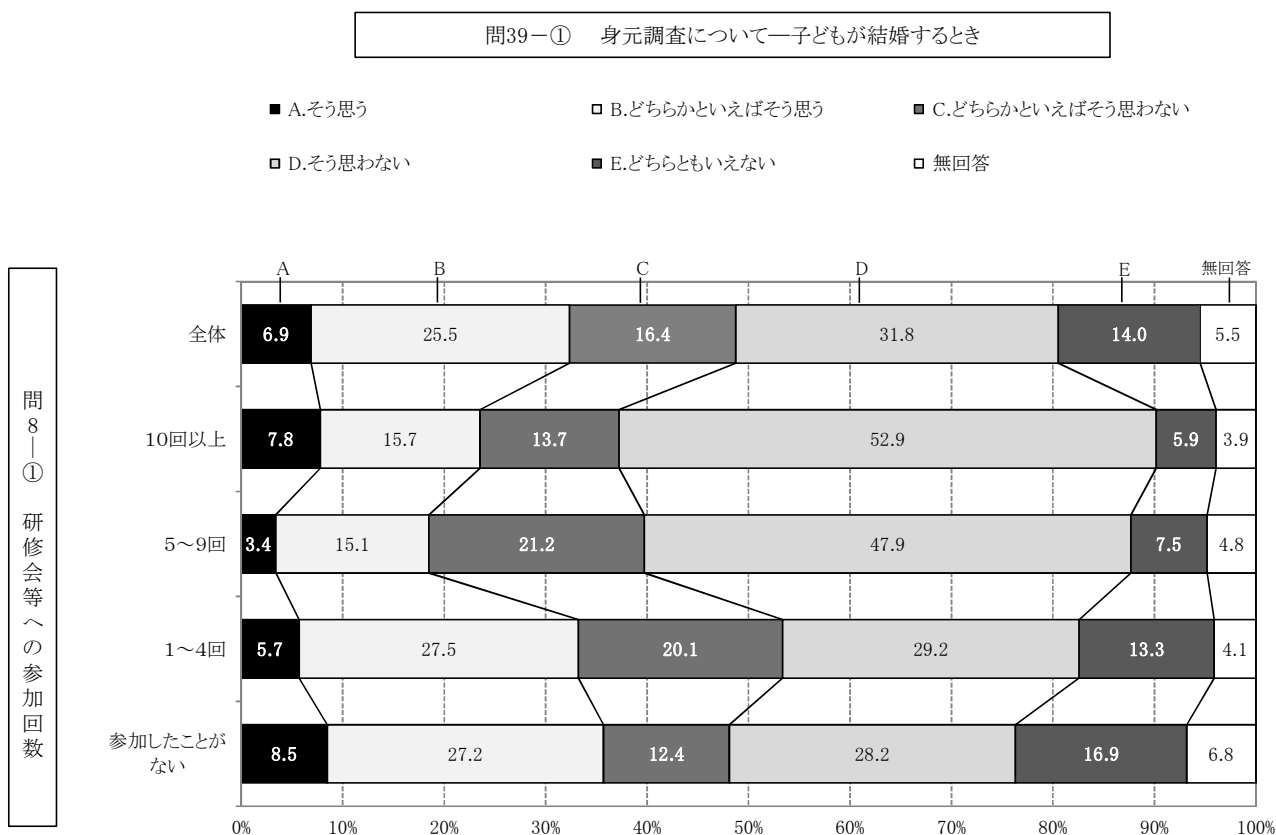
問 7-① 啓発物を読んだり見たりした経験 の関係



問 7-①(啓発物を読んだり見たりした経験)との関係では〔図 39-4〕、啓発物を積極的に読んだり見たりした経験がある人ほど、身元調査を行うことに否定的な意見(「C.どちらかといえばそう思わない」、「D.そう思わない」)が多くなっている。

〔図 39-5〕 問 39-① 身元調査について一子どもが結婚するとき と

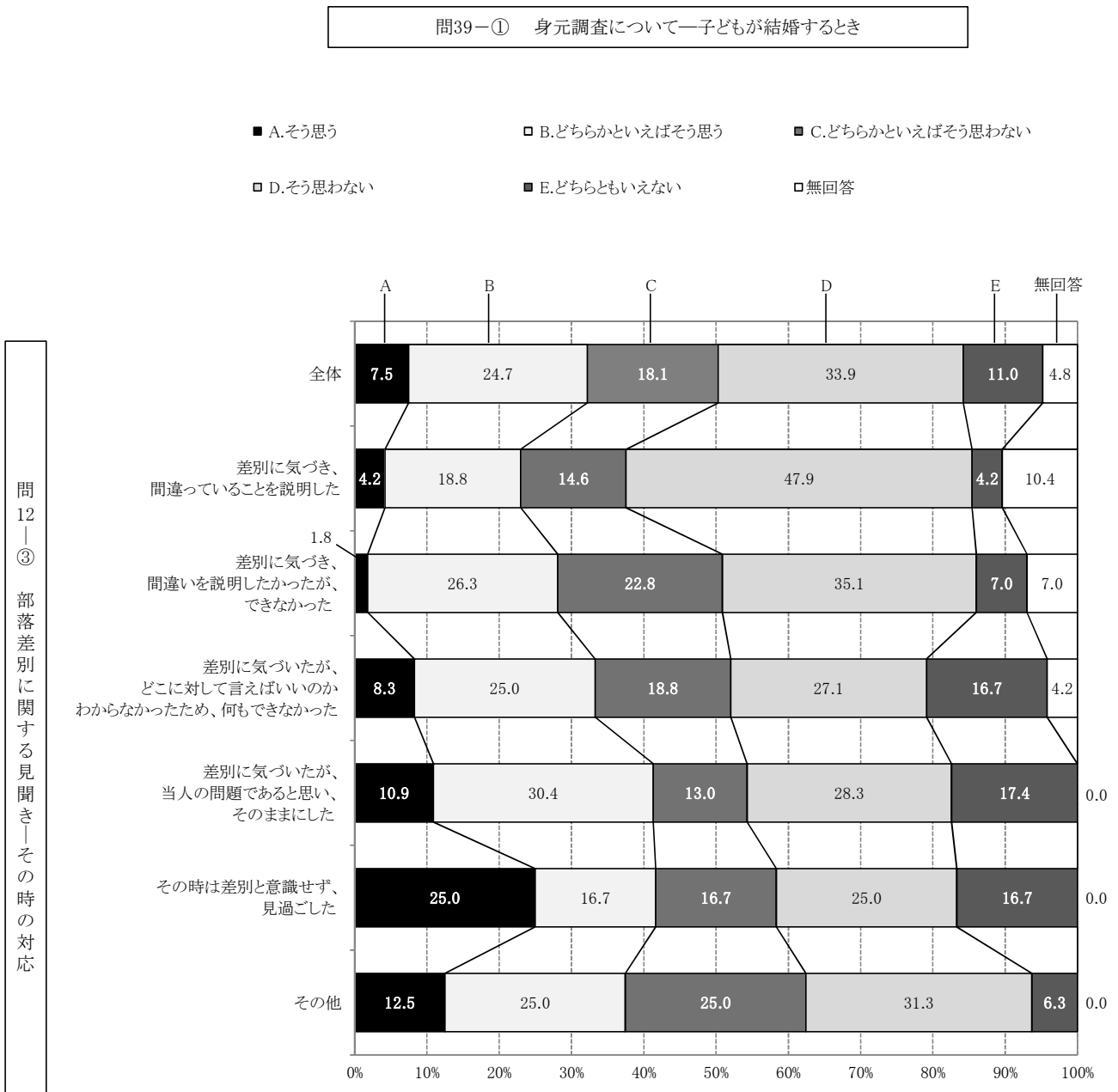
問 8-① 研修会等への参加回数 の関係



問 8-①(研修会等への参加回数)との関係では〔図 39-5〕、研修会等への参加回数が 5 回以上の人では、約半数が、身元調査を行うことについて「D.そう思わない」と回答しているのに対し、参加回数が 4 回以下の人では、「D.そう思わない」と回答したのは 3 割弱となっている。

〔図 39-6〕 問 39-① 身元調査について—子どもが結婚するとき と

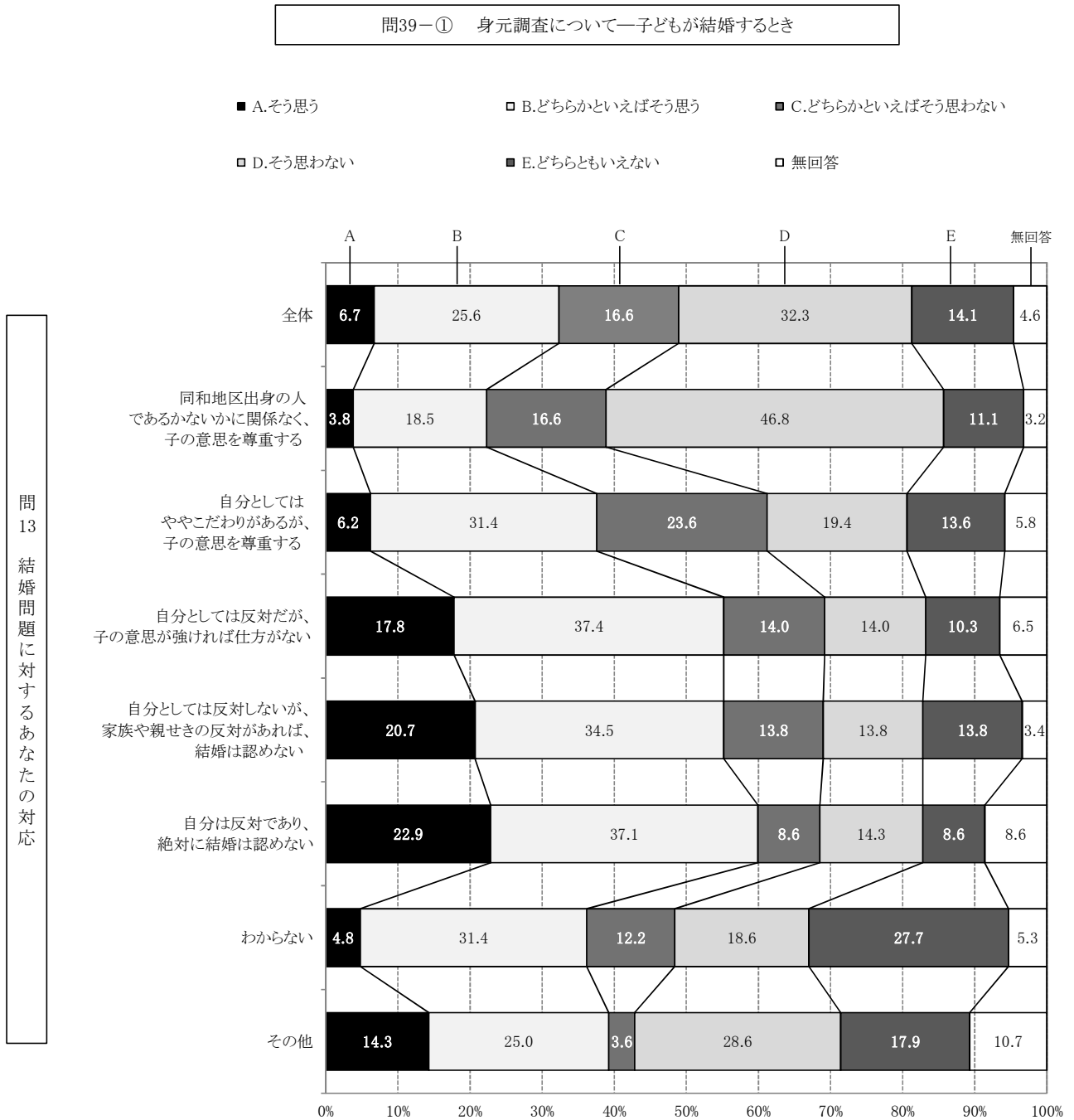
問 12-③ 部落差別に関する見聞き—その時の対応 の関係



問 12-③(部落差別に関する見聞き—その時の対応)との関係では〔図 39-6〕、「差別に気づき、間違っていることを説明した」人では、身元調査を行うことについて「D. そう思わない」と回答した人が、47.9%と高い割合となっている。

〔図 39-7〕 問 39-① 身元調査について—子どもが結婚するとき と

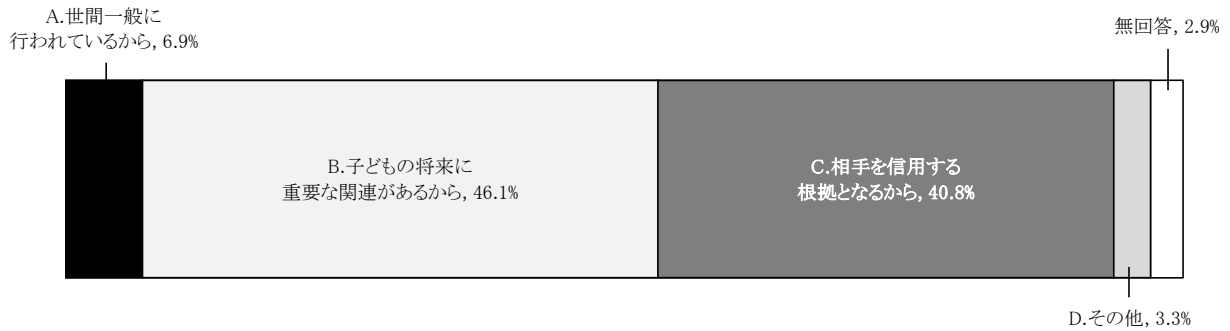
問 13 結婚問題に対するあなたの対応 の関係



問 13(結婚問題に対するあなたの対応)との関係でみると〔図 39-7〕、「同和地区出身の人であるかないかに関係なく、子の意思を尊重する」と回答した人では、身元調査に否定的な意見(「C.どちらかといえばそう思わない」、「D.そう思わない」)が63.4%と高くなっている。

問 39-② (身元調査の肯定理由—子どもが結婚するとき)

問 39-①で「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」を選択された方におたずねします。その理由について、あなたの考えに近いものはどれですか。(〇は1つだけ)

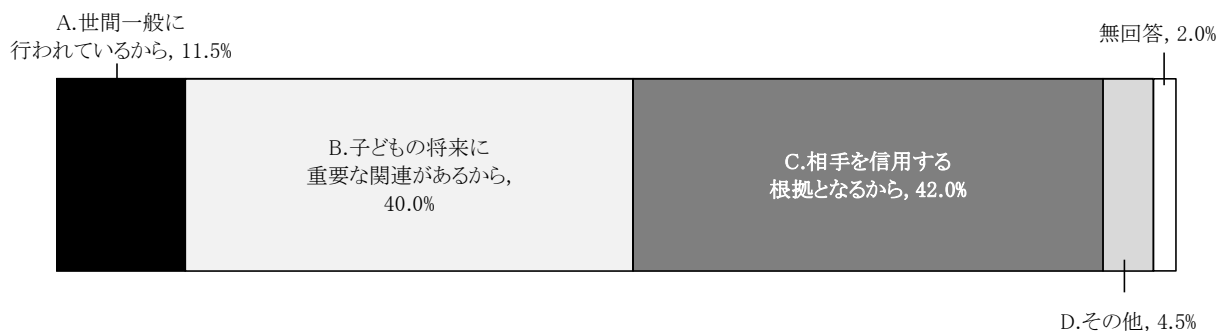


■身元調査を行うことはやむを得ないと思うかについて「A.そう思う」または「B.どちらかといえばそう思う」と回答した理由は、「B.子どもの将来に重要な関連があるから」が 46.1%、「C.相手を信用する根拠となるから」が 40.8%、「A.世間一般に行われているから」が 6.9%となっている。

【参考】 ※設問文、選択肢の文言の一部が前回に比べて異なっているため、参考としてご参照ください。

前回調査(H23 鳥取県人権意識調査)

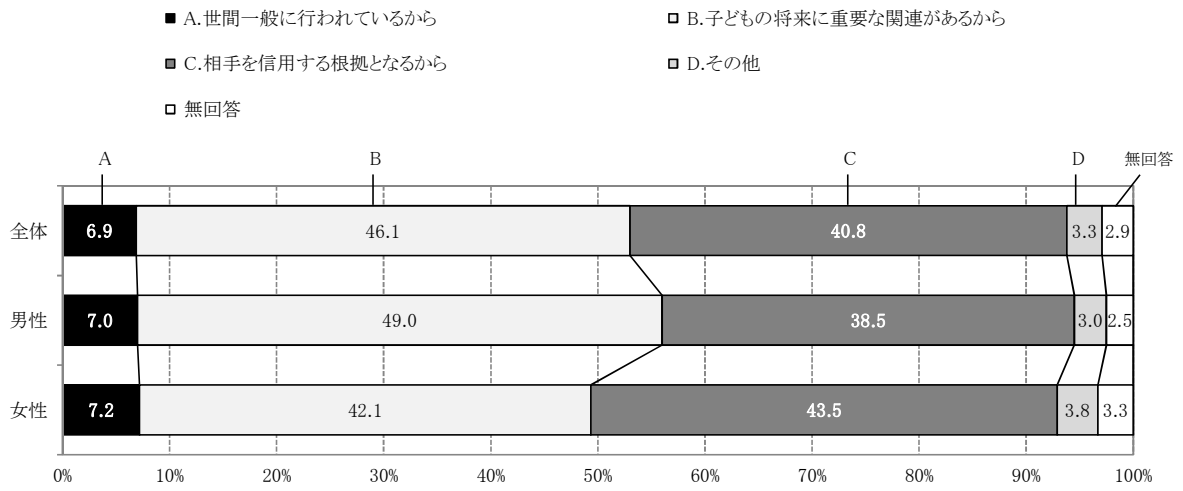
問 32-② 問 32-①で「そう思う」又は「どちらかといえばそう思う」と答えた方におたずねします。その理由について、あなたの考えに近いものはどれですか。(〇は1つだけ)



問32-①で「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した理由について、「A.世間一般に行われているから」が 11.5%、「B.子どもの将来に重要な関連があるから」が 40.0%、「C.相手を信用する根拠となるから」が 42.0%となっている。

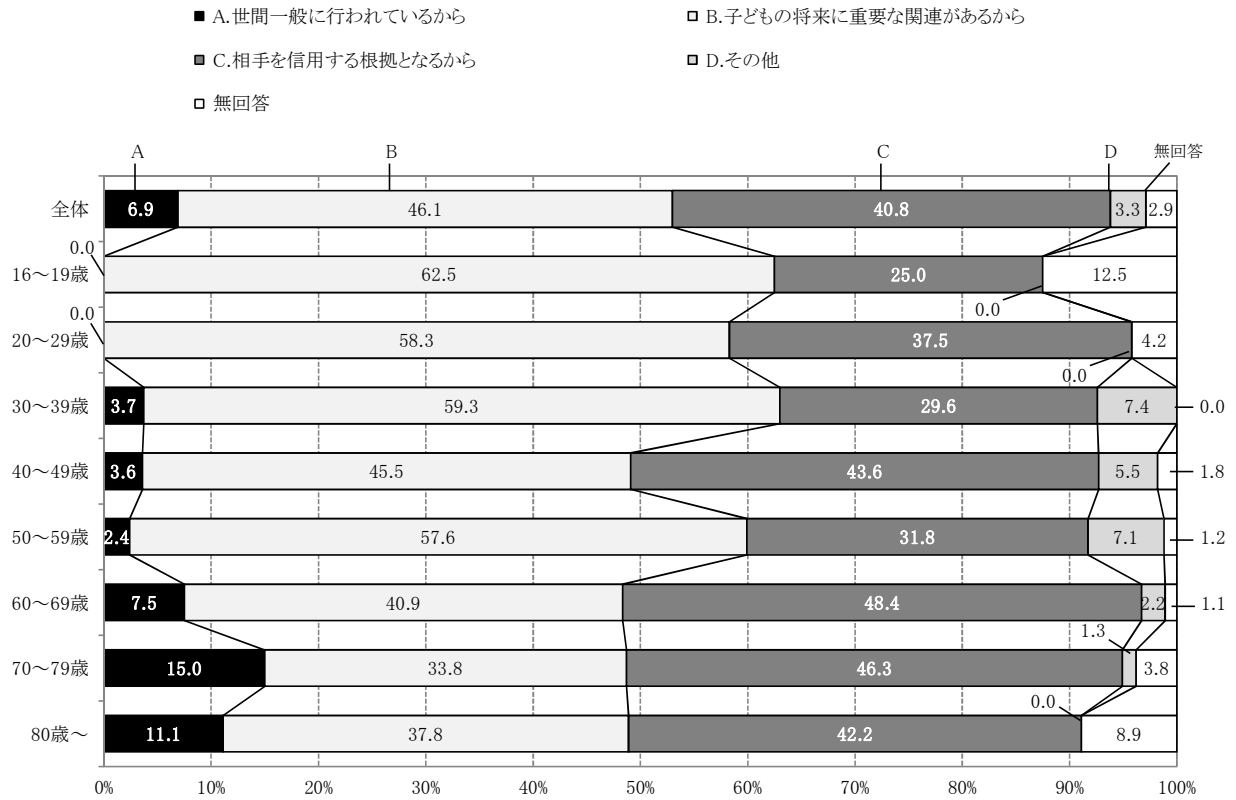
【性別・年齢との関係】

〔図 39-8〕 問 39-② 身元調査の肯定理由—子どもが結婚するとき と 性別 の関係



性別で見ると〔図 39-8〕、男性では「B.子どもの将来に重要な関連があるから」(49.0%)が最も高く、女性では「C.相手を信用する根拠となるから」(43.5%)が最も高い。

〔図 39-9〕 問 39-② 身元調査の肯定理由—子どもが結婚するとき と 年齢 の関係

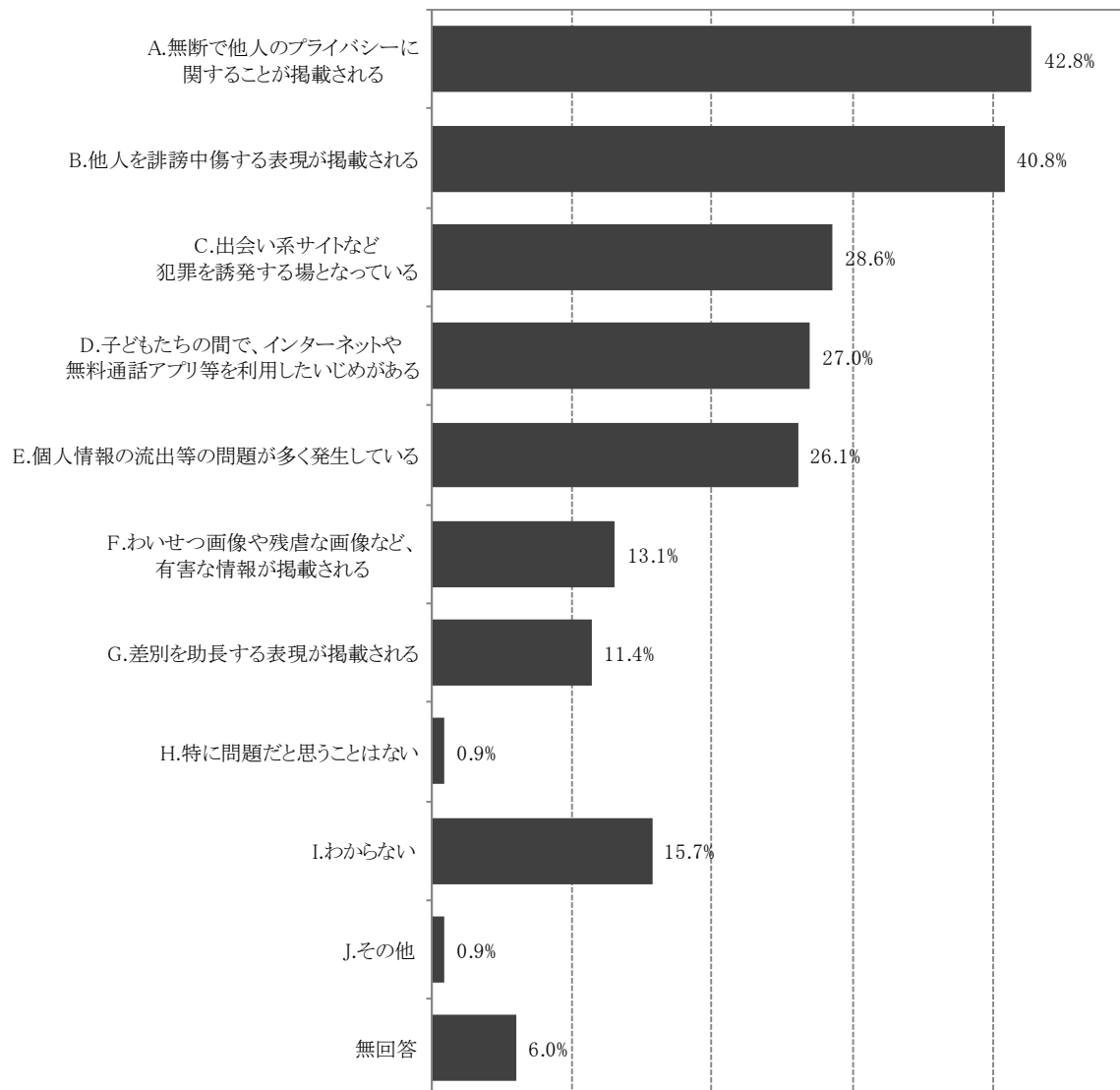


年齢別で見ると〔図 39-9〕、50 歳代以下では「B.子どもの将来に重要な関連があるから」が最も高く、60 歳代以上では「C.相手を信用する根拠となるから」が最も高い。

また、70 歳代、80 歳以上では「A.世間一般に行われているから」が他の年代より高い。

問 40 (インターネット上における人権に関する問題)

インターネット上における人権に関することで、あなたが特に問題があると思われるのはどのようなことですか。(〇は3つ以内)

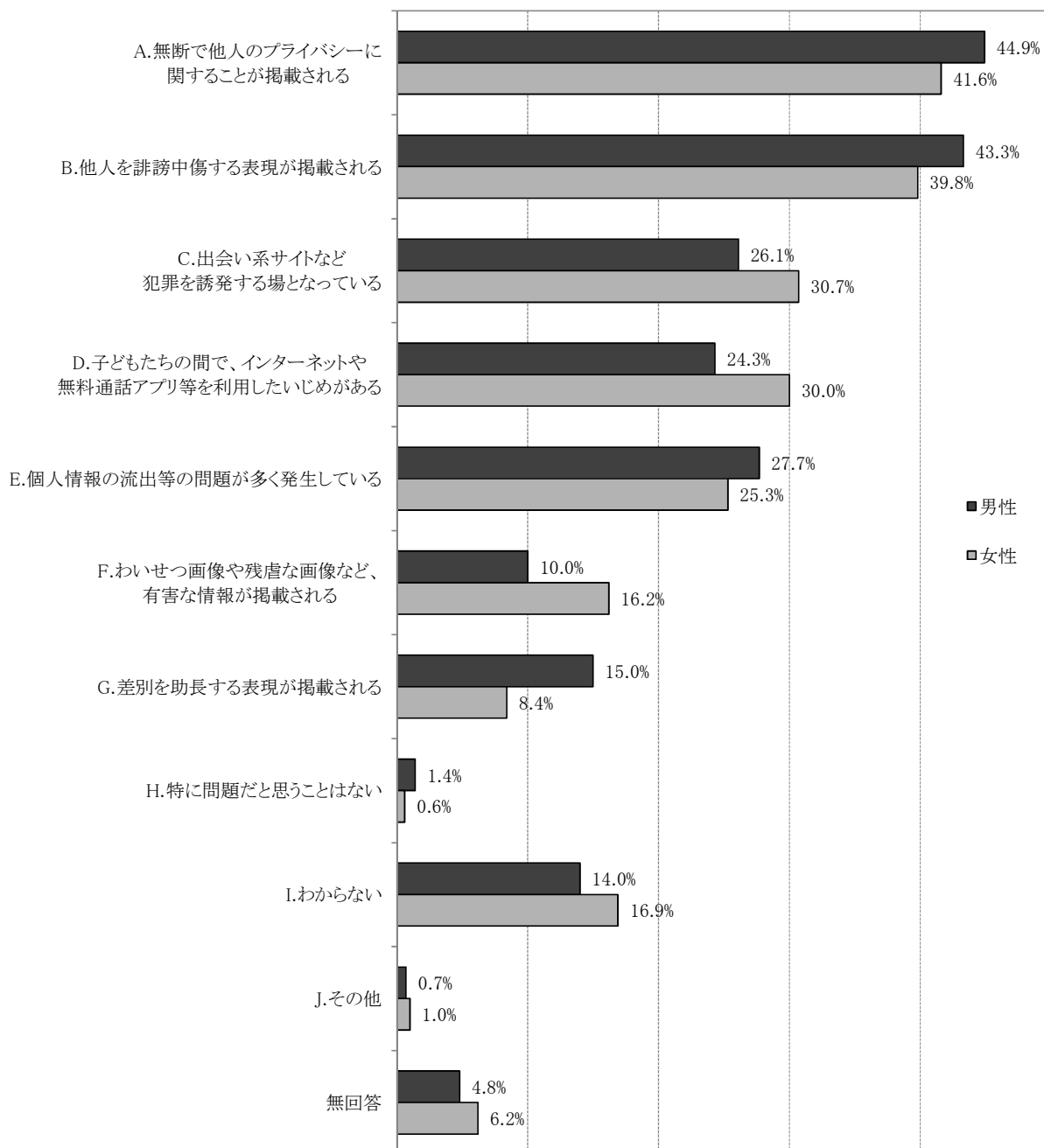


■インターネット上における人権に関することで問題があると思うことは、「A.無断で他人のプライバシーに関することが掲載される」(42.8%)が最も高く、次いで、「B.他人を誹謗中傷する表現が掲載される」(40.8%)となっている。さらに、「C.出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっている」(28.6%)、「D.子どもたちの間で、インターネットや無料通話アプリ等を利用したいじめがある」(27.0%)、「E.個人情報の流出等の問題が多く発生している」(26.1%)と続いている。

※前回調査なし

【性別・年齢との関係】

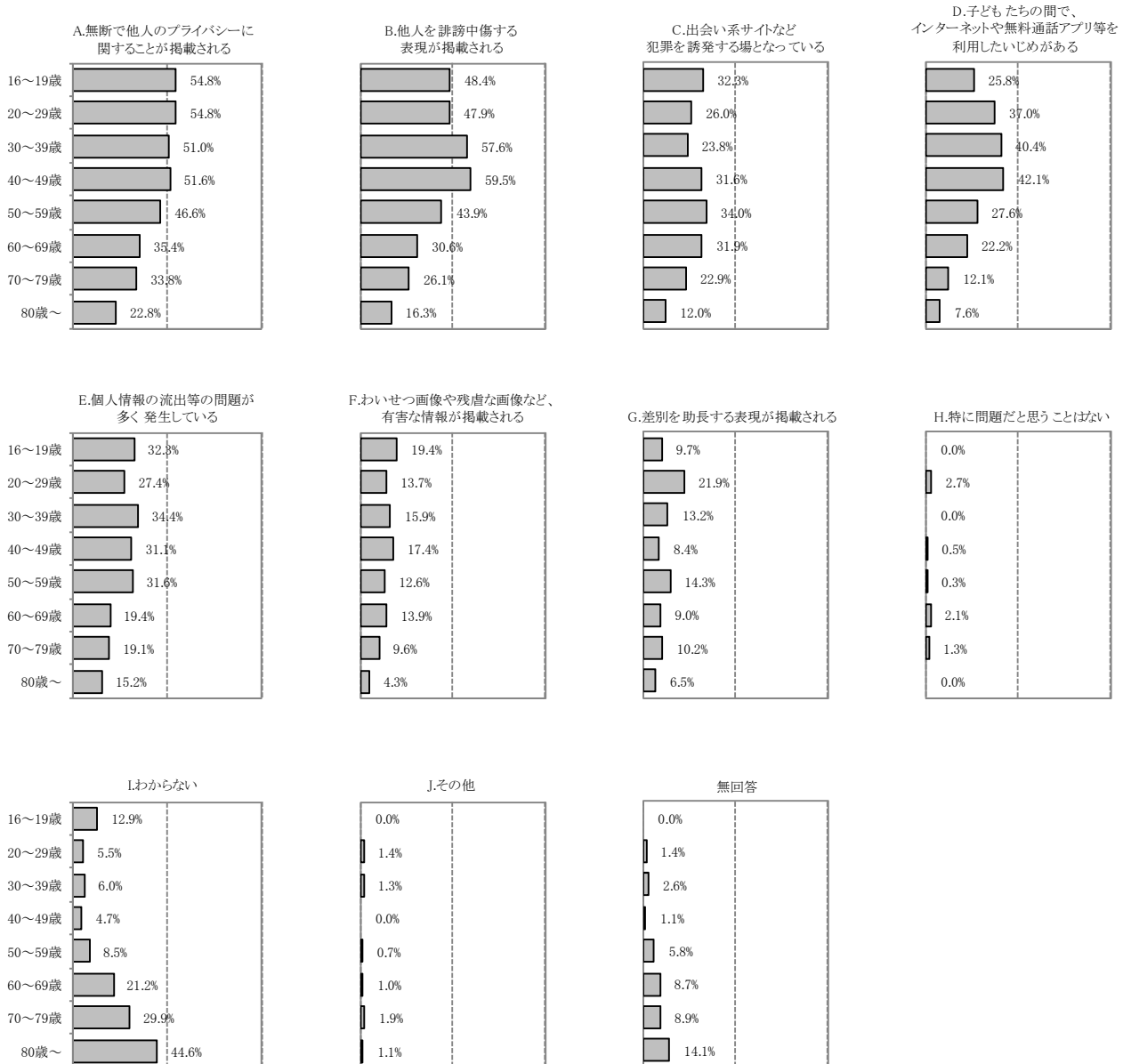
〔図 40-1〕 問 40 インターネット上における人権に関する問題 と 性別 の関係



性別でみると〔図 40-1〕、「G.差別を助長する表現が掲載される」では、男性の方が大幅に高くなっている。

「C. 出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっている」、「D. 子どもたちの間で、インターネットや無料通話アプリ等を利用したいじめがある」、「F.わいせつ画像や残虐な画像など、有害な情報が掲載される」では、女性の方が大幅に高くなっている。

〔図 40-2〕 問 40 インターネット上における人権に関する問題 と 年齢 の関係



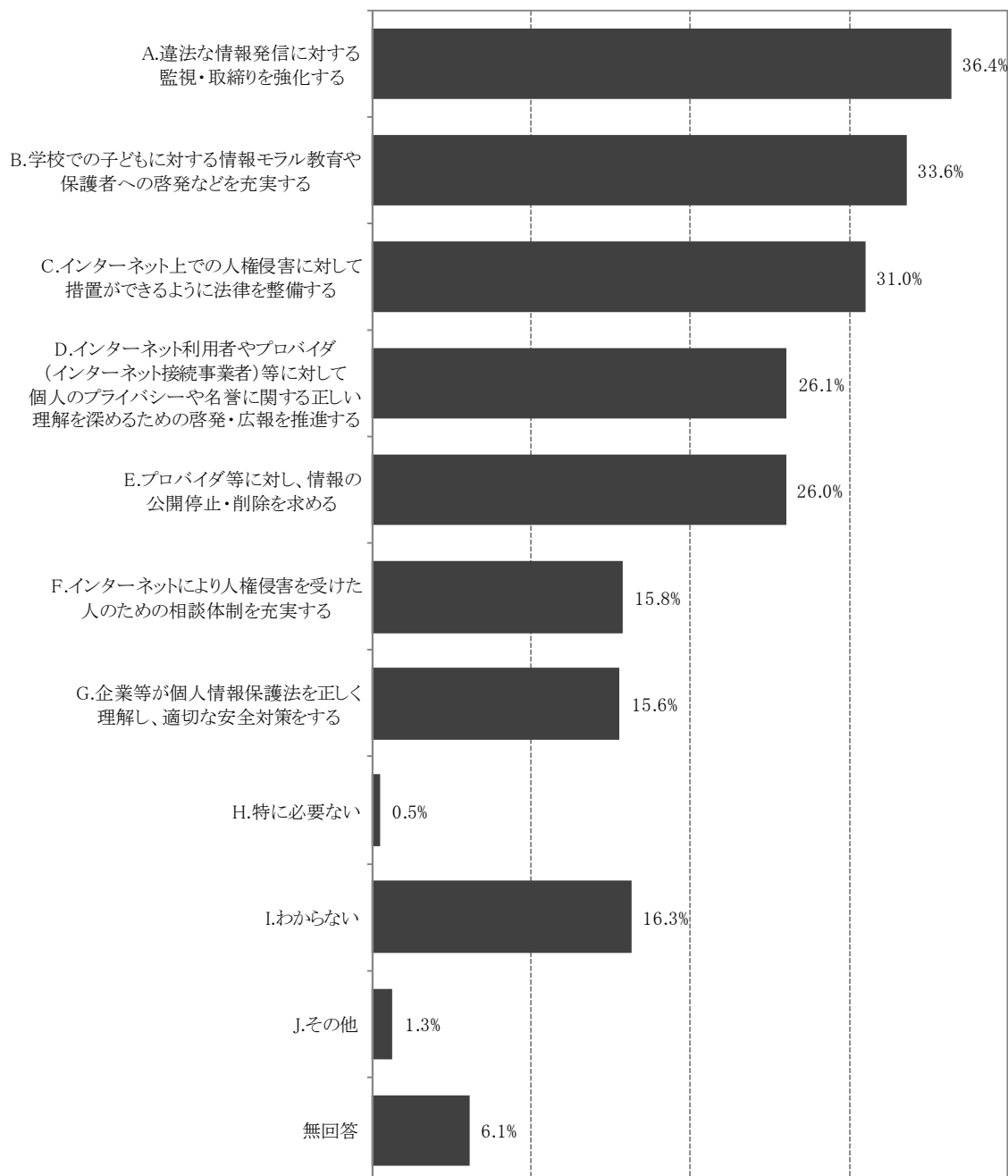
年齢別で見ると〔図 40-2〕、16～19 歳、20 歳代、50 歳代、60 歳代、70 歳代では、「A.無断で他人のプライバシーに関することが掲載される」が最も高い。

30 歳代(57.6%)、40 歳代(59.5%)では、「B.他人を誹謗中傷する表現が掲載される」が最も高くなっている。同時に「D.子どもたちの間で、インターネットや無料通話アプリ等を利用したいじめがある」(30 歳代 40.4%、40 歳代 42.1%)も他の年代よりも高くなっている。

「I.わからない」は年代が上がるほど高い傾向にあり、80 歳代では 4 割を超えている。

問 41 (インターネット上の人権侵害を解決するために必要な取組み)

あなたは、インターネット上の人権侵害を解決するためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つ以内)

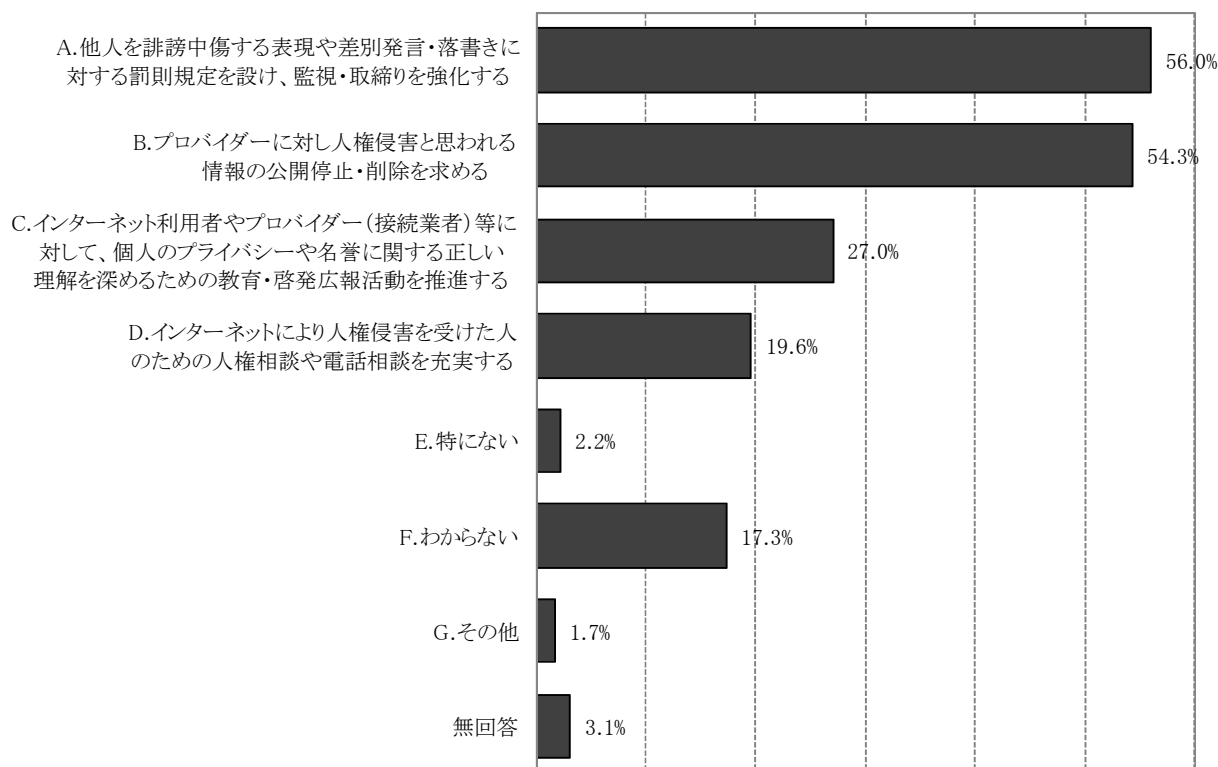


■インターネット上の人権侵害の解決するために必要と思う取組は、「A.違法な情報発信に対する監視・取締りを強化する」(36.4%)が最も高く、次いで、「B.学校での子どもに対する情報モラル教育や保護者への啓発などを充実する」(33.6%)、「C.インターネット上での人権侵害に対して措置ができるように法律を整備する」(31.0%)となっている。

【参考】 ※設問文、選択肢の文言の一部が前回に比べて異なっているため、参考としてご参照ください。

前回調査(H23 鳥取県人権意識調査)

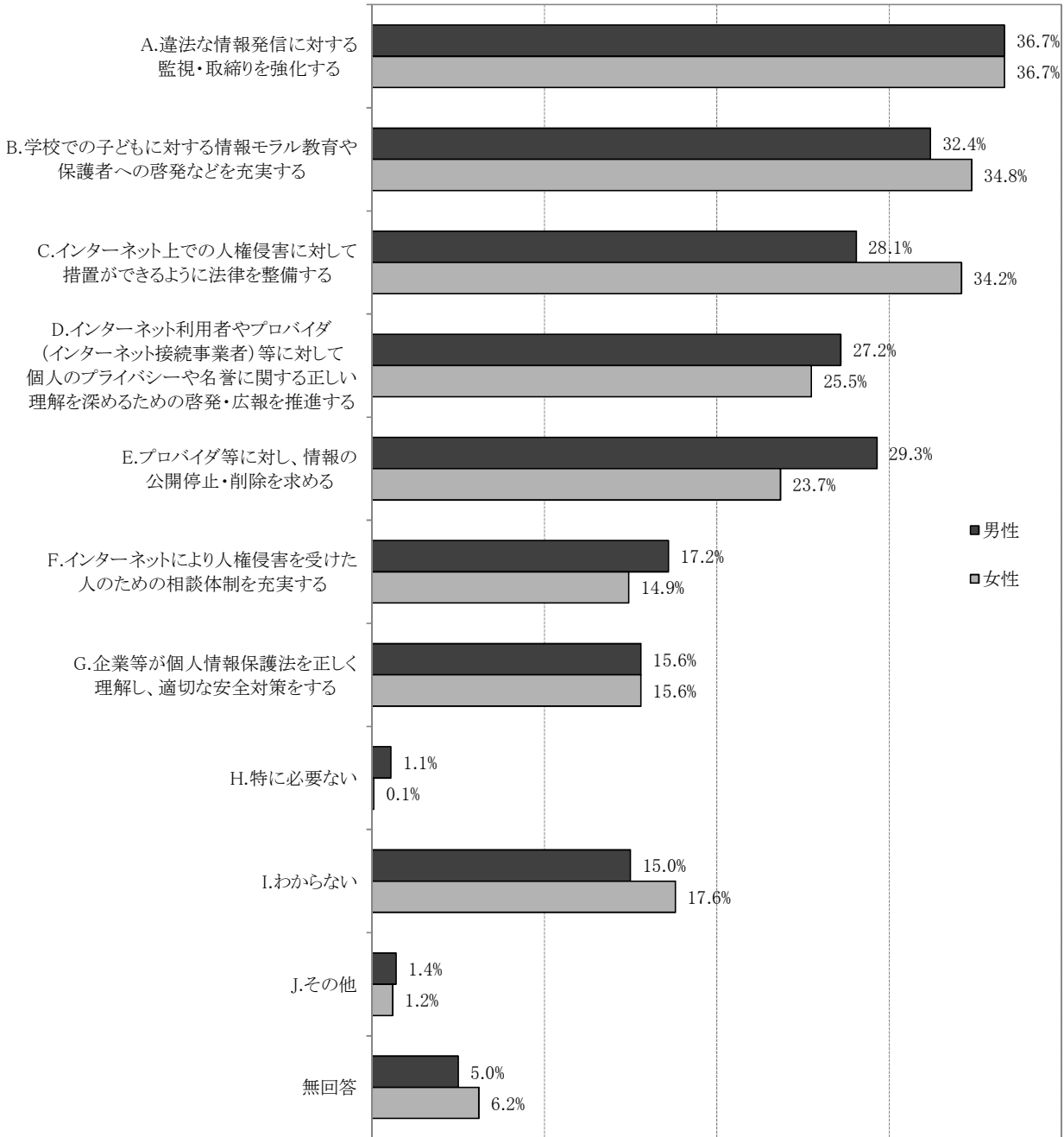
問 33 あなたは、インターネットによる人権侵害を解決するためにどのようなことが必要だと思いますか。次の中からあなたの考えに近いものをお答えください。(○は3つ以内)



インターネットによる人権侵害を解決するために必要と思うものは、「A.他人を誹謗中傷する表現や差別発言・落書きに対する罰則規定を設け、監視・取締りを強化する」(56.0%)、「B.プロバイダーに対し人権侵害と思われる情報の公開停止・削除を求める」(54.3%)が高くなっている。

【性別・年齢との関係】

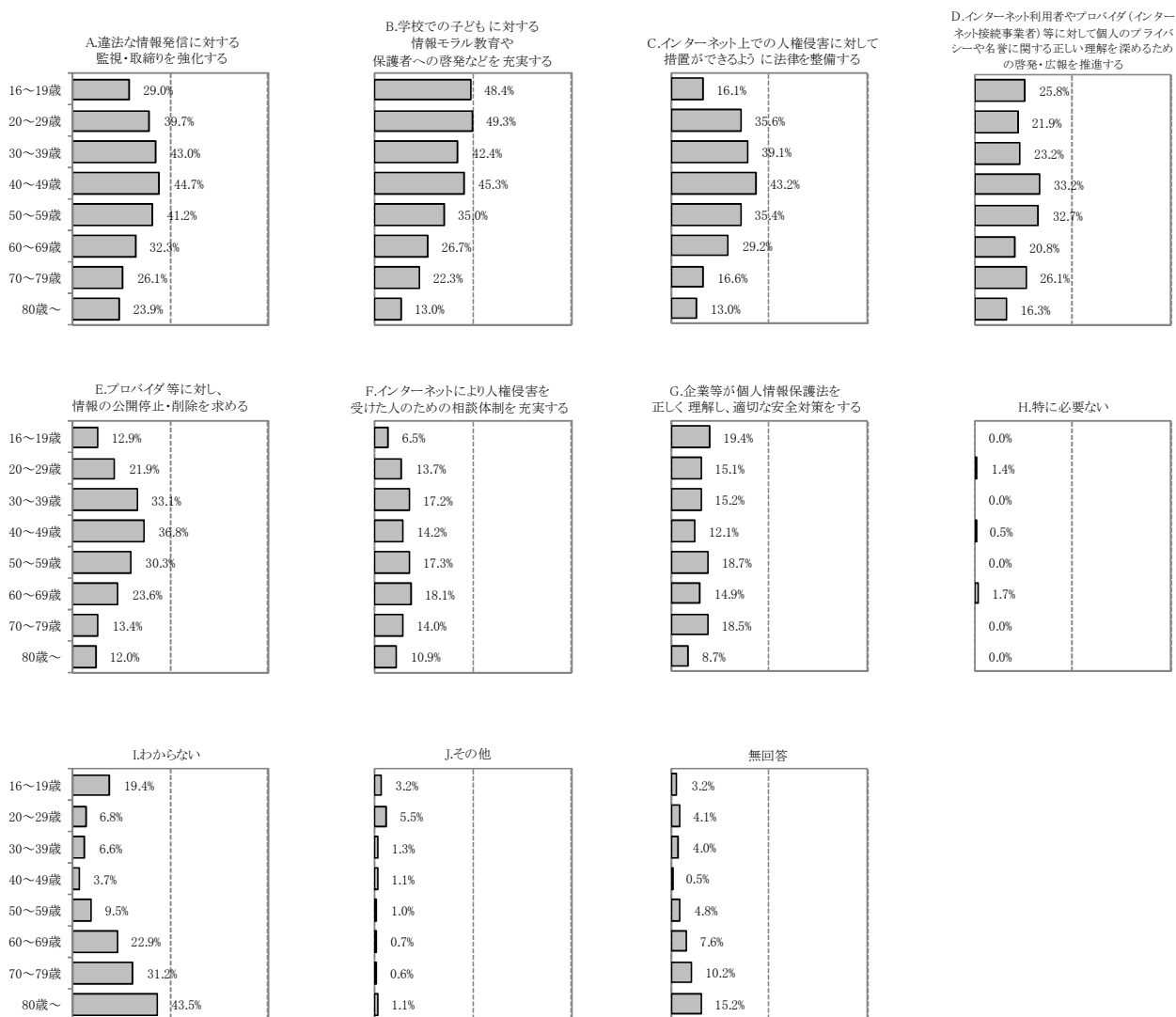
〔図 41-1〕 問 41 インターネット上の人権侵害を解決するために必要な取組み と 性別 の関係



性別でみると〔図 41-1〕、「E. プロバイダ等に対し、情報の公開停止・削除を求める」では、男性の方が大幅に高くなっている。

「C. インターネット上での人権侵害に対して措置ができるように法律を整備する」では、女性の方が大幅に高くなっている。

〔図 41-2〕 問 41 インターネット上の人権侵害を解決するために必要な取組み と 年齢 の関係



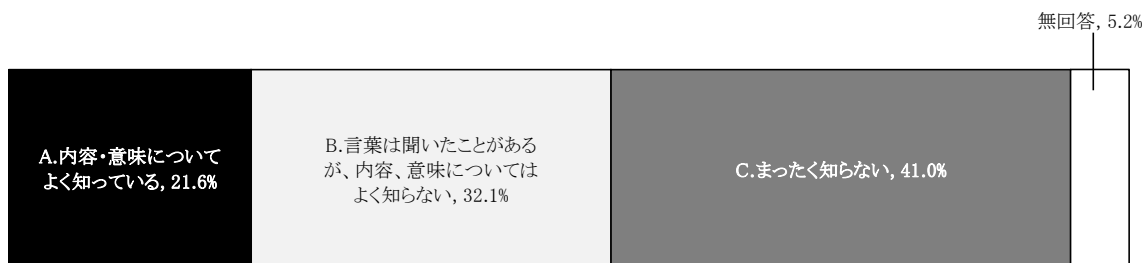
年齢別でみると〔図 41-2〕、16～19 歳(48.4%)、20 歳代(49.3%)、40 歳代(45.3%)では、「B.学校での子どもに対する情報モラル教育や保護者への啓発などを充実する」が最も高くなっている。

30 歳代(43.0%)、50 歳代(41.2%)、60 歳代(32.3%)では、「A.違法な情報発信に対する監視・取締りを強化する」が最も高くなっている。

70 歳代(31.2%)、80 歳以上(43.5%)では、「I.わからない」が最も高くなっている。

問 42 (ユニバーサルデザインの認知度)

あなたは「ユニバーサルデザイン(※)」について知っていますか。(○は1つだけ)

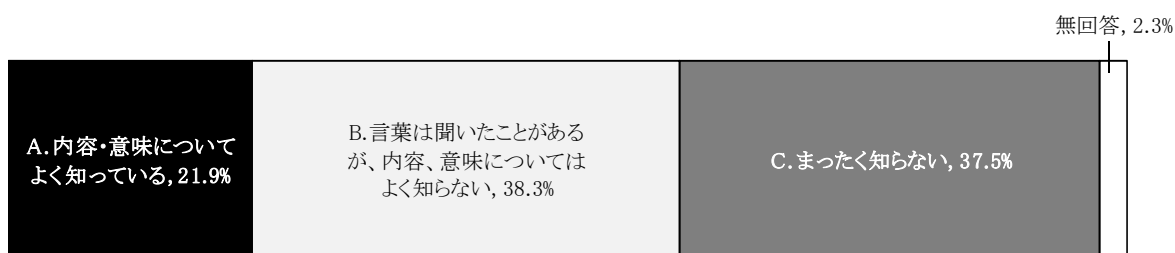


■ユニバーサルデザインについて、「A.内容・意味についてよく知っている」は 21.6%、「B.言葉は聞いたことがあるが、内容、意味についてはよく知らない」は 32.1%、「C.まったく知らない」は 41.0%だった。

【参 考】 ※設問文、選択肢の文言の一部が前回に比べて異なっているため、参考としてご参照ください。

前回調査(H23 鳥取県人権意識調査)

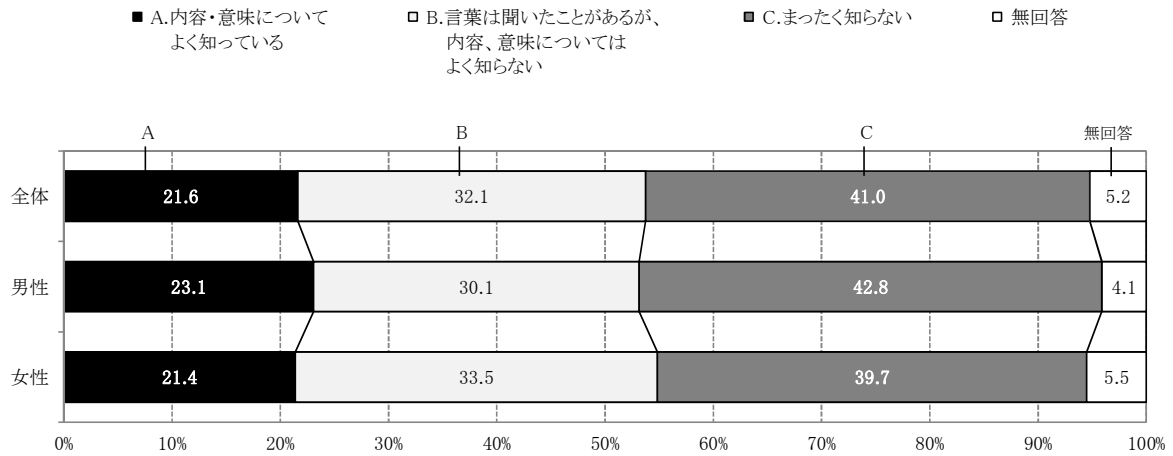
問 34 あなたは「ユニバーサルデザイン」について知っていますか。(○は1つだけ)



ユニバーサルデザインについて、「A.内容・意味についてよく知っている」は 21.9%。また「B.言葉は聞いたことはあるが、内容、意味についてはよく知らない」は 38.3%。「C.まったく知らない」は 37.5%だった。

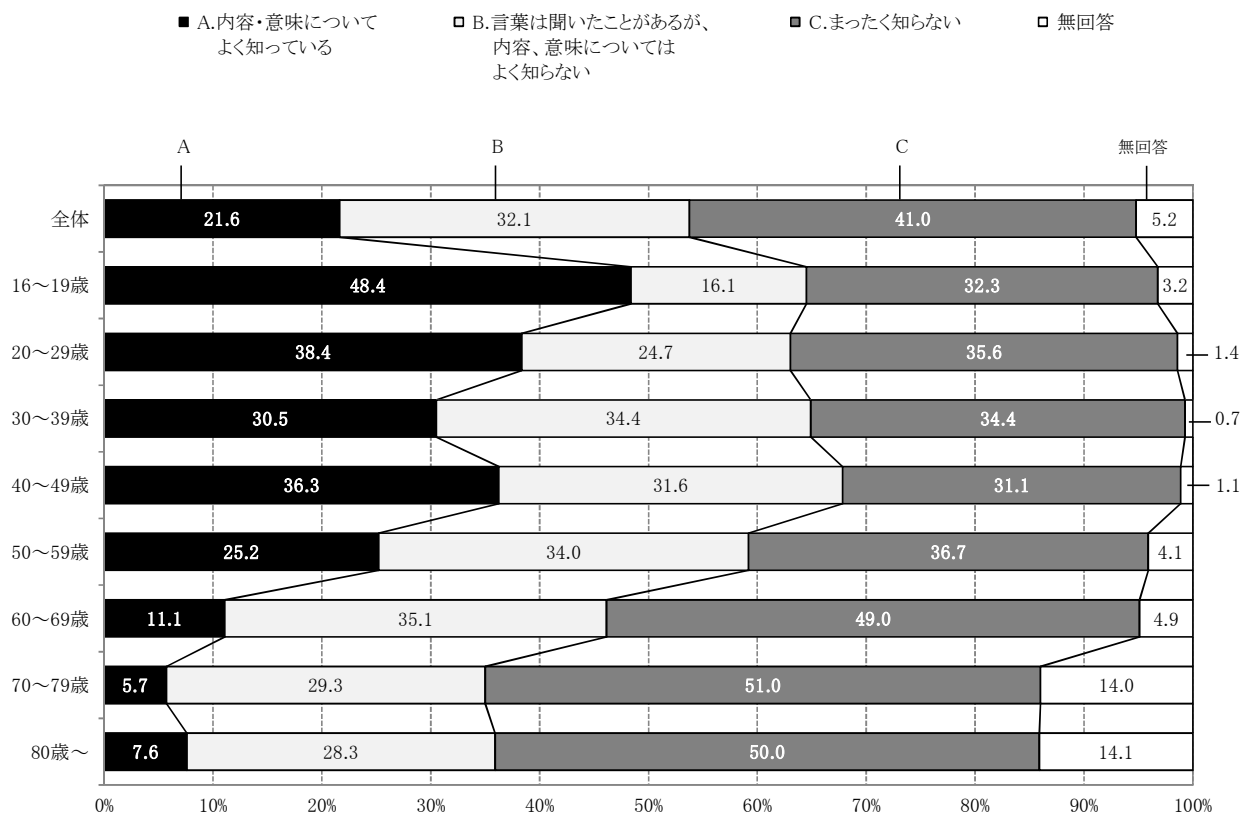
【性別・年齢との関係】

〔図 42-1〕 問 42 ユニバーサルデザインの認知度 と 性別 の関係



性別でみると〔図 42-1〕、男女ともに「C.まったく知らない」(男性 42.8%、女性 39.7%)が最も高くなっている。男女であまり差はない。

〔図 42-2〕 問 42 ユニバーサルデザインの認知度 と 年齢 の関係



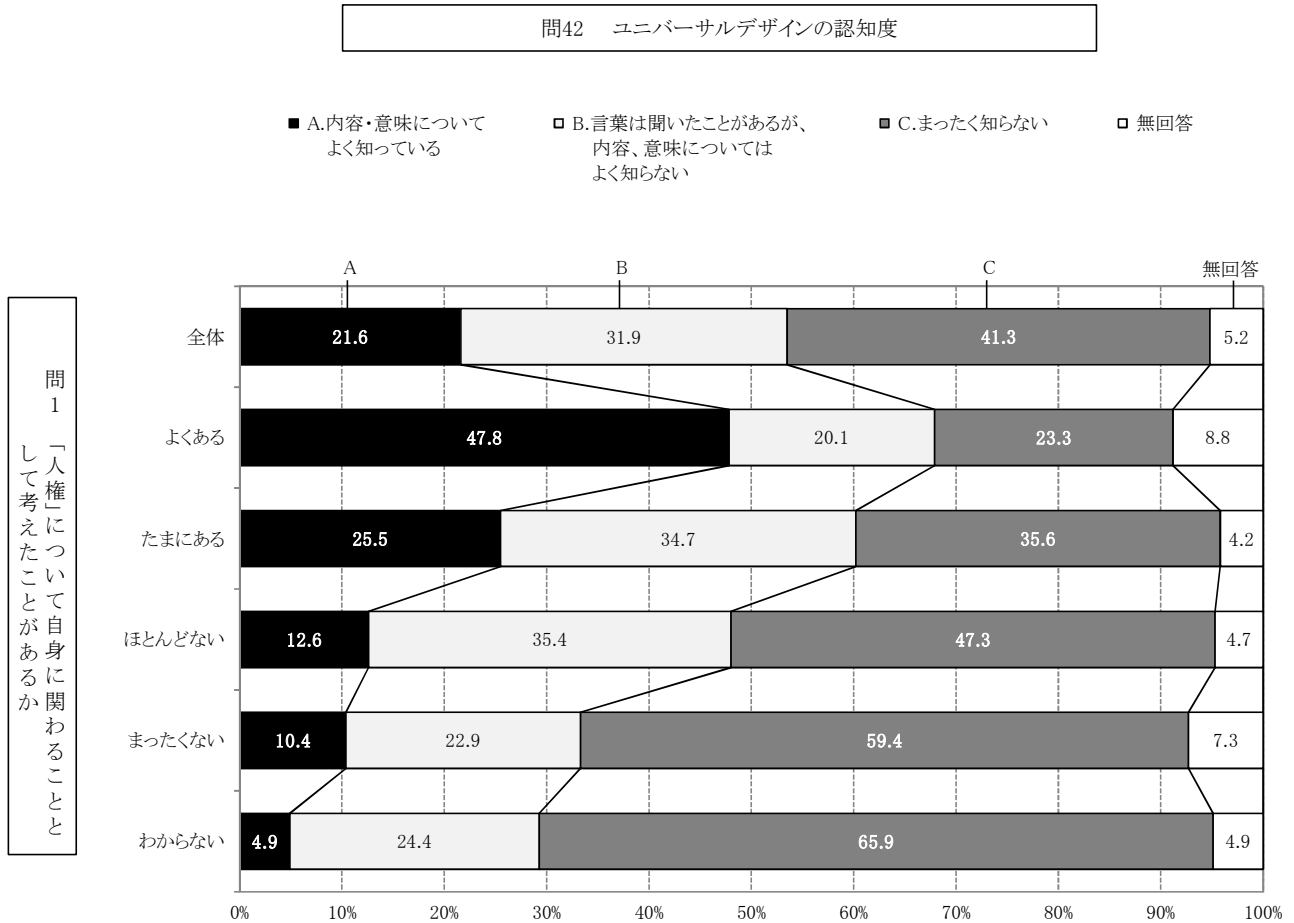
年齢別で見ると〔図 42-2〕、40 歳代以下の 3 割以上が、「A.内容・意味についてよく知っている」と回答している。

60 歳以上のほぼ半数が、「C.まったく知らない」と回答している。

【他の設問との関係】

〔図 42-3〕 問 42 ユニバーサルデザインの認知度 と

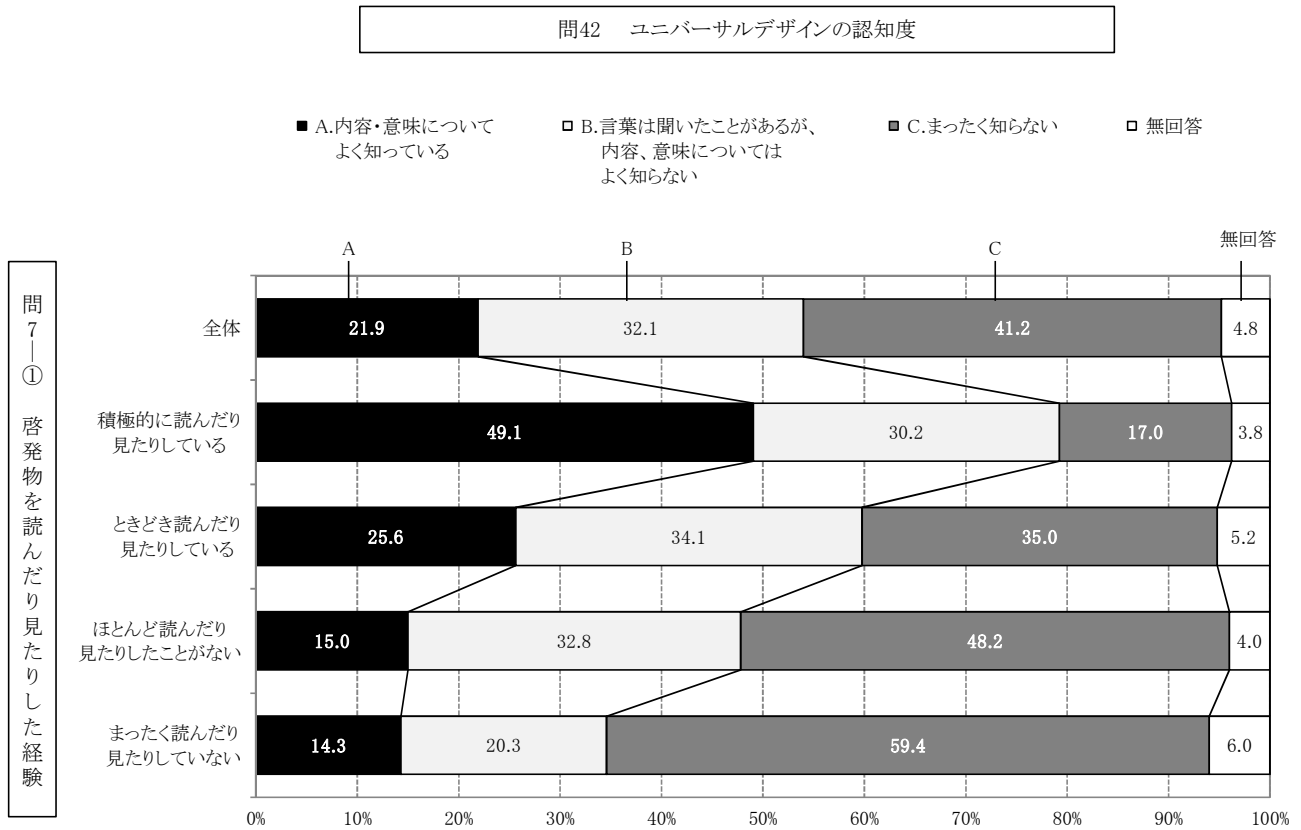
問 1 「人権」について自身に関わることとして考えたことがあるか の関係



問 1(「人権」について自身に関わることとして考えたことがあるか)との関係でみると〔図 42-3〕、「人権」について自身に関わることとして考えたことがある人ほど、ユニバーサルデザインの認知度は高くなっている。

〔図 42-4〕 問 42 ユニバーサルデザインの認知度 と

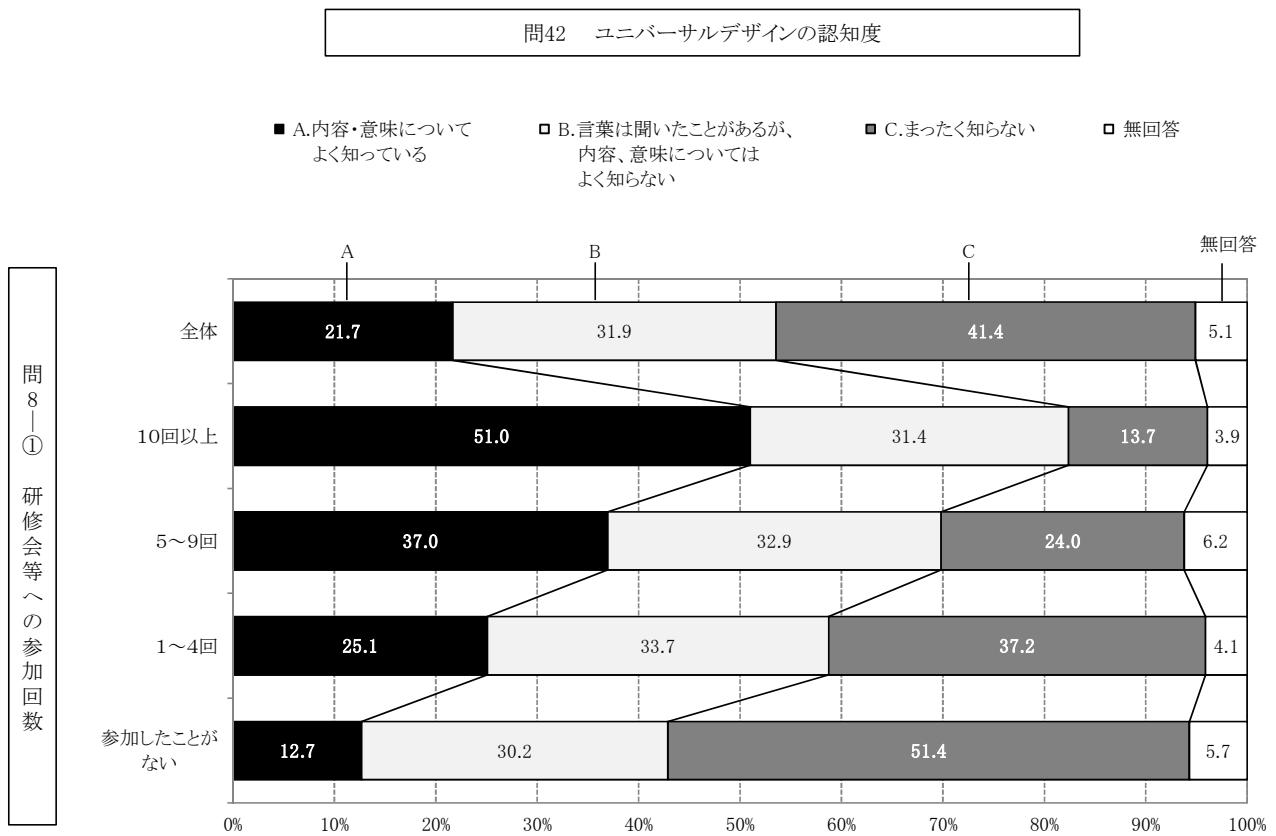
問 7-① 啓発物を読んだり見たりした経験 の関係



問 7-①(啓発物を読んだり見たりした経験)との関係でみると〔図 42-4〕、啓発物を読んだり見たりした経験の多い人ほど、ユニバーサルデザインの認知度は高くなっている。

〔表 42-5〕 問 42 ユニバーサルデザインの認知度 と

問 8-① 研修会等への参加回数 の関係

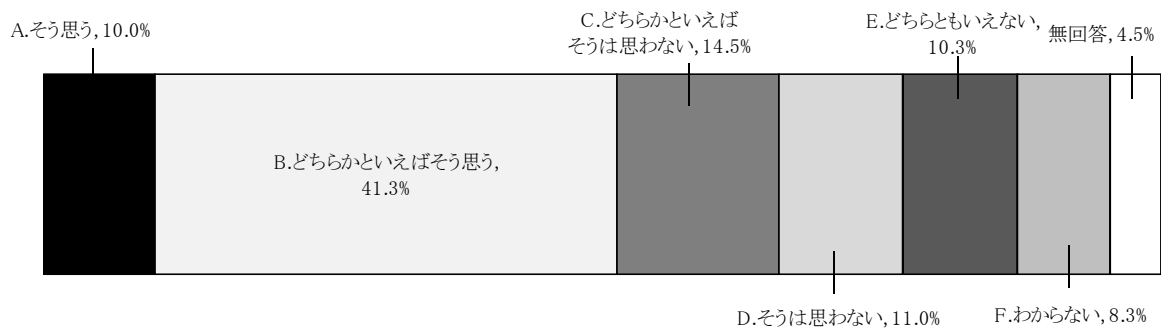


問 8-①(研修会等への参加回数)との関係でみると〔図 42-5〕、研修会等への参加回数の多い人ほど、ユニバーサルデザインの認知度は高くなっている。

問 43 (あなたの身近で一人ひとりの人権は守られていると思うか)

あなたの、職場、学校、家庭、地域などにおいて、一人ひとりの人権が守られていると思いますか。

(○は1つだけ)



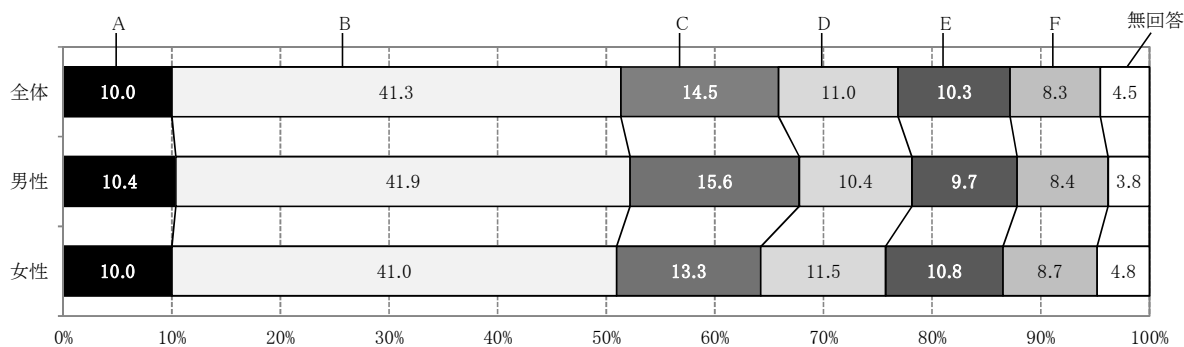
■自身の職場、学校、家庭、地域などで一人ひとりの人権が守られているかどうかについて、「A. そう思う」、「B. どちらかといえばそう思う」を合わせると 51.3%、「C. どちらかといえばそうは思わない」、「D. そうは思わない」を合わせると 25.5%であった。

※前回調査なし

【性別・年齢との関係】

〔図 43-1〕 問 43 あなたの身近で一人ひとりの人権は守られていると思うか と 性別 の関係

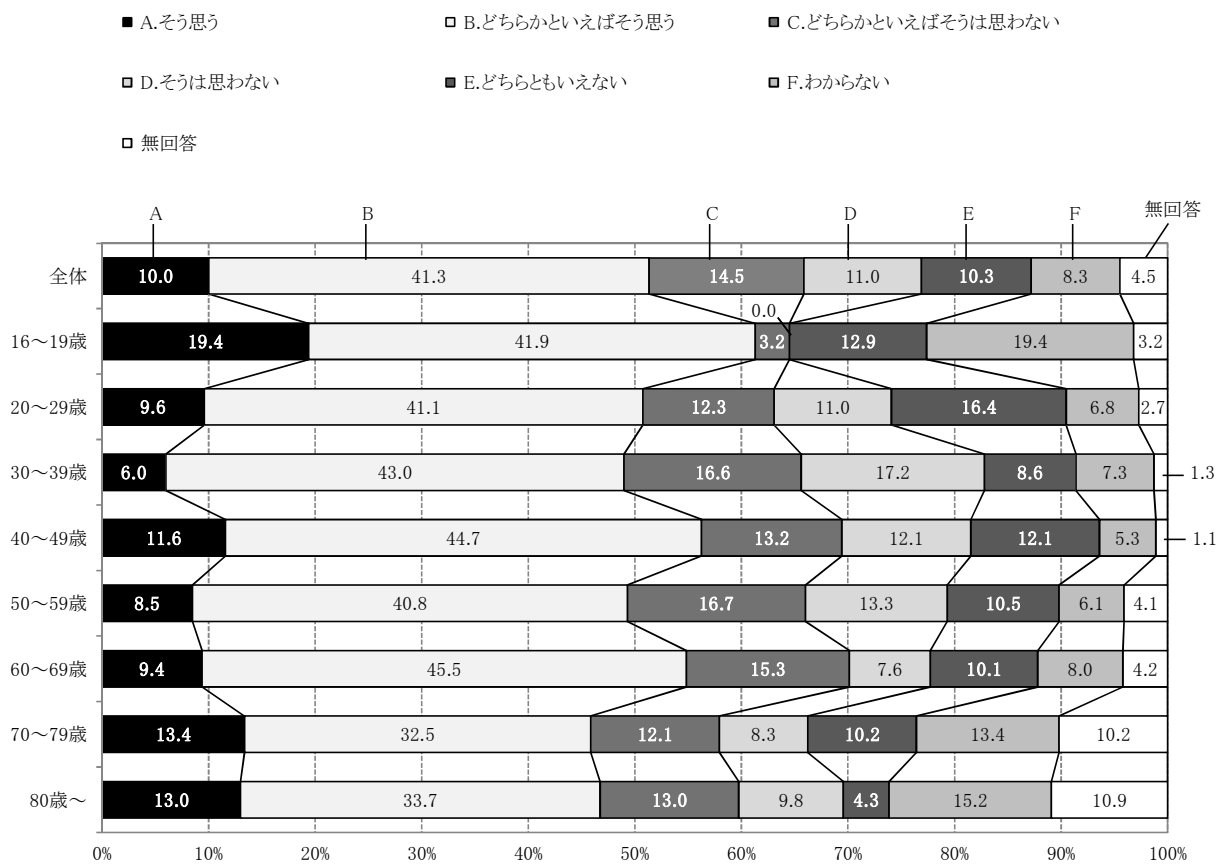
- A. そう思う
- B. どちらかといえばそう思う
- C. どちらかといえばそうは思わない
- D. そうは思わない
- E. どちらともいえない
- F. わからない
- 無回答



性別でみると〔図 43-1〕、「A. そう思う」、「B. どちらかといえばそう思う」を合わせると、男性 52.3%、女性 51.0% とどちらも半数を超えている。

「C. どちらかといえばそうは思わない」、「D. そうは思わない」を合わせると、男性 26.0%、女性 24.8%。男女であまり差はない。

〔図 43-1〕 問 43 あなたの身近で一人ひとりの人権は守られていると思うか と 性別 の関係



年齢別で見ると〔図 43-2〕、各年代とも約 5 割の人が、「A. そう思う」、「B. どちらかといえばそう思う」と回答している。

30 歳代では、「C. どちらかといえばそうは思わない」、「D. そうは思わない」が、他の年代より高くなっている。

